Canon



- メモリーカードから印刷
- コピー
- DVD/CD に印刷
- 写真に手書き文字合成
- 写真やフィルムから印刷

スキャン／パソコンから印刷／
そのほかの使いかた／用紙 / 原稿のセット／
お手入れ／困ったときには など

らくらく

操作ガイド

PIXUS MP980

使用説明書

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

1 かんたんスタートガイド
2 らくらく操作ガイド（本書）
もっと活用ガイド（電子マニュアル）
デジタルテレビ印刷ガイド

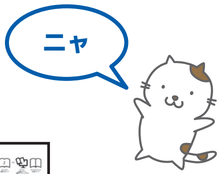
Exif Print　PictBridge

QT52218V01

付属のマニュアルについて













かんたんスタートガイド

設置から使えるようになるまでの準備を説明しています。
はじめにお読みください。

らくらく操作ガイド（本書）

本製品の基本的な機能・操作を説明しています。

メモリーカード印刷、コピーなどの基本操作のほかに、インクタンクの交換方法、トラブルへの対処などを知りたいときにもお読みください。

もっと活用ガイド（電子マニュアル）

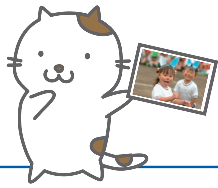
進んだ機能の使いかたを説明した、パソコンの画面で見るマニュアルです。

本製品をさらに使いこなすためにお読みください。

⇒「『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）について」（P.83）

このほかに、『ネットワーク設置で困ったときには』、『デジタルテレビ印刷ガイド』などが付属しています。

本製品でできること



コピーする



⇒ P.28



⇒ P.34

メモリーカードの写真を印刷する



⇒ P.16

手書き文字
イラストを
合成して印刷



⇒ P.40

手書き文字
イラストを
合成して印刷



⇒ P.45

フォトナビシートを
使って印刷



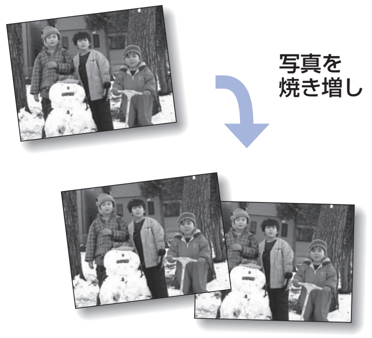


DVD/CDに印刷



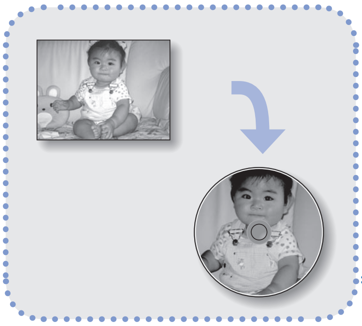
⇒『もっと活用ガイド』
（電子マニュアル）

プリント写真から印刷する



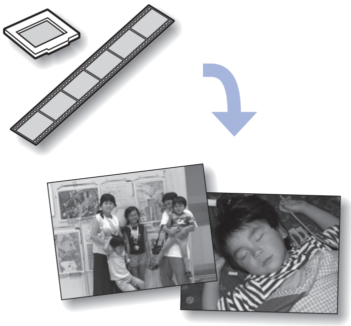
写真を
焼き増し

⇒ P.50

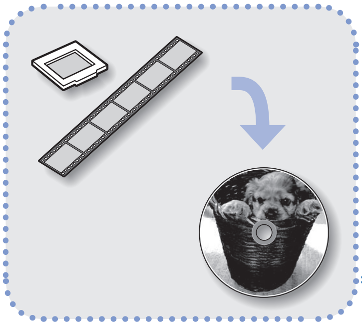


⇒『もっと活用ガイド』
（電子マニュアル）

フィルムから印刷する



⇒ P.52



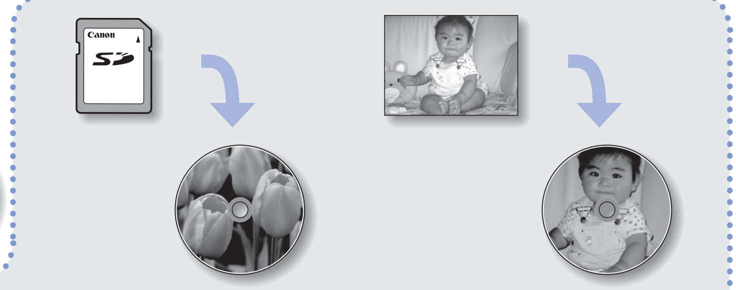
⇒『もっと活用ガイド』
（電子マニュアル）

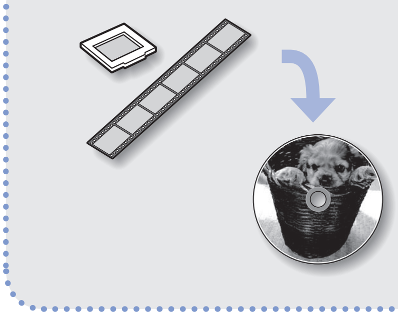
DVD ／ CDに印刷する

DVD/CDレーベル面
をコピーして印刷

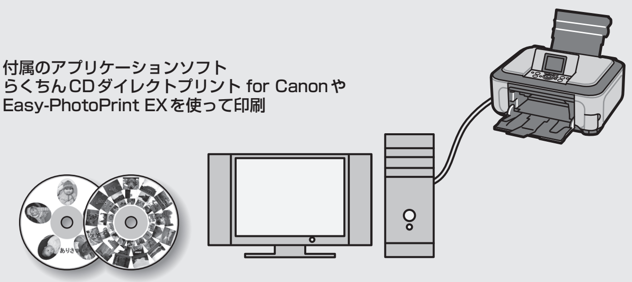


⇒ P.34





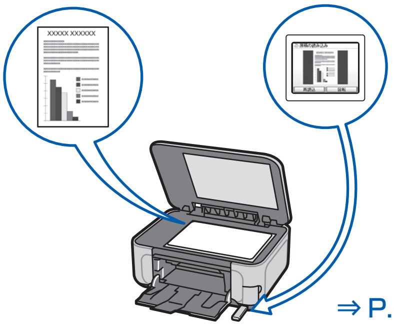
付属のアプリケーションソフト
らくちんCDダイレクトプリント for Canonや
Easy-PhotoPrint EXを使って印刷



⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

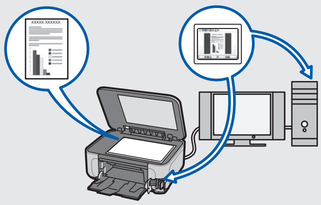
スキャンする

スキャンしたデータを
USBフラッシュメモリーに保存

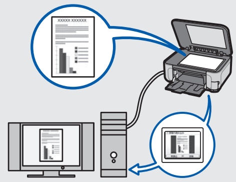


⇒ P.60

スキャンしたデータをメモリーカード
またはパソコンに保存

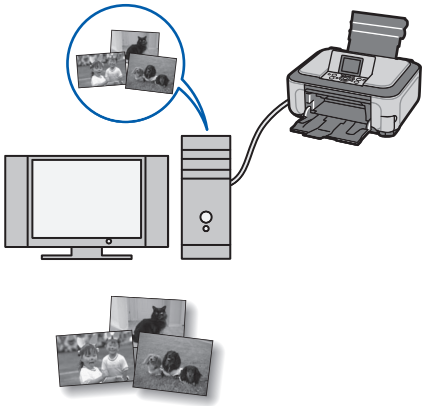


パソコンからスキャン



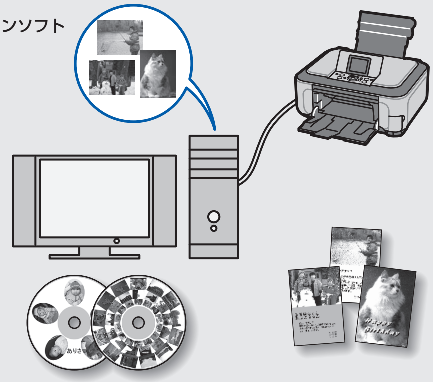
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

パソコンから印刷する



⇒ P.64

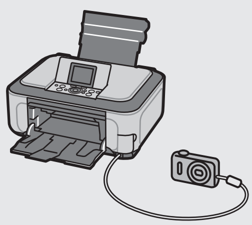
付属のアプリケーションソフト
を使っていろいろ印刷



⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

PictBridge対応機器、携帯電話などから印刷する

PictBridge対応機器から印刷



赤外線通信、Bluetooth通信で印刷



⇒『もっと活用ガイド』
（電子マニュアル）

その他

カードスロットをパソコンのドライブに設定する

⇒『もっと活用ガイド』
（電子マニュアル）

目次

電波障害自主規制について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

国際エネルギースタープログラムについて
当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

ENERGY STAR

Exif Printについて
本製品は、「Exif Print」に対応しています。
Exif Printは、デジタルカメラとプリンタの連携を強化した規格です。
Exif Print対応デジタルカメラと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

Exif Print

記載について
本書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

⚠警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
重　要	操作上、必ず守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。
参　考	操作の参考になることや補足説明が書かれています。
Windows	Windows独自の操作について記載しています。
Macintosh	Macintosh独自の操作について記載しています。

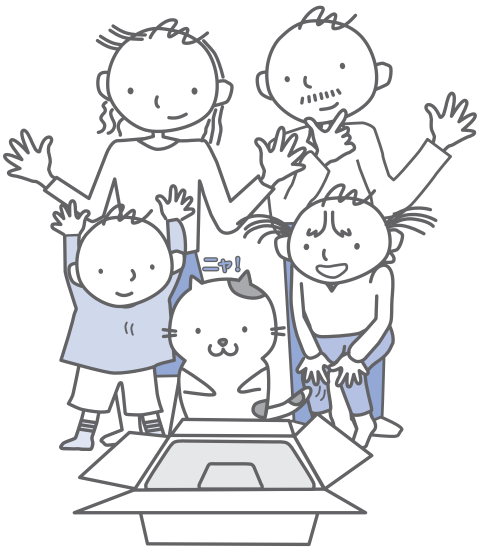
本書ではWindows Vista operating system Ultimate Edition（以降､Windows Vista）またはMac OS X v.10.5.xをご使用の場合に表示される画面で説明しています。
ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

商標について
- Microsoftは、Microsoft Corporationの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshおよびMacは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Adobe、Adobe Photoshop、Adobe RGBおよびAdobe RGB（1998）は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Photo Ragは、Hahnemühle FineArt GmbHの商標です。
- DCFは、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG, Inc.の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

お客様へのお願い
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一誤りや記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、キヤノンお客様相談センターまでご連絡ください。
  連絡先は、別紙の『サポートガイド』に記載しています。
- 本書はリサイクルに配慮して製本されています。本書が不要になったときは、回収・リサイクルに出してください。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

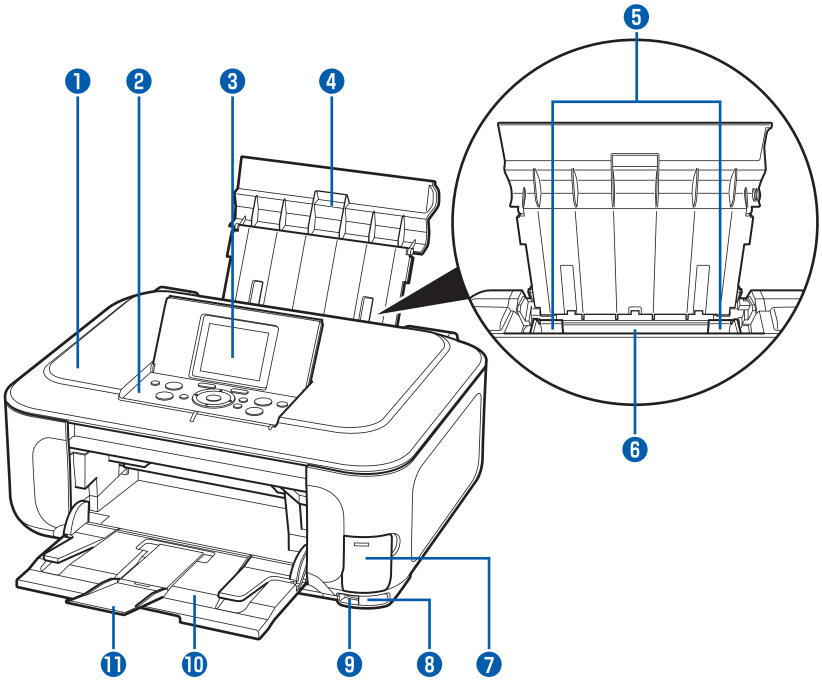
本製品について知っておこう

ここでは、製品の各部名称や、製品を使用する前に知っておいていただきたい基本操作について説明しています。



各部の名称と役割

前面



❶ 原稿台カバー
原稿台ガラスに原稿をセットするときに開きます。

❷ 操作パネル
本製品の設定や操作をするときに使用します。⇒P.12

❸ 液晶モニター
メッセージやメニュー項目、動作状況などが表示されます。印刷する写真もここで確認します。

参 考

- 5分間操作をしないと画面が消灯します。そのときは、操作パネルで電源ボタン以外のボタンを押すか、印刷の操作をすると復帰します。

❹ 用紙サポート
後トレイに用紙をセットするときに、引き出して奥に傾けて使用します。

❺ 用紙ガイド
動かして用紙の両端に合わせます。

❻ 後（うしろ）トレイ
本製品で使用できるさまざまなサイズ、種類の用紙をセットできます。一度に同じサイズ、種類の用紙を複数枚セットでき、自動的に１枚ずつ給紙されます。⇒P.87

❼ カードスロットカバー
メモリーカードをセットするときに開きます。⇒P.24

❽ 赤外線ポート
携帯電話から赤外線通信を利用してワイヤレスで印刷するときに使います。⇒P.80

❾ カメラ接続部
デジタルカメラなどのPictBridge対応機器や、オプションのBluetoothユニットBU-30から印刷するときに、ここに接続します。⇒P.80
また、スキャンしたデータを保存するUSBフラッシュメモリーもここに取り付けます。⇒P.62

⚠警告

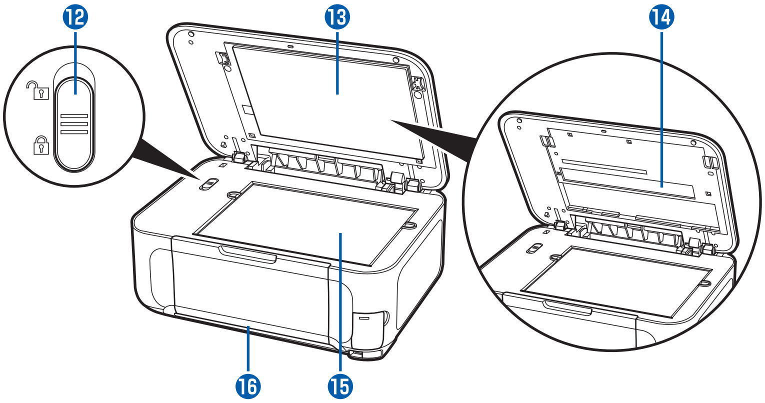
- 本製品のカメラ接続部には、PictBridge対応機器、BluetoothユニットBU-30（オプション）およびUSBフラッシュメモリー以外は接続しないでください。火災や感電、本製品の損傷の原因となる場合があります。

⚠注意

- 金属部分に触れないでください。

❿ 排紙トレイ
コピーや印刷が開始されると自動的に開き、印刷された用紙が排出されます。

⓫ 補助トレイ
用紙を支えるために手前に開いて使用します。
印刷するときは開いてください。



⑫ スキャナロックスイッチ
本製品を移動させるときなどにスキャナが動かないようにロックします。電源を入れる前に必ずロックを解除してください。

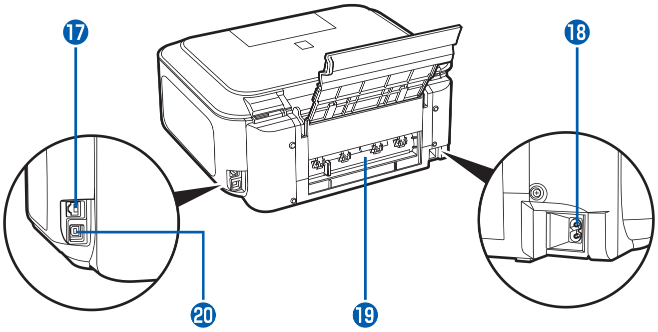
⑬ FAU（フィルムアダプタユニット）保護シート
FAUランプや原稿台ガラスを保護します。また、裏面に、フィルムをスキャンするときに使用するフィルムガイドを収納できます。⇒P.53

⑭ FAU（フィルムアダプタユニット）ランプ
フィルムに光を当てる光源部です。

⑮ 原稿台ガラス
コピーやスキャンする原稿をセットします。

⑯ カセット
A4、B5、A5、レターサイズの普通紙をセットして、本体に差し込みます。一度に同じサイズの用紙を複数枚セットでき、自動的に1枚ずつ給紙されます。⇒P.89

背面



⑰ LANケーブル接続部
LANケーブルでネットワーク接続するためのコネクタです。

⚠注意
- 金属部分に触れないでください。

⑱ 電源コード接続部
付属の電源コードを接続するためのコネクタです。

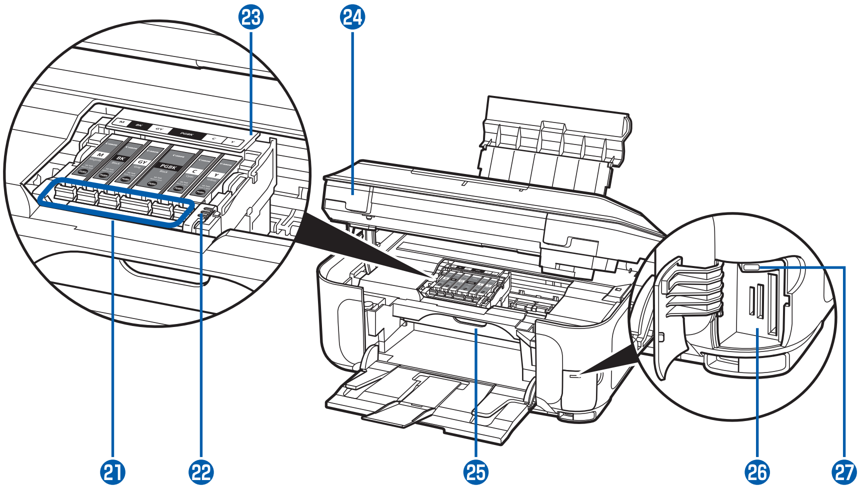
⑲ 背面カバー
紙づまりのときに取り外し、つまった用紙を取り除きます。⇒P.142

⑳ USBケーブル接続部
USBケーブルでパソコンと接続するためのコネクタです。

⚠注意
- 金属部分に触れないでください。

重　要
- パソコンに本製品を接続して印刷または画像をスキャンしているときに、USBケーブルを抜き差ししないでください。

内部



㉑ インクランプ
赤色に点灯／点滅し、インクタンクの状態を知らせます。
⇒「インクの状態を確認する」（P.104）

㉒ プリントヘッド固定レバー
プリントヘッドを固定します。

重　要

- プリントヘッドを取り付けたら、このレバーを上げないでください。

㉓ プリントヘッドホルダ
プリントヘッドを取り付けます。

㉔ スキャナユニット（カバー）
原稿をスキャンするユニットです。インクタンクを交換するときやインクランプを確認するとき、内部につまった用紙を取り除くときに開きます。開くときには、原稿台カバーと一緒に持ち上げます。

㉕ CD-R トレイガイド
CD-R トレイをセットします。DVD/CD に印刷するときだけ手前に開いて使用します。通常は閉じておきます。

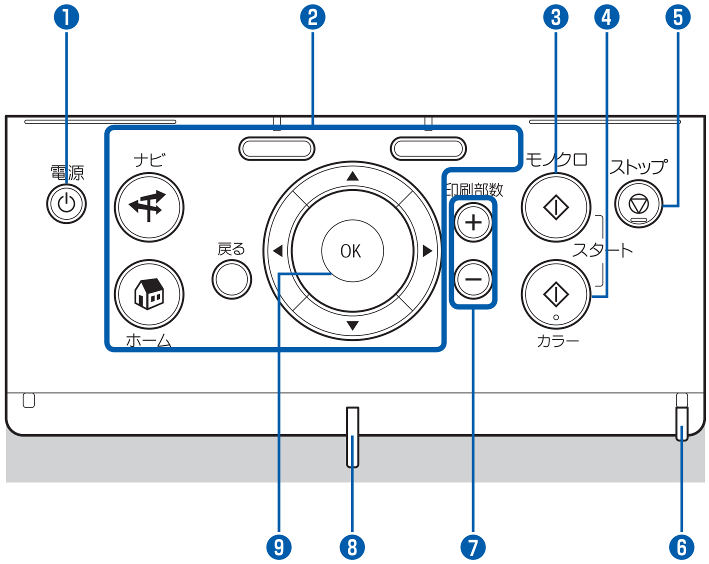
㉖ カードスロット
メモリーカードをセットします。⇒P.24

㉗ アクセスランプ
点灯または点滅し、メモリーカードの状態を知らせます。⇒P.25

参　考

- プリントヘッドとインクタンクの取り付け方法は、『かんたんスタートガイド』を参照してください。

操作パネル



❶ 電源ボタン
電源を入れる／切るときに押します。電源を入れるときは、原稿台カバーを閉じてください。

重　要

電源プラグを抜くときは

- 電源を切ったあと、必ず電源ランプが消灯していることを確認してから電源プラグを抜いてください。電源ランプが点灯／点滅しているときに電源プラグを抜くと、プリントヘッドが保護されないため、その後正しく印刷できなくなることがあります。

❷ 液晶モニター画面を操作するときに使うボタン類
⇒「液晶モニター画面の基本操作」（P.12）

❸ モノクロスタートボタン
白黒コピーや白黒スキャンをするときなどに押します。

❹ カラースタートボタン
カラー印刷やカラーコピー、カラースキャンをするときに押します。

❺ ストップボタン
印刷中にこのボタンを押すと、印刷を中止します。

❻ エラーランプ
用紙やインクがなくなったときなど、エラーが発生したときにオレンジ色に点灯または点滅します。

❼ ＋－ボタン
コピー部数や印刷部数を指定するときに押します。

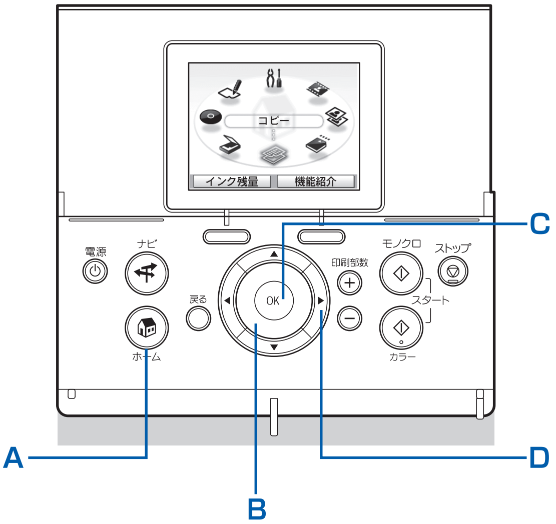
❽ 電源ランプ
電源を入れると、青色に点滅後、点灯します。

❾ OK ボタン
メニュー項目や設定項目を確定するときに押します。
⇒P.12
また印刷途中でのエラーから復帰するときや、紙づまりを取り除いたあと、復帰するときも押します。

液晶モニター画面の基本操作

本製品では、パソコンを使用しなくても本製品の操作だけでコピーや各種印刷が可能です。液晶モニターに表示されるメニューや設定項目を、操作パネルのイージースクロールホイールや◀▶▲▼ボタン、OKボタンで選んで操作を進めます。

ここでは、操作の入口となるホーム画面のメニューや、印刷に必要な設定項目の選びかたなどについて説明します。

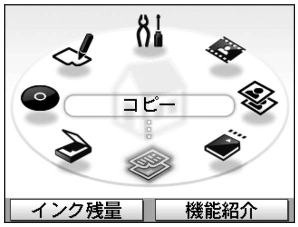


ホーム画面でメニューを選ぶ

ホーム画面は、電源を入れたとき、ホームボタンを押したときに表示される画面です。
メモリーカードの写真の印刷やコピー、スキャンなどは、ホーム画面からメニューを選んで始めます。

1 ホームボタン（A）を押す

ホーム画面が表示されます。



2 イージースクロールホイール（B）を回して使いたいメニューを表示させ、OKボタン（C）を押す

メニューは◀▶ボタン（D）でも選ぶことができます。



選んだメニューの画面が表示されます。

ホーム画面では以下のメニューを選ぶことができます。

コピー：

倍率を変更したり、両面コピーやいろいろなレイアウトでコピーができます。
⇒「コピーしてみよう」（P.27）

メモリーカード：

デジタルカメラのメモリーカードに保存されている写真を印刷することができます。
⇒「メモリーカードから印刷してみよう」（P.15）

かんたん写真焼増し：
プリント写真をスキャンしてかんたんに印刷することができます。写真ごとに印刷部数を指定したり、絵はがき風の印刷などを選んだりすることもできます。
⇒「写真やフィルムから印刷してみよう」（P.49）

フィルム印刷：
35mmフィルム（スリーブ、マウント）の画像をスキャンして印刷することができます。
⇒「写真やフィルムから印刷してみよう」（P.49）

設定：
本製品のお手入れをしたり、本製品の設定を変更することができます。また、レポート用紙や方眼紙などの定型フォームを印刷することもできます。
⇒「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.110）、「給紙ローラをクリーニングする」（P.116）、「本製品の設定について」（P.81）、「レポート用紙や方眼紙などを印刷する」（P.78）

らく楽フォトシート：
ナビシートを使ってメモリーカードの写真をかんたんに印刷したり、写真に手書きの文字やイラストを合成して、はがきやDVD/CDに印刷したりすることができます。
⇒「写真に手書き文字を合成して印刷してみよう」（P.39）

DVD/CD印刷：
スキャンした写真や画像を、DVD/CD（プリンタブルディスク）に印刷することができます。
⇒「DVD/CDに印刷してみよう」（P.33）

スキャン：
操作パネルを使ってスキャンしたデータをパソコンに保存したり、セットしてあるメモリーカードやUSBフラッシュメモリーに保存できます。
⇒「スキャンしてみよう」（P.59）

参考

- ホーム画面や［コピー］、［かんたん写真焼増し］、［フィルム印刷］、［設定］の各画面が表示されているときにメモリーカードをセットすると、［メモリーカード］の［選んで印刷］の画面が表示されます。
［選んで印刷］以外の機能を選ぶときには、ホームボタンを押して、ホーム画面を表示してください。

設定項目を選ぶ

選んだメニューにより表示される画面は異なりますが、操作方法は同じです。
ここでは、［メモリーカード］メニューの［選んで印刷］の印刷確認画面で印刷品質を変更する例を説明しています。

1 イージースクロールホイール(B)か▲▼ボタン(D)で印刷品質を選び、OKボタン(C)を押す



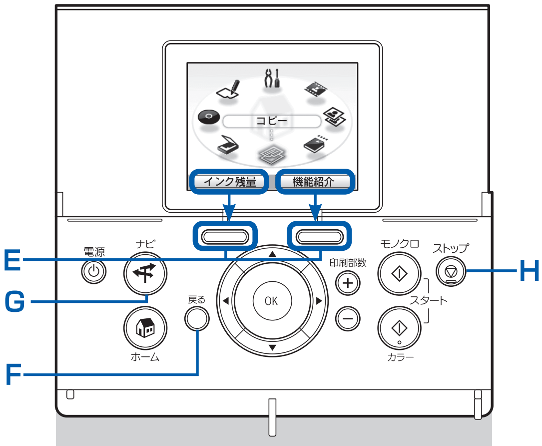
2 イージースクロールホイールか▲▼ボタンで別の印刷品質を選び、OKボタンを押す



［選んで印刷］の印刷確認画面に戻ります。



そのほかの操作



モニター下部の項目を選ぶ

液晶モニターの下部に表示される項目を選ぶときに、2つのファンクションボタン（E）を使います。
右の項目を選ぶには右のファンクションボタンを、左の項目を選ぶには左のファンクションボタンを押します。
画面により、液晶モニター下部に表示される項目は異なります。

前の画面に戻る

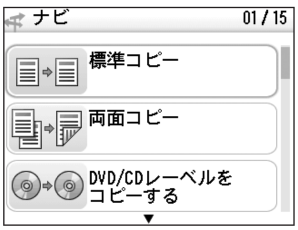
戻るボタン（F）を押すたびに、前の画面に戻ります。

よく使われる機能をかんたんな操作で実行する

ナビボタン（G）を使うと、よく使われる機能を、表示される画面にしたがって設定するだけでかんたんに印刷できたり、機能や用紙のセット方法などの説明を見ることができます。

1 ナビボタン（G）を押す

ナビ画面が表示されます。



参 考

- ナビ画面が表示されている状態で戻るボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。

2 イージースクロールホイールか▲▼ボタンで項目を選び、OKボタンを押す

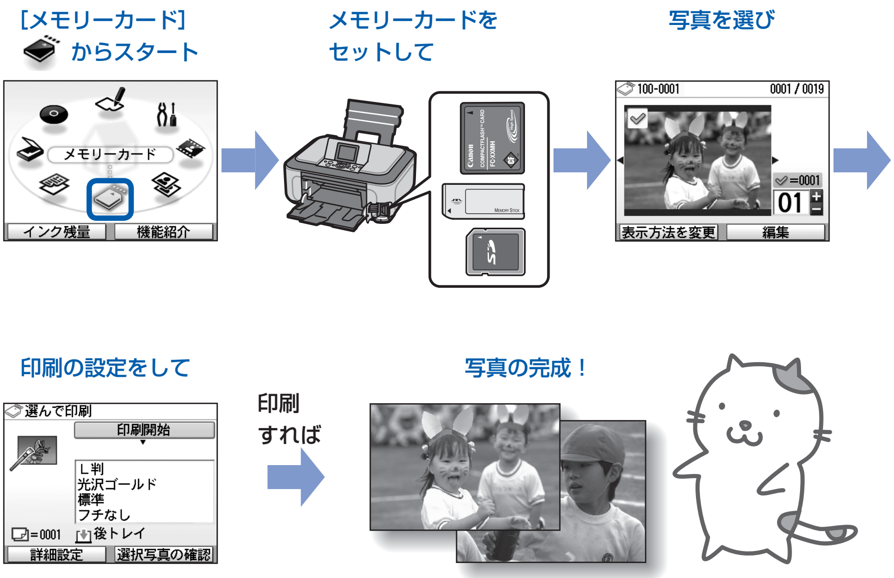
表示された説明にしたがって操作します。

コピー／印刷を中止する

コピー／印刷を開始したあとに中止したいときには、ストップボタン（H）を押します。

メモリーカードから印刷してみよう

デジタルカメラなどで撮影した写真を、本製品の液晶モニターで確認しながら印刷することができます。
メモリーカードに保存されている写真をA4サイズの用紙に一覧で印刷し、その中から選んで印刷する機能や、指定したレイアウトに好きな写真を印刷する便利な機能もあります。

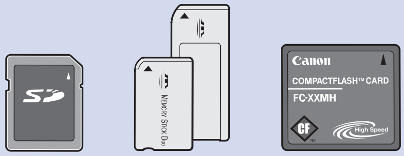


メモリーカードの写真を印刷する

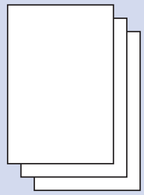
メモリーカードに保存されている写真を、本製品の液晶モニターで確認しながら印刷してみましょう。
ここでは、L判サイズの写真用紙に、写真をフチなしで印刷する方法について説明します。
操作の際は、参照先のページに記載の注意事項と操作方法を確認してください。



用意するもの

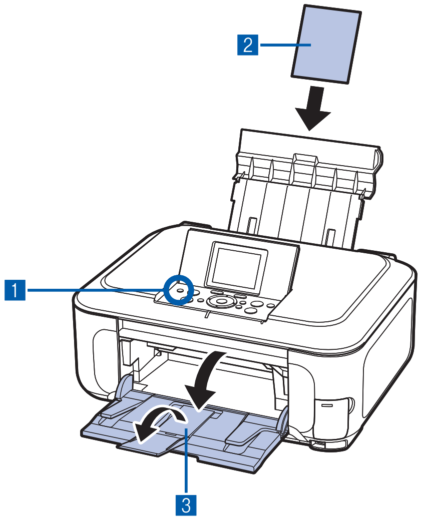


写真の入ったメモリーカード
⇒「メモリーカードをセットする前に」（P.23）



印刷用の用紙
⇒「使用できる用紙について」（P.93）

1 印刷の準備をする



1 電源を入れる⇒P.11

2 用紙をセットする⇒P.87

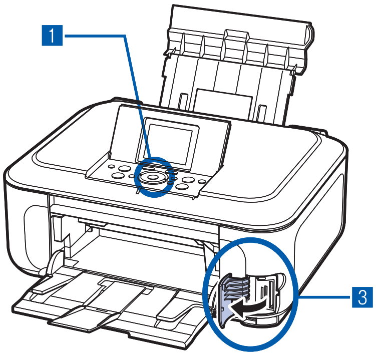
ここでは、L判サイズの写真用紙を後トレイにセットします。

参考

• A4またはレターサイズの普通紙に印刷するときは、カセットにセットします。
それ以外の用紙は、後トレイにセットします。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

2 メモリーカードをセットする



1 ホーム画面から［メモリーカード］を選びOKボタンを押す⇒P.12

2 ［選んで印刷］を選び、OKボタンを押す

3 メモリーカードを、ラベル面を左にしてカードスロットにセットする

本製品にセットできるメモリーカードの種類とセット位置については、「メモリーカードをセットする」（P.23）を参照してください。
［選んで印刷］画面が表示されます。

参考

- ホーム画面や［コピー］、［かんたん写真焼増し］、［フィルム印刷］、［設定］の各画面が表示されているときにメモリーカードをセットしても、［メモリーカード］の［選んで印刷］画面を表示することができます。
- ［選んで印刷］のほかにも、便利な印刷機能があります。
  ⇒「いろいろな機能を使ってみよう」（P.20）
- ［本体設定］の［詳細設定］の［カード書き込み状態］で［USB接続PCから可能］または［LAN接続PCから可能］に設定している場合は、本製品のパネル操作でメモリーカード印刷することはできません。［カード書き込み状態］を［PCから書き込み禁止］に設定してください。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

3 印刷したい写真を選ぶ



1 イージースクロールホイールか◀▶ボタンで印刷したい写真を表示する

参考

- 写真の読み込み中は、液晶モニターに⌛が表示される場合があります。⌛が表示されているときにイージースクロールホイールや◀▶ボタンを押すと、画像が正しく選べないことがあります。

2 ＋－ボタンで印刷枚数を指定する

3 手順1、2を繰り返し、印刷したい写真ごとに印刷枚数を指定する

参考

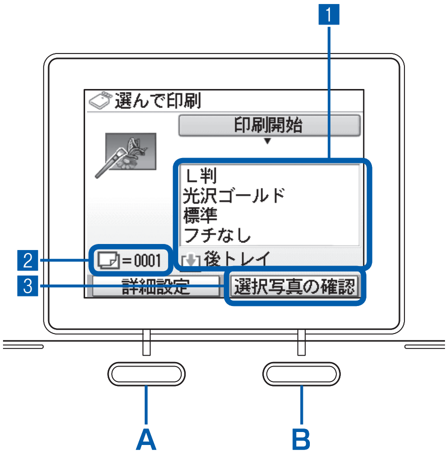
こんなこともできます

- 表示方法を変更する⇒P.21
- 印刷する写真の一部を切り抜く－トリミング⇒P.21
- 印刷する写真を日付で絞り込む－日付指定⇒P.21

4 OKボタンを押す

印刷確認画面が表示されます。

4 印刷を開始する



1 用紙のサイズや種類、印刷品質などを確認し、設定する

ここでは、用紙サイズに［L判］、用紙の種類にセットした写真用紙が設定されていることを確認してください。
設定内容を変更するには、イージースクロールホイールか▲▼ボタンで変更したい項目を選び、OKボタンを押してください。
⇒「設定項目を選ぶ」（P.13）、「設定項目について」（P.19）

参考

- 用紙の種類に［普通紙］、用紙サイズに［A4］または［レターサイズ］を指定したときには、給紙位置に［カセット］が表示されます。
  それ以外の用紙を指定すると［後トレイ］が表示されます。
  設定した用紙が、給紙位置に正しくセットされていることを確認してください。

2 印刷に必要な用紙の枚数を確認する

3 右のファンクションボタン（B）を押して［選択写真の確認］を選び、選んだ写真とそれぞれの印刷部数を確認して、OKボタンを押す

4 カラースタートボタンを押す

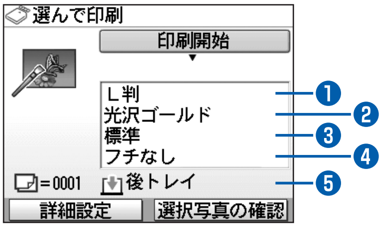
写真の印刷が開始されます。

参考

- 左のファンクションボタン（A）を押して［詳細設定］を選ぶと、写真の補正を自動または手動で行うことができます。
  ⇒「いろいろな機能を使ってみよう」（P.20）
- 印刷を中止するときは、ストップボタンを押します。
- モノクロスタートボタンを押しても、印刷は開始されません。
- 印刷終了後に戻るボタンを押すと、［メモリーカード］メニューが表示され、メモリーカードのいろいろな機能を選ぶことができます。
  また、ホームボタンを押すか、メモリーカードを取り出すと、ホーム画面が表示されます。
  メモリーカードを取り出すときは、「メモリーカードを取り出す」（P.26）を参照してください。

設定項目について

［選んで印刷］で表示される印刷確認画面：



❶ 用紙サイズ	：	［L判］や［A4］など、印刷したい用紙のサイズを選びます。
❷ 用紙の種類	：	［光沢ゴールド］や［普通紙］など、印刷したい用紙の種類を選びます。

参　考

- 用紙サイズや用紙の種類を正しく設定しないと、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品位で印刷されない場合があります。⇒「用紙のセット位置について」（P.86）

❸ 印刷品質	：	［きれい（画質優先）］や［標準］など、印刷品質を設定できます。
❹ フチあり／フチなし	：	フチのあり／なしを設定できます。

参　考

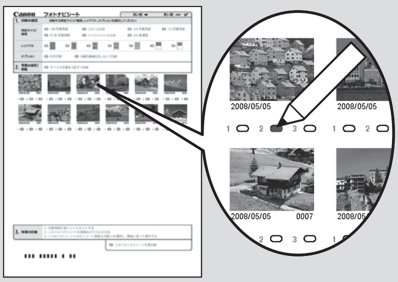
- 用紙の種類を［普通紙］に設定したときには、［フチなし］に設定することはできません。

❺ 給紙位置	：	用紙サイズや用紙の種類で指定した用紙により、給紙位置が表示されます。A4またはレターサイズの普通紙を指定した場合は、［カセット］が表示されます。それ以外の用紙を指定した場合は、［後トレイ］が表示されます。表示された給紙位置に、設定した用紙がセットされていることを確認してください。給紙位置の設定については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- 用紙のサイズや種類、印刷品質、画像補正、フチなし印刷などの設定項目は保存され、電源を入れ直しても次回［メモリーカード］メニューを選んだときにその設定が表示されます。
- 機能によっては、組み合わせて設定できない項目があります。

フォトナビシートを使って印刷する



メモリーカードの写真をA4サイズの用紙に一覧形式で印刷し（印刷されたこの用紙を「フォトナビシート」と呼びます）、そのシート上で写真、印刷枚数、用紙サイズなどを選んで印刷することもできます。
ホーム画面から［らく楽フォトシート］→［フォトナビシート］→［ナビシート印刷］を選んで実行します。
操作方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

いろいろな機能を使ってみよう

［メモリーカード］メニューで使える便利な機能の一部を紹介します。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

いろいろなレイアウトで印刷する

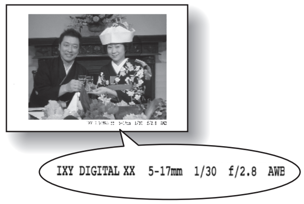
［メモリーカード］メニューの画面で、いろいろなレイアウトを選ぶことができます。
ほかに、［DPOF印刷］を選ぶこともできます。



［レイアウト印刷］



［シール紙印刷］



［撮影情報印刷］



［インデックス印刷］



［すべての写真を印刷］



［証明写真サイズ印刷］



［カレンダー印刷］

表示方法を変更する

画面下部に［表示方法を変更］が表示されているとき、ファンクションボタン（左）を押すと画像の表示方法を変更することができます。ほかに、［スライドショー］を選ぶこともできます。



［9画面表示］



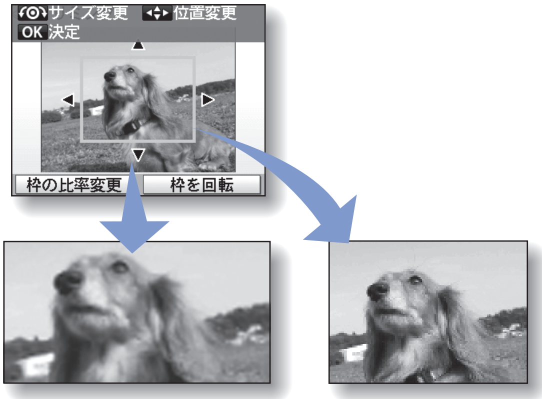
［フルスクリーン表示］



［拡大表示］

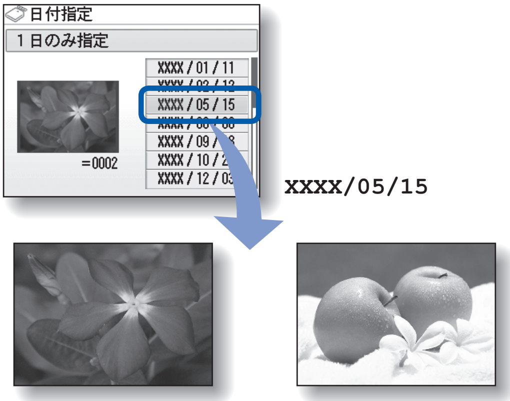
写真の一部を切り抜く／日付で写真を絞り込む

画面下部に［編集］が表示されているとき、ファンクションボタン（右）を押すと設定することができます。



ワイド（16：9）　標準（4：3）

［トリミング］



［日付指定］

画像を補正する

画面下部に［詳細設定］が表示されているとき、ファンクションボタン（左）を押すと、画像に対して自動または手動で、明るさやコントラスト、色あいなどの調整や加工を行うことができます。



［自動写真補正を設定］（初期設定）

メモリーカードをセットする

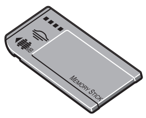
メモリーカードをセットする前に

本製品で使用できるメモリーカードと画像データは以下のとおりです。

重　要

- デジタルカメラが動作を保証していないメモリーカードに撮影／保存されている写真は、本製品で読み込めない場合やデータが破損する場合があります。デジタルカメラが動作を保証しているメモリーカードについては、デジタルカメラに付属の取扱説明書を参照してください。
- メモリーカードは、DCF Ver.1.0/2.0規格のデジタルカメラでフォーマットしてください。パソコン固有のフォーマットには対応していません。

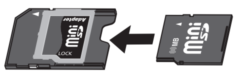
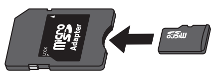
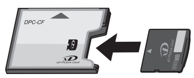
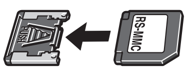
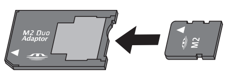
カードスロットに直接セットできるメモリーカード：

	・SD/SDHCメモリーカード ・マルチメディアカード（ver.4.1） ・マルチメディアカードプラス（ver.4.1）
	・コンパクトフラッシュ（CF）カード TYPE Ⅰ /TYPE Ⅱ（3.3V）に対応 ・マイクロドライブ
	・メモリースティック ・メモリースティックPRO ・メモリースティックDuo ・メモリースティックPRO Duo

カードアダプタを使用してセットするメモリーカード：

重　要

- 以下のメモリーカードは、必ず専用のカードアダプタに取り付けてからカードスロットにセットしてください。カードアダプタに取り付けずに直接カードスロットにセットすると、メモリーカードが取り出せなくなる場合があります。そのような場合は「困ったときには」の「メモリーカードが取り出せない」（P.155）を参照してください。

	・miniSD/miniSDHCカード*1
	・microSD/microSDHCカード*1
	・xD-Pictureカード*2 ・xD-Pictureカード Type M*2/Type H*2
	・RS-MMC（ver.4.1）*3
	・メモリースティック マイクロ*4

*1　専用の「SDカードアダプタ」を使用してください。
*2　別途xD-Pictureカード用コンパクトフラッシュカードアダプタをお買い求めください。
　　推奨xD-Picture Cardアダプタ（2008年2月現在）
　　富士フイルム株式会社製　型番：DPC-CF
*3　専用のカードアダプタを使用してください。
*4　専用のDuoサイズアダプタを使用してください。

印刷できる画像データ：

本製品はDCF Ver.1.0/2.0規格のデジタルカメラで撮影した画像データ（Exif ver.2.2/2.21準拠）、TIFF（Exif ver.2.2/2.21準拠）、およびDPOF（Ver1.00準拠）に対応しています。その他の静止画（RAW画像等）や動画は印刷できません。

メモリーカードをセットする

注意

- メモリーカードをカードスロットにセットすると、カードスロットのアクセスランプが点灯します。このアクセスランプが点滅しているときは、メモリーカードの読み込みなどが行われていますので、カードスロットの周りには触れないでください。

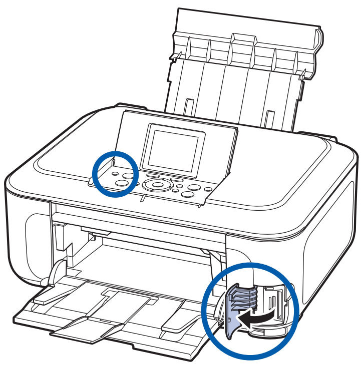
参　考

- ホーム画面の［設定］メニューから［本体設定］の［詳細設定］で、［カード書き込み状態］を［USB接続PCから可能］または［LAN接続PCから可能］に設定している場合は、本製品のパネル操作でメモリーカードから印刷したり、スキャンしたデータをメモリーカードに保存したりすることはできません。本製品のカードスロットをパソコンのメモリーカード用ドライブとして操作したあとは、メモリーカードを抜いてから［カード書き込み状態］を［PCから書き込み禁止］に設定してください。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- メモリーカードに保存されている写真をパソコンで編集・加工したときは、必ずパソコンから印刷してください。操作パネルから印刷を行うと、正しく印刷できないことがあります。

1　メモリーカードを準備する

「メモリーカードをセットする前に」（P.23）を参照して、カードアダプタが必要なメモリーカードは、専用のカードアダプタに取り付けます。

2　電源を入れ、カードスロットカバーを開ける

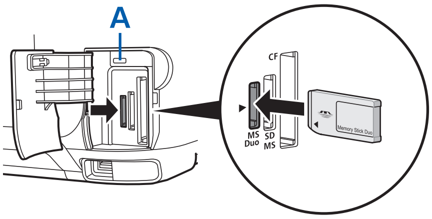


3 メモリーカードを1枚だけセットする

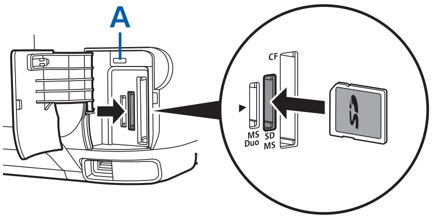
メモリーカードの種類により、セットする位置が異なります。以下のセット位置を参照しながら、ラベル面を左にしてカードスロットにまっすぐ差し込んでください。
メモリーカードが正しくセットされると、アクセスランプ（A）が点灯します。

下記の＊のメモリーカードはカードアダプタに取り付けてから、カードスロットにセットしてください。

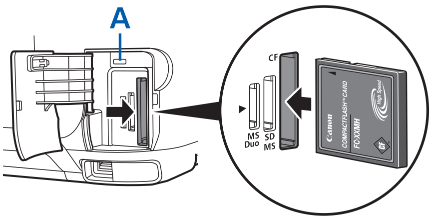
メモリースティックDuo、メモリースティックPRO Duo、メモリースティックマイクロ＊の場合：



SD/SDHCメモリーカード、miniSD/miniSDHCカード＊、microSD/microSDHCカード＊、メモリースティック、メモリースティックPRO、マルチメディアカード（ver.4.1）、マルチメディアカードプラス（ver.4.1）、RS-MMC（ver.4.1）＊の場合：



コンパクトフラッシュ、マイクロドライブ、xD-Pictureカード＊、xD-Pictureカード Type M/Type H＊の場合：



⚠注意

- メモリーカードがカードスロットから少しはみ出した状態でセットされます。それ以上は無理に押し込まないでください。本製品やメモリーカードが破損するおそれがあります。
- メモリーカードの向きをよく確認して、カードスロットにセットしてください。間違った向きで無理にセットすると、本製品やメモリーカードが破損するおそれがあります。

重　要

- 一度に複数のメモリーカードをセットしないでください。

4 カードスロットカバーを閉じる

メモリーカードから印刷してみよう

メモリーカードを取り出す

重　要

- カードスロットをパソコン用メモリーカードドライブとして使用していた場合は、メモリーカードを本製品から取り出す前にパソコン側での取り出し操作が必要になります。
  - Windowsをご使用の場合は、リムーバブルディスクアイコンを右クリックして［取り出し］を選んで取り出し操作を行ってください。［取り出し］が表示されない場合は、アクセスランプが点灯していることを確認し、カードを取り出してください。
  - 有線LAN経由でカードスロットをご使用の場合は、パソコン側の取り出し操作は必要ありません。
  - Macintoshをご使用の場合は、アイコンをゴミ箱に捨ててください。

1　カードスロットカバーを開ける

2　アクセスランプが点灯していることを確認して、カードを取り出す

メモリーカードをつまんで、まっすぐ引き出します。

注意

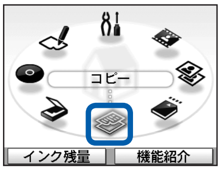
- アクセスランプの点滅中は、メモリーカードを取り出さないでください。ランプが点滅しているときは、メモリーカードからデータを読み込み／書き込みしています。ランプの点滅中にメモリーカードを取り出したり電源を切ったりすると、カードのデータが破損することがあります。

3　カードスロットカバーを閉じる

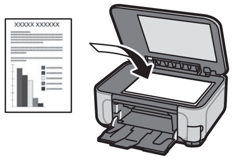
コピーしてみよう

印刷する用紙に合わせた拡大／縮小や、２枚の原稿を１枚の用紙に収めるなど、いろいろなコピー方法を選べます。

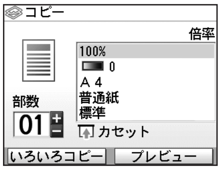
［コピー］ からスタート



原稿をセットして

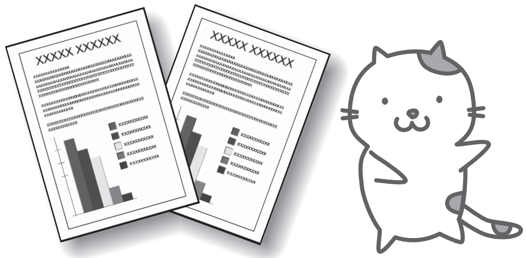


設定を確認して



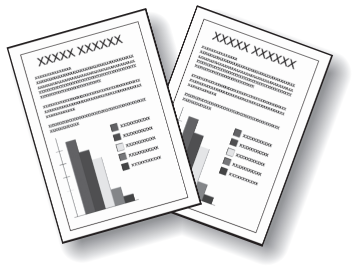
コピーすれば

コピーの完成！

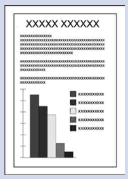


コピーする

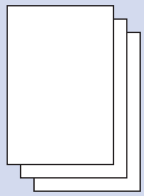
ここではA4サイズの書類を普通紙にコピーする方法について説明します。操作の際は、参照先のページに記載の注意事項と操作方法を確認してください。



用意するもの

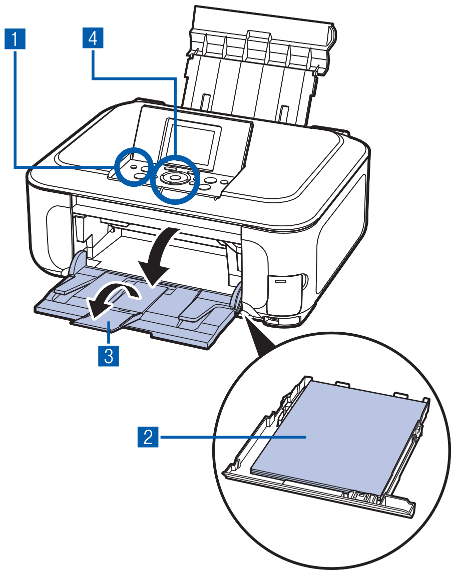


コピーしたいもの
⇒「セットできる原稿について」（P.98）



印刷用の用紙
⇒「使用できる用紙について」（P.93）

1 コピーの準備をする



1 電源を入れる⇒P.11

2 用紙をセットする⇒P.87

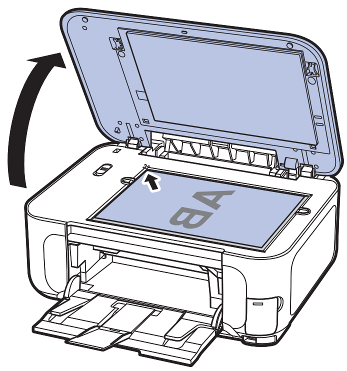
ここでは、カセットにA4の普通紙がセットされていることを確認します。

参 考

- A4、B5、A5、レターサイズの普通紙は、カセットにセットします。それ以外の用紙は、後トレイにセットしてください。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

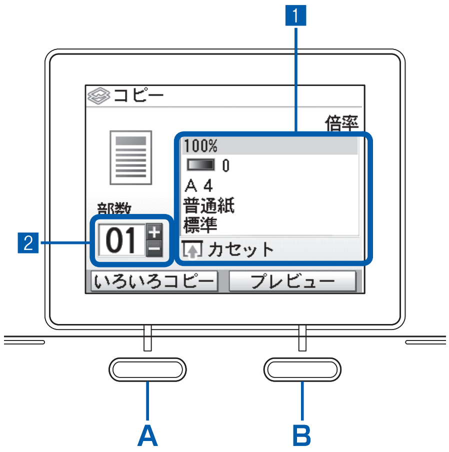
4 ホーム画面で［コピー］を選び、OKボタンを押す⇒P.12



5 原稿台ガラスに原稿をセットする⇒P.98

コピーしたい面を下にして、図のように原稿位置合わせマーク（↘）に合わせます。

2 コピーを開始する



1 用紙のサイズや種類、コピー倍率などを確認する

ここでは、倍率［100%］、用紙サイズ［A4］、用紙の種類［普通紙］が設定されていることを確認します。

設定内容を変更するには、イージースクロールホイールか▲▼ボタンで変更したい項目を選び、OKボタンを押します。

⇒「設定項目を選ぶ」（P.13）、「設定項目について」（P.30）

参　考

- 用紙の種類に［普通紙］、用紙サイズに［A4］［B5］［A5］［レターサイズ］のいずれかを指定したときには、給紙位置に［カセット］が表示されます。
  それ以外の用紙を指定すると［後トレイ］が表示されます。
  設定した用紙が、給紙位置に正しくセットされていることを確認してください。
- 右のファンクションボタン（B）を押して［プレビュー］を選ぶと、印刷結果を確認することができます。
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）
- 左のファンクションボタン（A）を押して［いろいろコピー］を選ぶと、［両面コピー］や［フチなしコピー］、［2 in 1コピー］、［枠消しコピー］など、いろいろなコピーが選べます。
  ⇒P.31

2 ＋－ボタンでコピー部数を指定する

3 カラーコピーをする場合はカラースタートボタンを押し、白黒コピーをする場合はモノクロスタートボタンを押す

コピーが開始されます。

コピー終了後、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

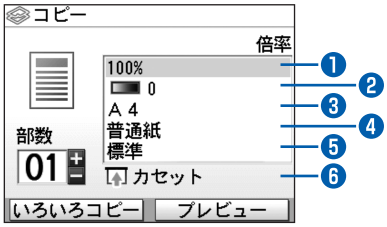
重　要

- コピー中は、直接光源を長時間見ないでください。
- コピーが終わるまで原稿台カバーを開けたり、セットした原稿を動かさないでください。

参　考

- コピーを中止するときは、ストップボタンを押します。
- 続けて別の原稿をコピーするには手順1の5から操作してください。ホームボタンを押すと、［コピー］メニューを終了して別のメニューを選べます。

設定項目について



❶ 倍率	：	拡大／縮小の方法を設定します。任意の数字で倍率を指定したり、A4→B5やA4→はがきなど、用紙サイズを選んで倍率を設定することもできます。拡大／縮小せずにコピーするときは、［100%］を選びます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
❷ 濃度	：	原稿を濃く／薄くコピーしたいときなどに、コピーの濃度を任意に設定したり、原稿に合わせて自動で調整できます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
❸ 用紙サイズ	：	［A4］や［B5］など、印刷したい用紙のサイズを選びます。
❹ 用紙の種類	：	［普通紙］や［光沢ゴールド］など、印刷したい用紙の種類を選びます。

参　考

- 用紙サイズや用紙の種類を正しく設定しないと、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品位で印刷されない場合があります。⇒「用紙のセット位置について」（P.86）

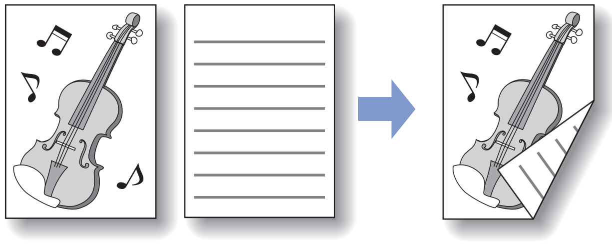
❺ 印刷品質	：	［きれい（画質優先）］や［標準］など、コピーしたい原稿に合わせて印刷品質を設定します。設定できる印刷品質は、「用紙の種類」で指定した用紙により異なります。
❻ 給紙位置	：	用紙サイズや用紙の種類で指定した用紙により、給紙位置が表示されます。A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を指定した場合は、［カセット］が表示されます。それ以外の用紙を指定した場合は、［後トレイ］が表示されます。 表示された給紙位置に、設定した用紙がセットされていることを確認してください。給紙位置の設定については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

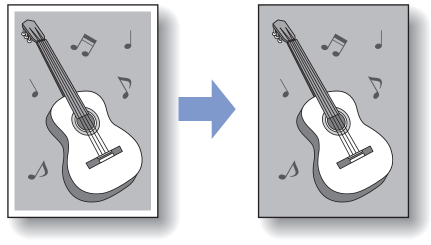
- 用紙のサイズや種類、印刷品質、自動濃度調整などの設定項目は保存され、電源を入れ直しても次回コピーするときにその設定が表示されます。
- 機能によっては、組み合わせて設定できない項目があります。
- 用紙の種類が［普通紙］の場合で、［はやい（速度優先）］を選んで思ったような品質で印刷できないときは、［標準］または［きれい（画質優先）］を選んで、もう一度印刷してみてください。
- モノクロスタートボタンを押して白黒コピーをするときは、［印刷品質］を［きれい（画質優先）］に設定すると、グレーの濃淡を数多くの階調で表現して印刷できます（グレースケールコピー）。

いろいろなコピー機能を使ってみよう

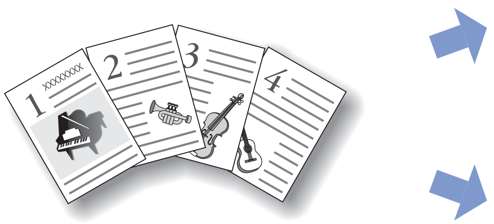
コピー画面下部の［いろいろコピー］をファンクションボタン（左）で選ぶと、以下のようにいろいろな方法でコピーすることができます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

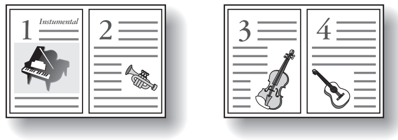


［両面コピー］
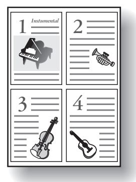


［フチなしコピー］

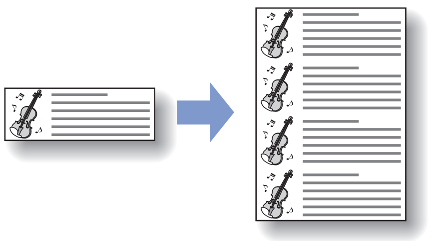




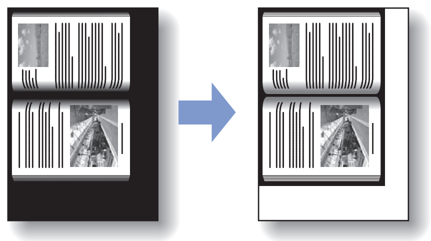
［2 in 1 コピー］



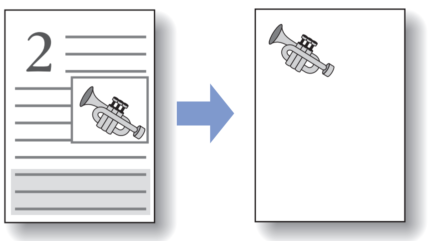
［4 in 1 コピー］



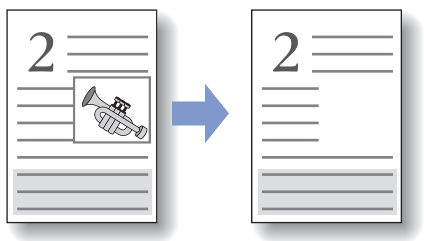
［繰り返しコピー］



［枠消しコピー］



［トリミングコピー］



［マスキングコピー］

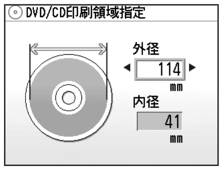
DVD/CDに印刷してみよう

付属のCD-Rトレイを使うことで、印刷可能なDVD/CDに印刷することができます。
ここでは、DVD/CDのレーベル面をコピーして、DVD/CDに印刷する方法とDVD/CDのセット方法を説明します。

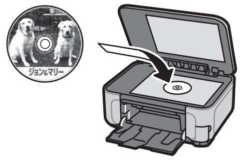
[DVD/CD印刷]からスタート



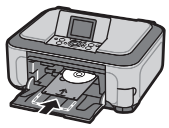
設定して



コピーしたい
DVD/CDをセット

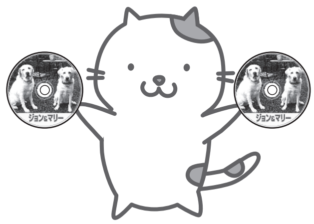


CD-Rトレイをセットして



印刷
すれば

DVD/CDの完成！



DVD/CDのレーベル面をコピーして印刷する

ここでは、既存のDVD/CDのレーベル面をコピーして、印刷可能なDVD/CDに印刷する方法について説明します。

ほかにも、メモリーカードの写真やプリントした写真を使って、オリジナルのDVD/CDを作成することもできます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

重　要

- ここで説明する［DVD/CD印刷］メニューからは、8cm DVD/CDに印刷することはできません。

参　考

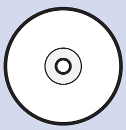
- 不要なDVD/CD（プリンタブルディスク）にお試し印刷することをお勧めします。
- 画像がずれて印刷される場合は、［設定］メニューで印刷位置を調整してください。
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）



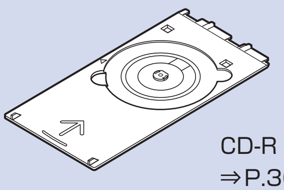
用意するもの



コピーしたいDVD/CD



12cmDVD/CD
レーベル面に印刷可能なもの
⇒P.36



CD-Rトレイ（本製品に付属）
⇒P.36

1　印刷の準備をする

重　要

- DVD/CDのセットを促すメッセージが表示されるまでは、CD-Rトレイはセットしないでください。動作中にDVD/CDをセットすると本製品を損傷するおそれがあります。

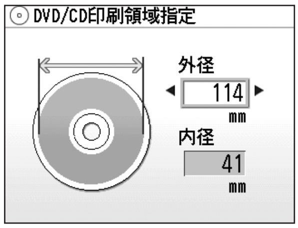
1 電源を入れる⇒P.11

2 ホーム画面から［DVD/CD印刷］ を選び、OKボタンを押す

3 ［DVD/CDレーベルから］ を選び、OKボタンを押す

2　DVD/CD印刷の設定をする

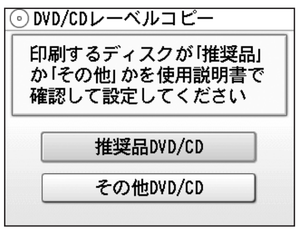
1 ▲▼ボタンで［外径］または［内径］を選び、◀▶ボタンで印刷領域を変更して、OKボタンを押す



参　考

- 外径／内径の寸法は、DVD/CD（プリンタブルディスク）の印刷面の外径／内径を測り、外径には計測した値より小さい数値を、内径には計測した値より大きい数値を指定してください。
- プリンタブルディスクの詳しい情報は、製品メーカーへお問い合わせください。

2 ▲▼ボタンで印刷するDVD/CD（プリンタブルディスク）の種類を選んで、OKボタンを押す



参　考

- 使用するDVD/CD（プリンタブルディスク）が推奨品の場合は、適切な濃度で印刷するために、［推奨品DVD/CD］を指定してください。推奨品でない場合は、［その他DVD/CD］を指定してください。
- 推奨品についての最新情報は、キヤノンサポートホームページ（canon.jp/support）でご確認ください。

3 コピーしたいDVD/CDを原稿台ガラスにセットする

1 コピーしたい面を下にして、DVD/CDを原稿台ガラスの中央付近に置く

重　要

- 原稿台ガラスの端に置くと画像が欠けることがあります。

2 原稿台カバーを閉じ、OKボタンを押す

3 確認画面で設定内容を確認し、OKボタンを押す

参　考

- 操作中に動作音がする場合がありますが、正常な動作です。
- 白黒コピーをする場合は、手順3でOKボタンの代わりにモノクロスタートボタンを押します。
- 設定内容を変更したい場合は、戻るボタンで変更したい画面まで戻って設定し直してください。

4 DVD/CD（プリンタブルディスク）をセットする⇒P.36

参　考

- ファンクションボタン（左）を押すと、DVD/CD（プリンタブルディスク）のセット方法を参照することができます。

5 OKボタンを押し、印刷を開始する

重　要

- コピー中は、直接光源を長時間見ないでください。
- 印刷が終わるまで原稿台カバーを開けたり、セットしたCD-Rトレイを動かさないでください。

参　考

- 印刷を中止するときは、ストップボタンを押します。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避け、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面には触らないでください。
- 印刷終了後ホームボタンを押すと、［DVD/CD印刷］メニューを終了して別のメニューを選べます。

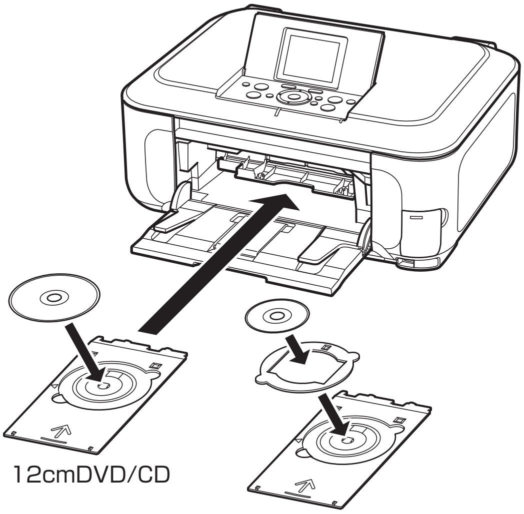
6 DVD/CDを取り出す⇒P.38

重　要

- CD-Rトレイガイドを開いた状態では、通常の用紙を使った印刷はできません。必ずCD-Rトレイガイドを閉じてください。
- 印刷品質を保つため、10枚以上連続して印刷する場合は、10枚ごとに一度印刷を中断することをお勧めします。その場合は、本製品からCD-Rトレイを取り外してCD-Rトレイガイドを閉じてください。3分経過したあとでCD-Rトレイガイドを開き、CD-Rトレイをセットして印刷を再開してください。

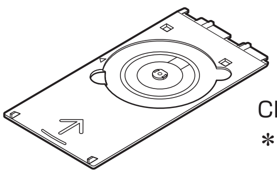
DVD/CDをセットする／取り出す

DVD/CDに印刷するには、付属のCD-Rトレイにセット（プリンタブルディスク）をセットして本体に差し込みます。
パソコンからDVD/CDに印刷する場合も、同様の方法でセットしてください。

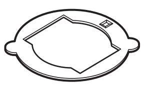


DVD/CDをセットする前に

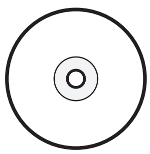
DVD/CDに印刷するには次のものが必要です。



CD-Rトレイ（本製品に付属）
＊表面に「G」と入っています



8cmCD-Rアダプタ
（8cmDVD/CDに印刷するときに使用）
＊CD-Rトレイに装着されています



市販の12cmまたは8cm DVD/CD
（プリンタブルディスク）
レーベル面がインクジェット方式のプリンタに対応したもの

重　要

- ［DVD/CD印刷］メニュー、［DVD/CD手書きナビ］から8cmDVD/CDに印刷することはできません。

参　考

- プリンタブルディスクとは、レーベル面に特殊な加工が施された印刷が可能なDVD/CDです。推奨のDVD/CDを使うと、よりきれいな印刷結果を得ることができます。
  推奨品についての最新情報は、キヤノンサポートホームページ（canon.jp/support）でご確認ください。

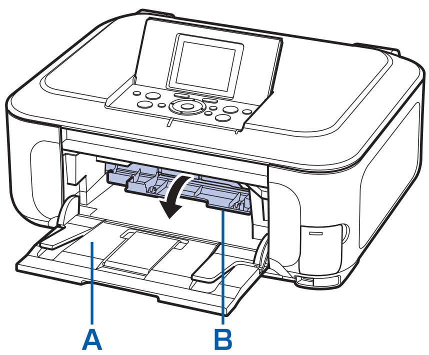
DVD/CDをセットする

重　要

- DVD/CDのセットを促すメッセージが表示されるまでは、CD-Rトレイはセットしないでください。動作中にDVD/CDをセットすると本製品を損傷する恐れがあります。

1 排紙トレイ（A）を開く

2 DVD/CDのセットを促すメッセージを確認し、CD-Rトレイガイド（B）を手前に開く



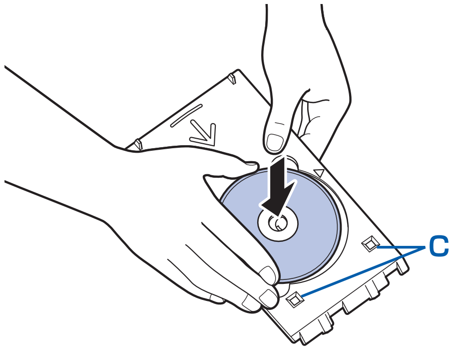
3 CD-RトレイにDVD/CDをセットする

重　要

- CD-Rトレイにゴミなどがないことを確認してからセットしてください。
- セットするときにプリンタブルディスクの印刷面や反射板（C）に触れないでください。

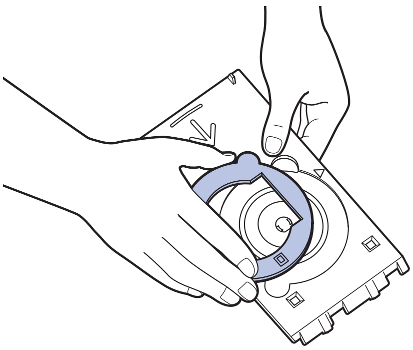
12cmDVD/CDの場合：

印刷面を上にして、DVD/CDをCD-Rトレイにセットする

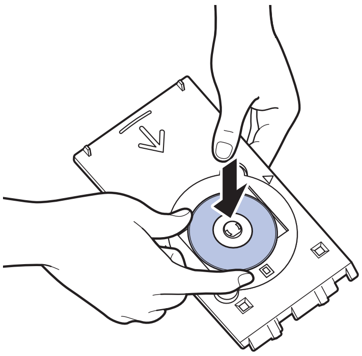


8cmDVD/CDの場合：

1 8cmCD-Rアダプタ両端の突起部分を、CD-Rトレイのくぼみに合わせてセットする



2 印刷面を上にして、8cmDVD/CDをCD-Rトレイにセットする



4 CD-Rトレイをセットする

参考

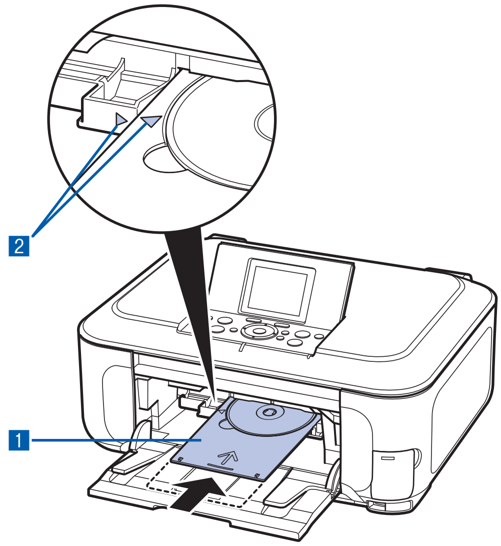
- CD-Rトレイをセット後、一定時間を経過すると、セットしたCD-Rトレイが排出されることがあります。その場合は、画面の指示にしたがって、CD-Rトレイをセットし直してください。

1 CD-RトレイをCD-Rトレイガイドにセットする

2 CD-Rトレイの矢印（◁）と、CD-Rトレイガイドの矢印（▷）がほぼ合うところまで、まっすぐ挿入する

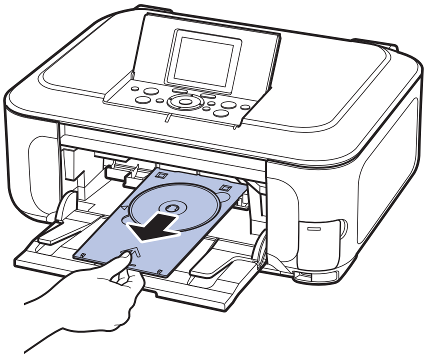
重要

- CD-Rトレイガイドの矢印（▷）の位置より奥にCD-Rトレイを押し込まないでください。



DVD/CDを取り出す

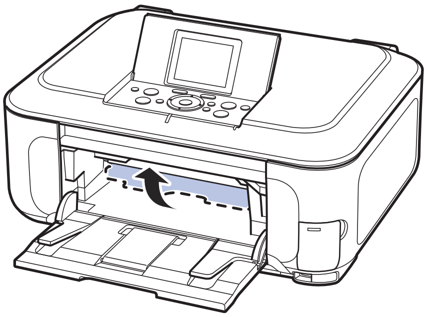
1 CD-Rトレイを手前に引いて取り出す



2 CD-Rトレイガイドを閉じる

重　要

- CD-Rトレイガイドを開いた状態では、通常の用紙を使った印刷はできません。必ずCD-Rトレイガイドを閉じてください。



3 DVD/CDを取り外す

⚠注意

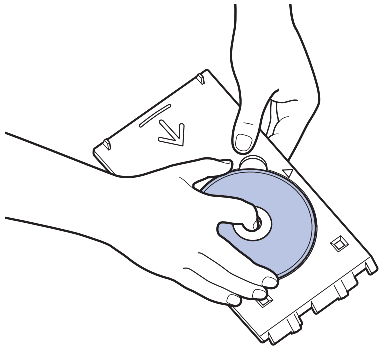
- 取り外す際に印刷面に触れないでください。

参　考

- 印刷面が十分に乾いてから、取り外してください。CD-Rトレイ上に印刷された場合や、DVD/CDの外側および内側の透明部分に印刷された場合は、印刷面が乾いてから拭き取ってください。

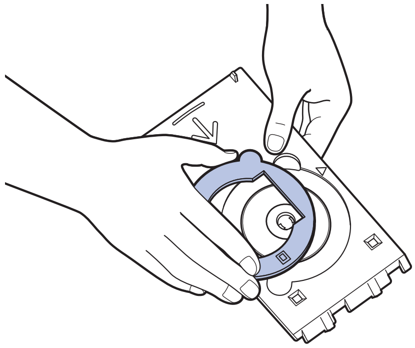
12cmDVD/CDの場合：

CD-RトレイからDVD/CDを取り外す

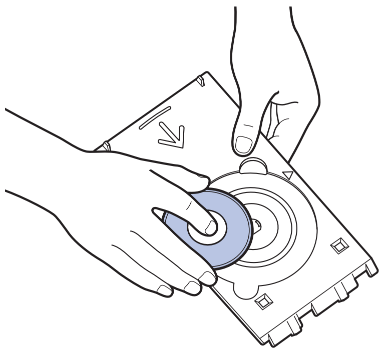


8cmDVD/CDの場合：

1 8cmCD-Rアダプタを取り外す



2 CD-Rトレイから8cmDVD/CDを取り外す



重　要

- CD-Rトレイは反ると使用できなくなることがあります。必ず平らなところに保管してください。

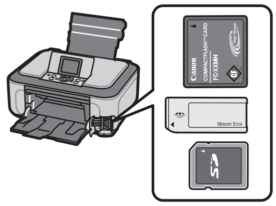
写真に手書き文字を合成して印刷してみよう

本製品から印刷する手書きナビシートを使うと、メモリーカードの写真に手書きの文字やイラストを加えてかんたんに印刷できます。
あらかじめ登録されているフレームやイラスト、文字などを組み合わせれば、手軽な操作でオリジナルの年賀状やグリーティングカード、DVD/CD作りが楽しめます。

[らく楽フォトシート] からスタート



メモリーカードをセットして



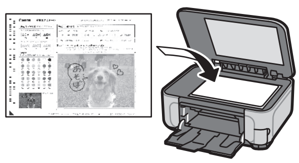
手書きナビシートを印刷



文字やイラストを描き込んだら



手書きナビシートをスキャン



印刷すれば

オリジナルカードやCDの完成！



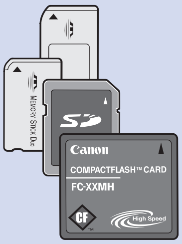


写真に手書き文字を合成して用紙に印刷する

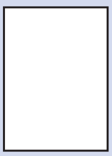
ここでは、手書きナビシートを使って、メモリーカードの写真に手書きの文字やイラストを加えて印刷する方法について説明します。



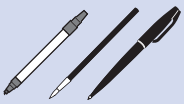
用意するもの



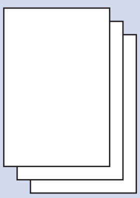
写真の入ったメモリーカード
⇒「メモリーカードをセットする前に」（P.23）



A4サイズの普通紙１枚
手書きナビシート印刷用*1



筆記用具
マーク用の鉛筆と色の濃いペンやマーカーなど*2



印刷用の用紙*3

*1　手書きナビシート印刷用の普通紙は、表裏ともに白いきれいな用紙を用意してください。
*2　文字やイラストを書き込む筆記用具には、色の薄いペンや細いペン、蛍光ペンなどは避けてください。薄いとうまく読み取れないことがあります。
*3　印刷に対応した用紙は、はがき（写真用紙、光沢紙、インクジェットはがき）、L判（写真用紙）、名刺（光沢/マット紙）、KG（写真用紙）、シール紙（2面、4面、9面、16面）です。

1　印刷の準備をする

1　電源を入れる⇒P.11

2　カセットにA4サイズの普通紙がセットされていることを確認する⇒P.87

2　メニューを選び、メモリーカードをセットする

1　ホーム画面から［らく楽フォトシート］を選び、OKボタンを押す

2　［手書きナビ印刷］を選び、OKボタンを押す

3　［手書きシート印刷］が選ばれていることを確認し、OKボタンを押す

4　メモリーカードをカードスロットにセットする⇒P.24

重　要

• 写真の印刷が終了するまで、メモリーカードを取り出さないでください。

5　液晶モニターの表示を確認し、OKボタンを２回押す

3　写真とあらかじめ登録されているイラストや文字を選ぶ

1　イージースクロールホイールか◀▶ボタンで［用紙全面に写真］を選び、OKボタンを押す

参　考

• ［用紙全面に写真］のほかにも、いろいろなレイアウトが選べます。
⇒「いろいろなレイアウトで印刷してみよう」（P.44）

2　イージースクロールホイールか◀▶ボタンで印刷したい写真を表示し、OKボタンを押す

参　考

こんなこともできます

- 表示方法を変更する⇒P.21
- 印刷する写真の一部を切り抜く－トリミング⇒P.21
- 印刷する写真を日付で絞り込む－日付指定⇒P.21

3 イージースクロールホイールか ◀▶ ボタンでフレームを選び、OKボタンを押す

参　考

- ファンクションボタン（左）を押すと、フレームなしで印刷できます。「フレームなし」と表示されたらOKボタンを押してください。
- フレームと写真の方向が合わない場合は、▲▼ボタンでフレームを回転させて、写真に合わせて印刷します。
- フレームに合わせて写真を90度回転させたい場合は、トリミング編集でトリミング枠を回転させて、トリミングの設定をしてください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

4 イージースクロールホイールか ◀▶ ボタンでイラスト／文字を選び、OKボタンを押す

参　考

- ファンクションボタン（左）を押すと、イラスト／文字を入れずに印刷できます。「イラストなし」と表示されたらOKボタンを押してください。

4 カラースタートボタンを押してシートの印刷を開始する

手書きナビシートが印刷されます。

参　考

- 印刷を中止するときは、ストップボタンを押します。

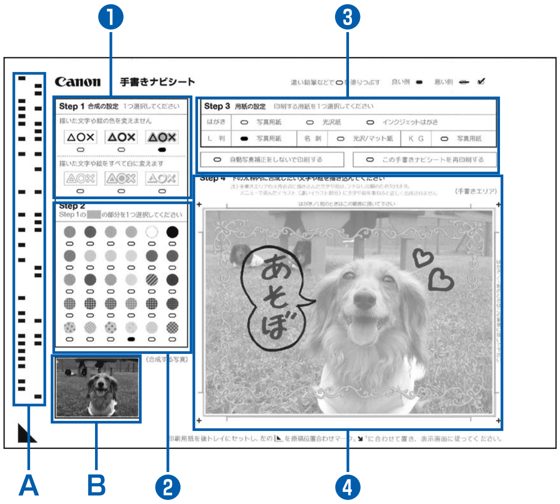
5 シートに合成したい文字やイラストを書き込む

マークを塗るときは、濃い鉛筆などを使ってしっかりと塗りつぶしてください。

良い例　　　　悪い例



チェックマーク　線のみ　うすい



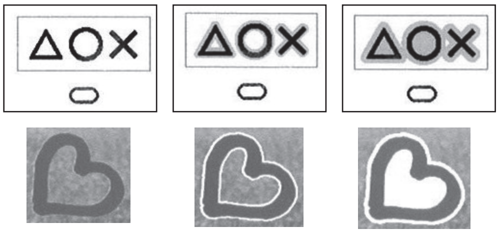
A：印刷設定情報がバーコードで表示されます。この部分は汚さないようにしてください。

B：選んだ写真が印刷されます。

❶ 手書き文字／イラストの色や影の付けかたなどの合成方法を選びます。

描いた色をそのまま印刷する場合

❹に手書きした文字/イラストの色をそのままの色で印刷します。また、文字やイラストへの影（青い部分）の付けかたを指定します。

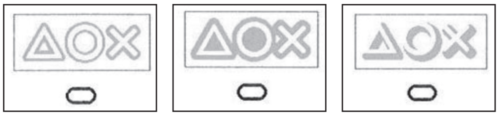


参　考

- 「Step 2」（❷）で、影の色を指定しないときには、影の部分は白フチで印刷します。

描いた部分を白抜きに印刷する場合

❹に手書きした文字/イラストの色を白抜きで印刷します。また、白抜きした文字やイラストへの影（青い部分）の付けかたを指定します。





参　考

- 「Step 2」(❷)で、影の色を指定しないときには、影の部分は黒フチで印刷します。

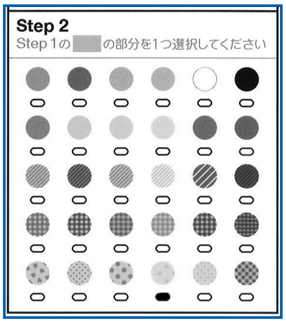


- 右端の立体の影は、撮影した写真の向きや選んだレイアウトにより、意図しない方向につく場合があります。

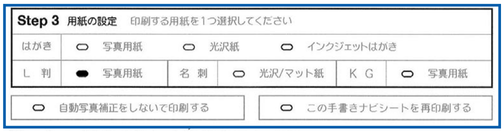
参　考

- 「Step 2」(❷)で影の模様に「チェック」などを選ぶ場合は、修飾効果を「太いフチ」にすることをお勧めします。「細いフチ」を選ぶと、模様が見えづらくなる場合があります。

❷ 「Step1 合成の設定」(❶)で指定した合成パターンの影(青い部分)の色や模様を選びます。



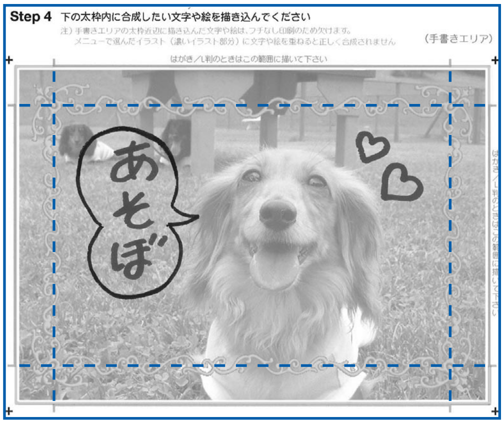
❸ 印刷する用紙のサイズや種類などを選びます。



参　考

- 手順3の**1**で[シール紙]を選んだ場合、用紙の設定項目が異なります。
- 自動写真補正をしない場合は、「自動写真補正をしないで印刷する」にマークを付けてください。マークを付けない場合は自動写真補正が有効になります。
- 「この手書きナビシートを再印刷する」にマークを付けると、手書きナビシートをもう一度印刷します。マークを付けるとほかのマークはすべて無効になります。

❹ 合成したい文字やイラストを書き込みます。



文字やイラストは枠にある└─┘の内側(点線の囲みの内側)に書くようにしてください。

参　考

- 手書きエリアの外の部分は汚さないようにしてください。汚れやシワなどがあると正しく読み込めない場合があります。
- 文字やイラストは、濃い筆記用具でかすれのないようはっきりと書いてください。蛍光ペンなどの薄い色はうまく読み取れない場合があります。
- 手書きエリアに書いた文字やイラストは、印刷する用紙に合わせて写真とともに拡大/縮小されます。
- 写真に合わせて書いた文字やイラストは、実際に合成したときにわずかにずれる場合があります。

- 使用するカメラ、撮影の向きなどにより、手順3の1で選択したレイアウトで印刷されない場合があります。その場合は、もう一度手順1からやり直し、手順3で他のレイアウトを選択してください。
- 手順3で選んだイラストに文字を重ねて描いた場合、文字修飾の効果やフチなどが正しく印刷できない場合があります。イラストに文字を重ねて描かないようにしてください。
- 写真の周囲近辺に書いた文字やイラストは印刷されないことがあります。

参　考

- 各項目で、もれがないように必ずマークを塗りつぶしてください。
- 塗りつぶしたマークが薄いとスキャンされないことがあります。
- シール紙に対応したレイアウトは以下のとおりです。
  －ピクサスプチシールPS-101：16面
  －フォトシールセットPSHRS：2面、4面、9面、16面
- 模様を選ぶ場合は、大きなサイズのシール紙に印刷することをお勧めします。
  シール紙16面で模様を選ぶと、模様が見えづらい場合があります。
- 手書きエリアに印刷されたイラスト／文字に重ねて蛍光ペンや水性ペン等で文字やイラストを書くと、かすれてしまうことがあります。そのままスキャンすると、きれいに印刷されません。
- 手書きナビシートは汚さないようにしてください。汚れやシワなどがあると正しく読み込めない場合があります。

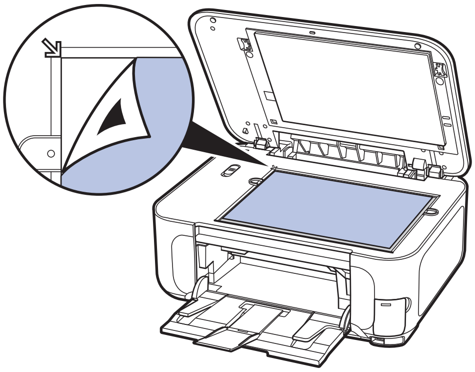
6 シートをスキャンし、写真を印刷する

1 手書きナビシートの「用紙の設定」で選んだ用紙を後トレイにセットする⇒P.87、93

2 ［手書きシート読込］ が選ばれていることを確認し、OKボタンを押す

3 原稿台ガラスに、手書きナビシートをセットする

文字などを書き込んだ面を下にして、シートの左下隅の▲マークを原稿位置合わせマーク（↘）に合わせます。



4 原稿台カバーを閉じて、OKボタンを押す

5 ＋－ボタンで印刷部数を設定し、OKボタンを押す

手書きナビシートがスキャンされ、指定した写真にフレームと手書きエリアの内容が合成されて印刷されます。

印刷が完了するまで手書きナビシートは動かさないでください。

印刷終了後、原稿台ガラスから手書きナビシートを取り出してください。

重　要

- 手書きナビシートをスキャン中は、直接光源を長時間見ないでください。
- スキャンが終わるまで原稿台カバーを開けたり、セットした手書きナビシートを動かさないでください。
- 液晶モニターに［手書きナビシートの読み取りに失敗しました］と表示された場合は、OKボタンを押して、以下を確認してください。
  －原稿台ガラスや手書きナビシートが汚れていないか
  －手書きナビシートのセット位置／表裏が間違っていないか
  －手書きナビシートにマークもれがないか
  －1つのみ選択する項目に複数のチェックマークを付けていないか
- 写真の印刷が完了するまで、メモリーカードは抜かないでください。

参　考

- 印刷を中止するときは、ストップボタンを押します。
- 手書きした文字やイラストの大きさや形によっては、印刷に時間がかかることがあります。
- 撮影方法や画像編集の条件によっては、印刷画像の上下が逆に印刷されることがあります。その場合は用紙の向きを逆にしてセットしてください。
- ホームボタンを押すと、［らく楽フォトシート］メニューを終了して別のメニューを選べます。

いろいろなレイアウトで印刷してみよう

［手書きシート印刷］の［レイアウト選択］の画面で、いろいろなレイアウトを選ぶことができます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。



［縦置き：上半面に写真／横置き：左半面に写真］



［縦置き：下半面に写真／横置き：右半面に写真］



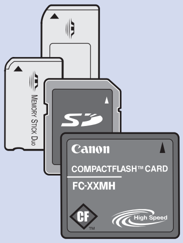
［シール紙］

写真に手書き文字を合成して DVD/CDに印刷する

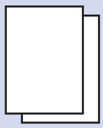
ここでは、DVD/CD手書きナビシートを使って、メモリーカードの写真に手書きの文字やイラストを加え、DVD/CDに印刷する方法について説明します。



用意するもの



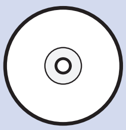
写真の入ったメモリーカード
⇒「メモリーカードをセットする前に」（P.23）



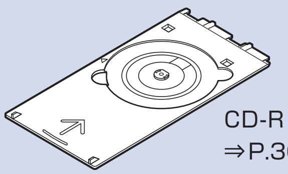
A4サイズの普通紙2枚
DVD/CD手書きナビシート印刷用[*1]と試し印刷用



筆記用具
マーク用の鉛筆と色の濃いペンやマーカーなど[*2]



12cmDVD/CD [*3]
レーベル面に印刷可能なもの
⇒P.36



CD-Rトレイ（本製品に付属）
⇒P.36

*1 DVD/CD手書きナビシート印刷用の普通紙は、表裏ともに白いきれいな用紙を用意してください。
*2 文字やイラストを書き込む筆記用具には、色の薄いペンや細いペン、蛍光ペンなどは避けてください。薄いとうまく読み取れないことがあります。
*3 ここで使用する［らく楽フォトシート］の操作では、8cmDVD/CDに印刷することはできません。

参　考

- 画像がずれて印刷される場合は、［設定］メニューで印刷位置を調整してください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

1 印刷の準備をする

重　要

- DVD/CDのセットを促すメッセージが表示されるまでは、CD-Rトレイはセットしないでください。動作中にDVD/CDをセットすると本製品を損傷するおそれがあります。

1 電源を入れる⇒P.11
2 カセットにA4サイズの普通紙が2枚以上セットされていることを確認する⇒P.87

2 メニューを選び、メモリーカードをセットする

1 ホーム画面から［らく楽フォトシート］を選び、OKボタンを押す
2 ［DVD/CD手書きナビ］を選び、OKボタンを押す
3 ［ナビシート印刷］が選ばれていることを確認し、OKボタンを押す
4 メモリーカードをカードスロットにセットする⇒P.24

重　要

- 写真の印刷が終了するまで、メモリーカードを取り出さないでください。

5 液晶モニターの表示を確認し、OKボタンを押す

3 印刷したい写真を選ぶ

1 イージースクロールホイールか◀▶ボタンで印刷したい写真を表示し、OKボタンを押す
2 印刷イメージを確認し、OKボタンを押す

参　考

こんなこともできます

- 印刷する範囲を指定する－トリミング⇒P.21
- 印刷する写真を日付で絞り込む－日付指定⇒P.21

4 カラースタートボタンを押してシートの印刷を開始する

DVD/CD手書きナビシートが印刷されます。

参　考

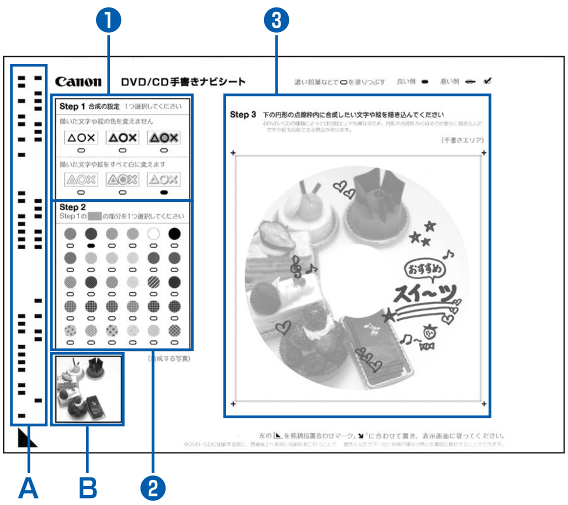
- 印刷を中止するときは、ストップボタンを押します。

5 シートに合成したい文字やイラストを書き込む

マークを塗るときは、濃い鉛筆などを使ってしっかりと塗りつぶしてください。

良い例　　　悪い例



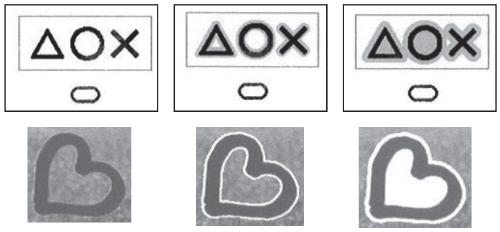


A：印刷設定情報がバーコードで表示されます。この部分は汚さないようにしてください。
B：選んだ写真が印刷されます。

❶ 手書き文字／イラストの色や影の付けかたなどの合成方法を選びます。

描いた色をそのまま印刷する場合

❸に手書きした文字/イラストの色をそのままの色で印刷します。また、文字やイラストへの影（青い部分）の付けかたを指定します。

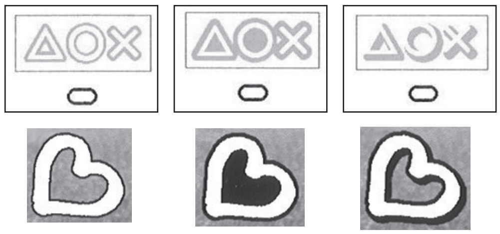


参　考

- 「Step 2」（❷）で、影の色を指定しないときには、影の部分は白フチで印刷します。

描いた部分を白抜きに印刷する場合

❸に手書きした文字/イラストの色を白抜きで印刷します。また、白抜きした文字やイラストへの影（青い部分）の付けかたを指定します。



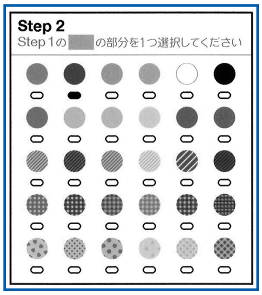
参　考

- 右端の立体の影は、撮影した写真の向きや選んだレイアウトにより、意図しない方向につく場合があります。
- 「Step 2」（❷）で、影の色を指定しないときには、影の部分は黒フチで印刷されます。

参　考

- マークは必ず１つ塗りつぶしてください。
- 塗りつぶしたマークが薄いとスキャンされないことがあります。
- 「Step 2」（❷）で影の模様に「チェック」などを選ぶ場合は、修飾効果を「太いフチ」にすることをお勧めします。「細いフチ」を選ぶと、模様が見えづらくなる場合があります。

❷「Step1 合成の設定」(❶)で指定した合成パターンの影(青い部分)の色や模様を選びます。



❸ 合成したい文字やイラストを書き込みます。



文字やイラストは薄く印刷された写真の上に書くようにしてください。

参 考

- 手書きエリアの外の部分は汚さないようにしてください。汚れやシワなどがあると正しく読み込めない場合があります。

参 考

- 文字やイラストは、濃い筆記用具でかすれのないようはっきりと書いてください。蛍光ペンなどの薄い色はうまく読み取れない場合があります。
- 印刷領域の設定によっては、実際のDVD/CDの印刷結果とDVD/CD手書きナビシート上の印刷イメージとが異なる場合があります。また、ナビシートを印刷する用紙の種類によって、写真の色あいなどの見えかたも異なります。
- DVD/CDの内径と外径の近辺に文字やイラストを書くと、印刷のときに欠けることがあります。
- DVD/CD手書きナビシートは汚さないようにしてください。汚れやシワなどがあると正しく読み込めない場合があります。

6 用紙にお試し印刷する

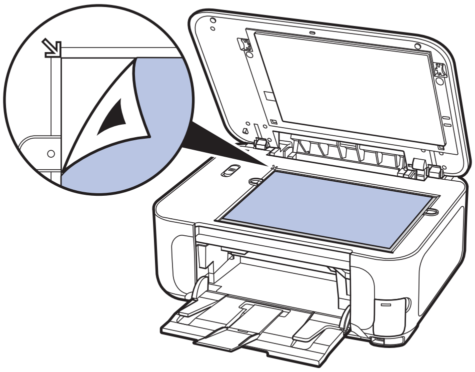
参 考

- お試し印刷を行わない場合は、次の手順7に進んでください。

1 [お試し印刷] を選び、OKボタンを押す

2 原稿台ガラスに、DVD/CD手書きナビシートをセットする

文字などを書き込んだ面を下にして、ナビシートの左下隅の▲マークを原稿位置合わせマーク(↘)に合わせます。



3 原稿台カバーを閉じて、OKボタンを押す

4 ▲▼ボタンで[外径]または[内径]を選び、◀▶ボタンで印刷領域を変更して、OKボタンを押す

参 考

- 外径/内径の寸法は、DVD/CD(プリンタブルディスク)のパッケージやケース内のインデックスシートに記載されている印刷可能範囲(最小内径、最大外形)を確認するか、または印刷面の外径/内径を実際に測り、外径には計測した値より小さい数値を、内径には計測した値より大きい数値を指定してください。

5 カセットにA4サイズの用紙がセットされていることを確認して、カラースタートボタンを押す

お試し印刷が開始されます。

参 考

- お試し印刷結果の色あいや見えかたは、実際のDVD/CDの印刷結果と異なる場合があります。
- お試し印刷の結果を確認して修正したい場合は、手書きナビシート上の「Step1 合成の設定」を変更してください。

7 シートをスキャンし、写真を印刷する

1 ［シート読込＆印刷］ が選ばれていることを確認し、OKボタンを押す

参　考

- お試し印刷を行った場合は、OKボタンを押して5まで進んでください。

2 原稿台ガラスに、DVD/CD手書きナビシートをセットする⇒手順6の2

3 原稿台カバーを閉じて、OKボタンを押す

4 ▲▼ボタンで［外径］または［内径］を選び、◀▶ボタンで印刷領域を変更して、OKボタンを押す

参　考

- 外径／内径の寸法は、DVD/CD（プリンタブルディスク）のパッケージやケース内のインデックスシートに記載されている印刷可能範囲（最小内径、最大外形）を確認するか、または印刷面の外径／内径を実際に測り、外径には計測した値より小さい数値を、内径には計測した値より大きい数値を指定してください。
- プリンタブルディスクの詳しい情報は、製品メーカーへお問い合わせください。

5 ▲▼ボタンで印刷するDVD/CD（プリンタブルディスク）の種類を選んで、OKボタンを押す

参　考

- 使用するDVD/CD（プリンタブルディスク）が推奨品の場合は、適切な濃度で印刷するために、［推奨品DVD/CD］を指定してください。推奨品でない場合は、［その他DVD/CD］を指定してください。推奨品についての最新情報は、キヤノンサポートホームページ（canon.jp/support）でご確認ください。

6 確認画面で印刷設定を確認し、OKボタンを押す

参　考

- 操作中に動作音がする場合がありますが、正常な動作です。
- 設定内容を変更したい場合は、戻るボタンで変更したい画面に戻って設定し直してください。

7 DVD/CD（プリンタブルディスク）をセットし（⇒P.36）、OKボタンを押して印刷を開始する

DVD/CD手書きナビシートがスキャンされ、指定した写真に手書きエリアの内容が合成されて印刷されます。
印刷が完了するまでは原稿台カバーを開けないでください。
印刷終了後、原稿台ガラスからDVD/CD手書きナビシートを取り出してください。

重　要

- DVD/CD手書きナビシートをスキャン中は、直接光源を長時間見ないでください。
- スキャンが終わるまで原稿台カバーを開けたり、セットしたDVD/CD手書きナビシートを動かさないでください。
- 液晶モニターに［DVD/CD手書きナビシートの読み取りに失敗しました］と表示された場合は、OKボタンを押して、以下を確認してください。
  - －原稿台ガラスやDVD/CD手書きナビシートが汚れていないか
  - －DVD/CD手書きナビシートのセット位置／表裏が間違っていないか
  - －DVD/CD手書きナビシートにマークもれがないか
  - －1つのみ選択する項目に複数のマークを付けていないか
- DVD/CDへの印刷が完了するまで、メモリーカードを抜かないでください。

参　考

- 印刷を中止するときは、ストップボタンを押します。
- ［セット方法］と表示されている画面でファンクションボタン（左）を押すと、DVD/CD（プリンタブルディスク）のセット方法が表示されます。
- 手書きした文字やイラストの大きさや形によっては、印刷に時間がかかることがあります。
- DVD/CDの取り出しについては「DVD/CDを取り出す」（P.38）を参照してください。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避け、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面には触らないでください。
- 印刷品質を保つため、10枚以上連続して印刷する場合は、10枚ごとに一度印刷を中断することをお勧めします。その場合は、本製品からCD-Rトレイを取り外してCD-Rトレイガイドを閉じてください。3分経過したあとでCD-Rトレイガイドを開き、CD-Rトレイをセットして印刷を再開してください。
- ホームボタンを押すと、［らく楽フォトシート］メニューを終了して別のメニューを選べます。

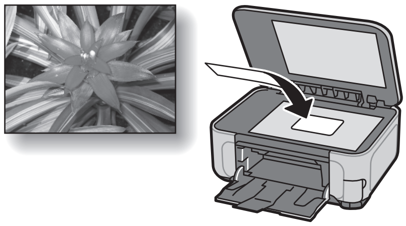
写真やフィルムから印刷してみよう

プリント写真を焼き増ししたり、フィルムから直接写真を印刷することができます。

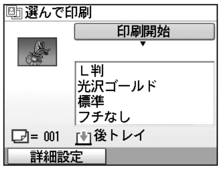
写真の焼き増しは［かんたん写真焼増し］
フィルムの印刷は［フィルム印刷］
からスタート



写真やフィルムをセットしてスキャン

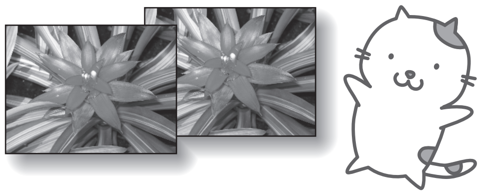


印刷の設定をして



印刷すれば

焼き増し／フィルムからの写真の完成！

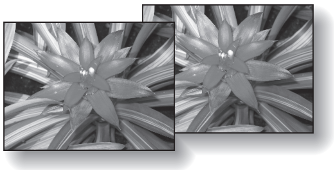


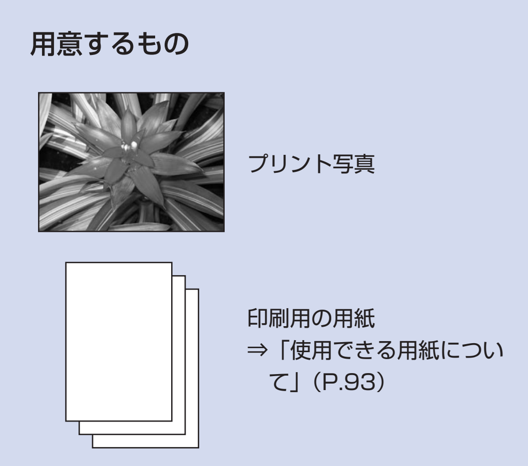
写真を焼き増しする

プリント写真を焼き増ししてみましょう。
ここでは、プリント写真をスキャンして、L判サイズの写真用紙に印刷する方法について説明します。

参　考

- ここでスキャンした画像は保存できません。画像を保存したい場合は、パソコンからスキャンしてください。
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）





1　写真焼き増しの準備をする

1 電源を入れる⇒P.11

2 用紙をセットする⇒P.87

ここでは、L判サイズの写真用紙を後トレイにセットします。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

4 ホーム画面から［かんたん写真焼増し］を選び、OKボタンを押す

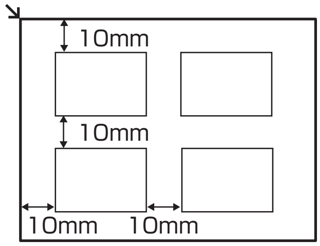
説明画面が表示されたら、もう一度OKボタンを押します。

2　写真を原稿台ガラスにセットし、スキャンする

1 原稿台カバーを開ける

2 スキャンしたい面を下にして写真を原稿台ガラスにセットする⇒P.98

E判やL判は4枚、2L判やはがきは2枚までセットできます。



参　考

- 写真は原稿台ガラスと平行になるように、原稿台ガラスの端から10mm以上あけてセットしてください。
- 写真が2枚以上ある場合は、写真と写真の間隔を10mm以上あけてください。写真と写真の間隔が狭いと、1つの画像としてスキャンされる場合があります。
- 傾き補正機能により、約10度までの傾きは自動的に補正されます。
- 長い辺が約180mm以上の写真の傾きは補正できません。
- プレビュー画面にが表示された場合は、写真が原稿台ガラスの端に近づきすぎていないか、傾きが大きすぎないかを確認し、写真をセットし直してから、再度スキャンしてください。
- 約25mm四方より小さい写真は正しくスキャンできません。
- 次のような写真は、正しくスキャンできない場合があります。
  －長方形以外の変形した写真（いろいろな形に切り抜いた写真など）
  －全体が白っぽい写真
  －周囲が白っぽい写真
- フチのある写真はフチの部分を正しくスキャンできない場合があります。必要に応じてトリミングを行ってください。
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

3 原稿台カバーをゆっくり閉じ、OKボタンを押す

スキャンが開始されます。

重　要

- 写真をスキャン中は、直接光源を長時間見ないでください。
- 印刷前に写真を再度スキャンするため、印刷が終了するまではセットした写真を動かさないでください。

3 印刷枚数を設定する

1 ［選んで印刷］ を選び、OKボタンを押す

参　考

- ［選んで印刷］のほかにも、便利な印刷機能があります。
⇒「いろいろな機能を使ってみよう」（P.57）

2 イージースクロールホイールか◀▶ボタンで印刷したい写真を表示する

3 ＋－ボタンで印刷枚数を指定する



参　考

- 写真の横にが表示されている場合は、正しくスキャンできなかった可能性があります。戻るボタンを押したあと、ファンクションボタン（左）を押して［再読込］を選び、メッセージにしたがって手順2から操作し直してください。

こんなこともできます

- 表示方法を変更する⇒P.21
（［標準画面表示］のほかに［フルスクリーン表示］、［拡大表示］を選ぶことができます。）
- 印刷する範囲を指定する－トリミング⇒P.21

4 手順2、3を繰り返し、印刷したい写真ごとに印刷枚数を指定する

5 OKボタンを押す

4 印刷を開始する

1 用紙のサイズや種類、画質などを確認する

ここでは、用紙サイズ［L判］、用紙の種類にセットした写真用紙が設定されていることを確認します。

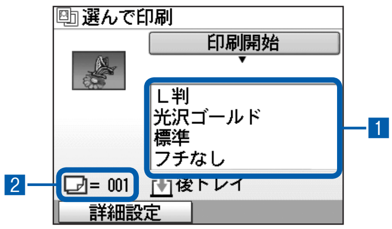
参　考

- 設定内容を変更するときは、各項目を選んでOKボタンを押してください。
⇒「設定項目について」（P.19）
- 用紙のサイズや種類、印刷品質などの設定項目は保存され、電源を入れ直しても次回［かんたん写真焼増し］メニューを選んだときにその設定が表示されます。

2 印刷に必要な用紙の枚数を確認する

参　考

- ファンクションボタン（左）を押して［詳細設定］を選ぶと、写真の補正を自動または手動で行うことができます。
⇒「いろいろな機能を使ってみよう」（P.57）



3 カラーで印刷する場合はカラースタートボタンを押し、白黒で印刷する場合はモノクロスタートボタンを押す

印刷が開始されます。

印刷終了後、原稿台ガラスから写真を取り出してください。

参　考

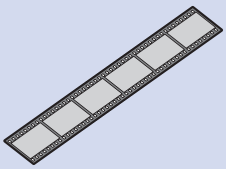
- 印刷を中止するときは、ストップボタンを押します。
- 印刷終了後ホームボタンを押すと、［かんたん写真焼増し］メニューを終了して別のメニューを選べます。メッセージを確認して［はい］を選ぶと、読み込んだ画像は削除されます。

フィルムから印刷する

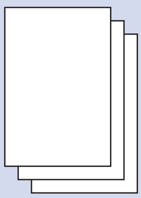
35mmのスリーブフィルムやマウントフィルムから写真を印刷してみましょう。
ここでは、最も一般的な35mmスリーブフィルムのカラーネガフィルムをスキャンして、L判サイズの写真用紙に印刷する方法について説明します。



用意するもの



35mmスリーブフィルム



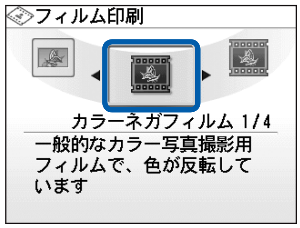
印刷用の用紙
⇒「使用できる用紙について」（P.93）

参　考

- 6コマずつつながった現像仕上がりのフィルムを「スリーブフィルム」といい、1コマずつスライド用マウントにセットされたフィルムを「マウントフィルム」といいます。
- ここでの操作でスキャンした画像は保存できません。画像を保存したい場合は、パソコンからスキャンしてください。⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）
- 印刷できるフィルムの種類は、カラーネガ、白黒ネガ、カラーポジ、マウントフィルムです。一度に種類の異なるフィルムをスキャンしないでください。

1 フィルム印刷の準備をする

1. 電源を入れる⇒P.11
2. 用紙をセットする⇒P.87
   ここでは、L判サイズの光沢ゴールドを後トレイにセットします。
3. 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く
4. ホーム画面から［フィルム印刷］ を選び、OKボタンを押す
5. ［カラーネガフィルム］ を選び、OKボタンを押す



2 フィルムを原稿台ガラスにセットする⇒「フィルムをセットする」（P.53）

3 原稿台カバーをゆっくり閉じ、カラースタートボタンを押す

フィルムがスキャンされます。

重　要

- フィルムのスキャン中は、直接光源を長時間見ないでください。

参　考

- 印刷前にフィルムを再度スキャンするため、印刷が終了するまではセットしたフィルムを動かさないでください。
- 正しくスキャンできなかった場合は、「困ったときには」の「フィルムのスキャン/印刷に関するトラブル」（P.155）を参照してください。

4 印刷枚数を設定する⇒P.51

5 印刷を開始する⇒P.51

6 フィルムガイドを元に戻す⇒P.56

参考

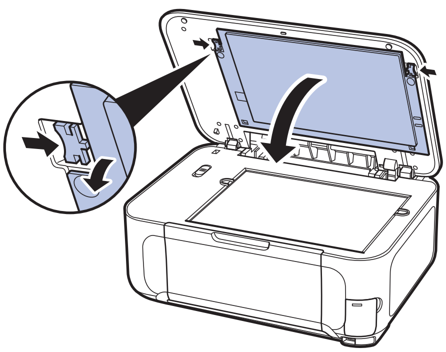
- 印刷終了後ホームボタンを押すと、［フィルム印刷］メニューを終了して別のメニューを選べます。メッセージを確認して［はい］を選ぶと、読み込んだ画像は削除されます。

フィルムをセットする

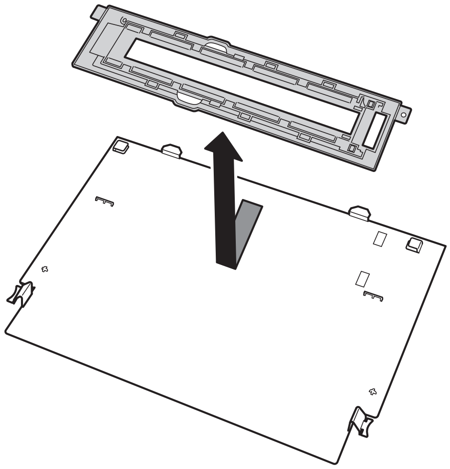
フィルムは、原稿台カバーに収納されているフィルムガイドに取り付けてから、原稿台ガラスにセットします。パソコンからフィルムをスキャンする場合も、同様の方法でセットしてください。

1 フィルムガイドをFAU（フィルムアダプタユニット）保護シートから取り外す

1 原稿台カバーを開け、FAU保護シートを取り外す



2 FAU保護シートの裏側から、フィルムガイドを取り外す



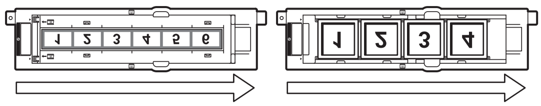
重要

- フィルム印刷の終了後は、取り外したフィルムガイドをFAU保護シート裏に収納し、必ず原稿台カバーに取り付けてください。書類や写真などフィルム以外の原稿をコピー、スキャンするときにはFAU保護シートが取り付けられている必要があります。

2 フィルムを原稿台ガラスにセットする

参考

- スキャンされる方向に合わせて、フィルムは左から右に順にセットします。ただし、撮影したカメラの機種によっては、フィルムのコマ順どおりにスキャンできないことがあります。
- 写真を正しい向きで印刷するには、セットするときのフィルムの向きに気をつけてください。下図のようにフィルムの表裏、上下がそれぞれ逆になるようにセットします。



35mmスリーブフィルム　35mmマウントフィルム

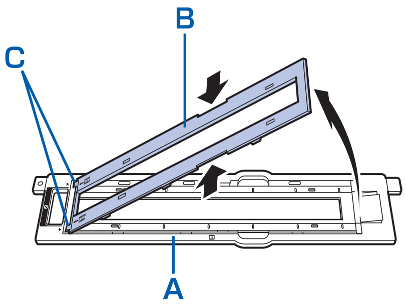
写真やフィルムから印刷してみよう

35mmスリーブフィルムの場合：

1 フィルムガイド（A）はフィルムのイラストが入っている面を上に向け、フィルムホルダ（B）のくぼみを内側に押しながら開く

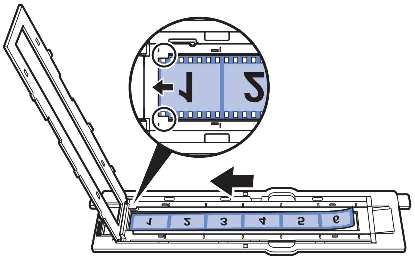
参　考

- スリーブ用フレーム（C）のヒンジ部が外れないようにフィルムホルダを開いてください。



2 フィルムを裏にして（画像が正しく見える面を下向きに）、フィルムの先端をスリーブ用フレームのツメに差し込んで、左から右に順にセットする

画像の上下も逆になるようにセットしてください。



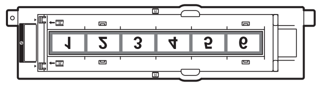
3 フィルムホルダをしっかり閉じる

参　考

- ホルダがきちんと閉じないときは、フィルムが正しくセットされているか確認してください。
- ホルダに浮きがあるときは、上から全体を押しつけて、突起を溝にはめ込みます。

4 ホルダ上の白線マークと、フィルムのコマとコマの境が合っているかを確認する

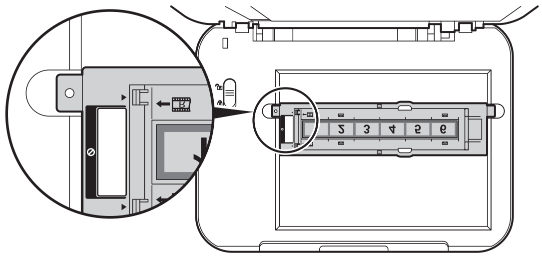
セットしたフィルムの向きも再度確認してください。



参　考

- ご使用のフィルムによっては、フィルム先端をスリーブ用フレームのツメの下に通して入れると、コマ間がフィルムホルダの白線マークに合わないことがあります。その場合は、フィルムのコマ間を白線マークに合わせることを優先してセットしてください。

5 フィルムガイドを原稿台ガラスの左右の溝に合わせてセットする

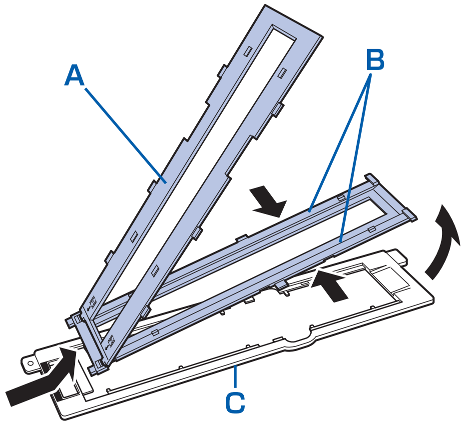


参　考

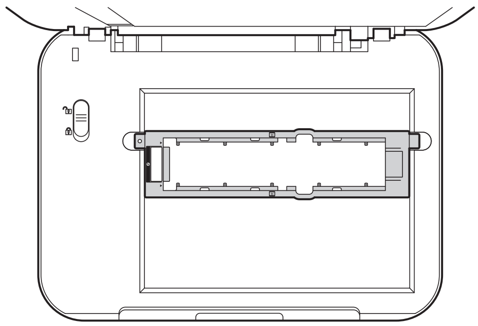
- スリーブ用フレームの長さより短いフィルムをスキャンすると、フィルムのない部分に接しているコマの画像がやや白っぽくなることがあります。この場合は、フィルムのない部分を黒い紙などでふさいでスキャンしてください。
- フィルムの画像のない箇所に管理用のシールが貼られていると、それを画像と判断する場合があります。

35mmマウントフィルムの場合：

1 **フィルムホルダ（A）のくぼみを内側に押しながら開き、同様にくぼみの位置でスリーブ用フレーム（B）を内側に押しながらフィルムガイド（C）から取り外す**

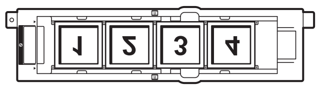


2 **原稿台ガラスの左右の溝に合わせてフィルムガイドをセットする**



3 **フィルムを裏にし（画像が正しく見える面を下向きに）、画像の上下を逆にして、左から右に順番にセットする**

フィルムが原稿台ガラスから浮かないようにセットしてください。



フィルムを取り外す

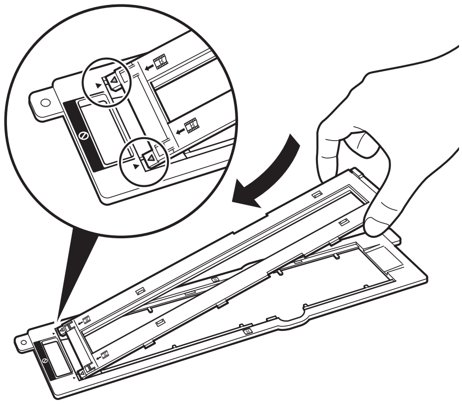
フィルムガイドからフィルムを取り外し、フィルムガイドを元どおり原稿台カバーに収納します。

1 フィルムを取り外す

1 **原稿台カバーを開け、フィルムガイドを取り出す**

2 **フィルムガイドからフィルムを取り出し、フィルムホルダをしっかり閉じる**

マウントフィルムの場合は、スリーブ用フレームの◁マークとフィルムガイドの▷マークどうしを合わせ、フレーム先端のツメをフィルムガイドに差し込みます。それからフィルムホルダをしっかり閉じてください。



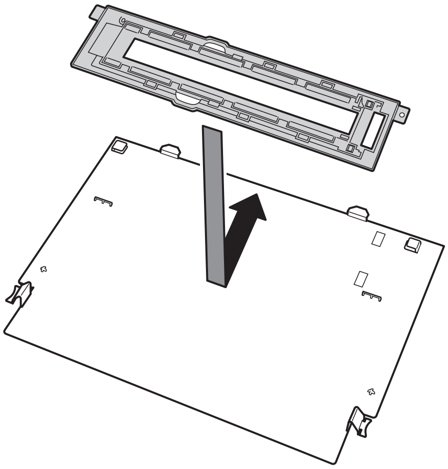
参 考

- ホルダに浮きがあるときは、上から全体を押しつけて、突起を溝にはめ込みます。

2 フィルムガイドを元に戻す

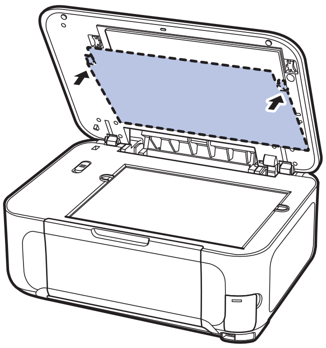
1 FAU保護シートの裏側にフィルムガイドを取り付ける

フィルムガイドを裏返してセットします。



2 原稿台カバーにFAU保護シートを取り付ける

シートの突起部分を原稿台カバーの溝に差し込み、シート上部の両端を押してはめ込みます。



いろいろな機能を使ってみよう

［かんたん写真焼増し］メニューで使える便利な機能の一部を紹介します。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

いろいろなレイアウトで印刷する

［選んで印刷］のほかに、レイアウトを選んで写真を印刷することができます。



［絵はがき風印刷］



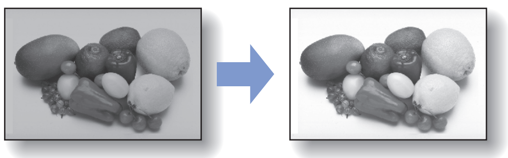
［シール紙印刷］



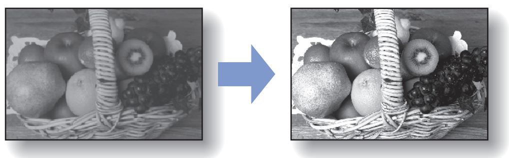
［すべての写真を印刷］

画像を補正する

画面下部に［詳細設定］が表示されているとき、ファンクションボタン（左）を押すと、画像に対して自動または手動で明るさやコントラスト、色あいなどの調整や色あせ補正を行うこともできます。



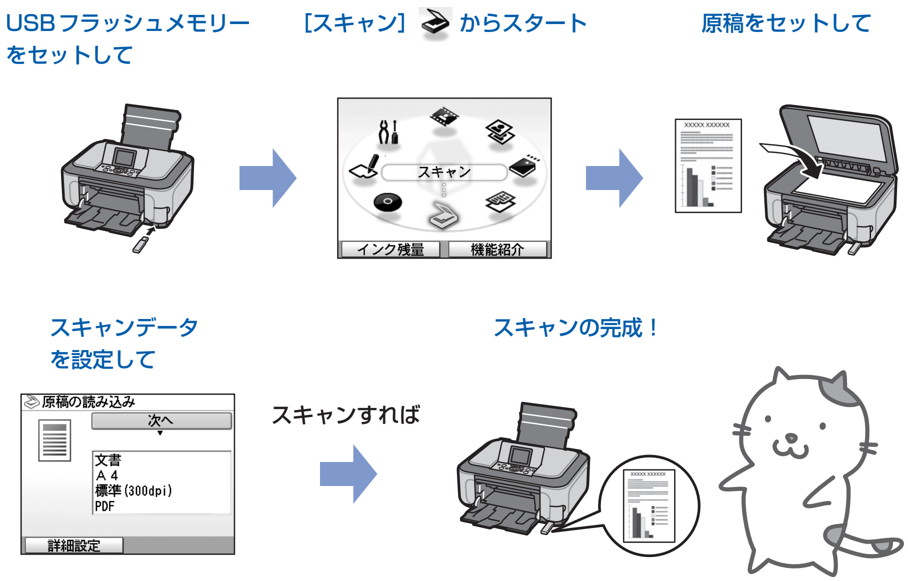
［明るさ］



［コントラスト］

スキャンしてみよう

スキャンしたデータは、パソコンに転送して付属のアプリケーションソフトを使って編集／加工したり、本製品に取り付けたUSBフラッシュメモリーやメモリーカードに保存することができます。



スキャンしたデータを保存する

ここでは、本製品の操作パネルを使ってスキャンした文書を、USBフラッシュメモリーにPDFの画像データで保存する方法について説明します。

スキャンしたデータをメモリーカードやパソコンに保存する方法や、パソコンからスキャンする方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

重　要

- USBフラッシュメモリーやメモリーカードに保存したデータは、万一の故障に備えてほかの媒体に定期的に保存することをお勧めします。
- データの破損または消失については、本製品の保障期間内であっても、理由の如何に関わらず、弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

USBフラッシュメモリーに保存する

1 USBフラッシュメモリーの準備をする

1 電源を入れる⇒P.11

2 USBフラッシュメモリーをカメラ接続部にセットする⇒P.62

2 スキャン操作を選ぶ

1 ホーム画面から［スキャン］を選び、OKボタンを押す

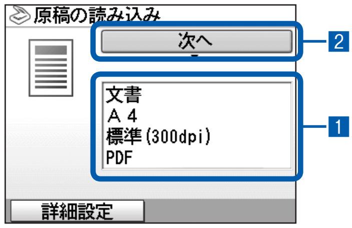
2 イージースクロールホイールか◀▶ボタンで［USBメモリー］を選び、OKボタンを押す

動作選択画面が表示されます。

3 ［USBメモリーに保存］を選び、OKボタンを押す

スキャン設定画面が表示されます。

3 スキャンデータを設定する



1 原稿の種類やスキャンする原稿のサイズ、解像度などを確認する

ここでは、原稿の種類［文書］、読取サイズ［A4］、データ形式［PDF］が選ばれていることを確認してください。

設定内容を変更するときは、イージースクロールホイールか▲▼ボタンで各項目を選んでOKボタンを押してください。

参　考

- 詳細な設定やファンクションボタンの［詳細設定］については『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- PDFで保存する場合は、最大100ページを1ファイルに保存できます。

2 ［次へ］を選び、OKボタンを押す

4 スキャンを開始する

1 メッセージを確認してOKボタンを押し、原稿台ガラスに原稿をセットする⇒P.98

参　考

- スキャンできる原稿のサイズは、A4またはレターサイズ、L判、2L判、KGサイズ、はがき、名刺です。

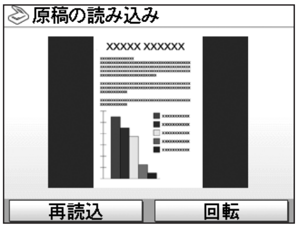
2 カラーでスキャンする場合はカラースタートボタンを押し、白黒でスキャンする場合はモノクロスタートボタンを押す

スキャンが開始されます。

重　要

- 原稿または写真をスキャン中は、直接光源を長時間見ないでください。

3 スキャンした画像データを画面で確認する



参　考

- 手順3の1で［詳細設定］の［プレビュー］がOFFに設定されている場合は、スキャンした画像データを確認する画面は表示されません。
- ファンクションボタン（左）を押して［再読込］を選ぶと、スキャンをやり直すことができます。メッセージを確認して操作し直してください。
- ファンクションボタン（右）を押して［回転］を選ぶと、スキャンした画像を時計回りに90度回転できます。

4 OKボタンを押して、スキャンしたデータを保存する

「読み取りを終了しますか？」の画面が表示されます。

5 ［読み取り終了］を選び、OKボタンを押す

スキャン終了後、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

参　考

- 続けて複数ページの原稿をスキャンする場合は、［読み取り続行］を選んでOKボタンを押し、次の原稿をセットして手順4の2から操作を繰り返します。すべての原稿をスキャンするまで、この操作を繰り返します。
- スキャン終了後、ホームボタンを押すと、［スキャン］メニューを終了して別のメニューを選べます。

重　要

- 動作中は、USBフラッシュメモリーを抜かないでください。また、動作中に電源を切らないでください。
- スキャンが終わるまで原稿台カバーを開けたり、セットした原稿または写真を動かさないでください。
- スキャンしたデータはUSBフラッシュメモリーのCANON_SCフォルダ内に保存されます。
CANON_SCフォルダ内に保存されたデータは操作パネルからは印刷できません。保存したデータを表示したり、印刷する場合には、USBフラッシュメモリーをパソコンに直接取り付けて操作してください。

参　考

- 保存終了後、USBフラッシュメモリーを取り外します。
⇒「USBフラッシュメモリーを取り外す」（P.62）

スキャンしたデータを削除する

1 USBフラッシュメモリーの準備をする

1 電源を入れる⇒P.11

2 USBフラッシュメモリーをカメラ接続部にセットする⇒P.62

2 スキャンしたデータを削除する

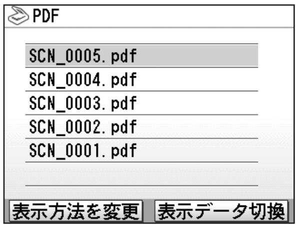
1 ホーム画面から［スキャン］を選び、OKボタンを押す

2 ［USBメモリー］を選び、OKボタンを押す

動作選択画面が表示されます。

3 ［読取データの削除］を選び、OKボタンを押す

スキャンデータのファイル名のリストが表示されます。



4 イージースクロールホイールか▲▼ボタンで削除するデータを選び、OKボタンを押す

参　考

- 削除するデータを選び、ファンクションボタン（左）を押すと、削除するデータを画面に表示できます。
- ファンクションボタン（右）を押すと、表示されているデータをPDFの一覧とJPEGの一覧で切り替えることができます。
- 本製品でスキャンしたデータのみ削除できます。

5 「削除しますか？」の確認画面が表示されるので、［はい］を選び、OKボタンを押す

6「本当に削除しますか？」の確認画面が表示されるので、［はい］を選び、OKボタンを押す

スキャンしたデータがUSBフラッシュメモリーから削除されます。

USBフラッシュメモリーをセットする

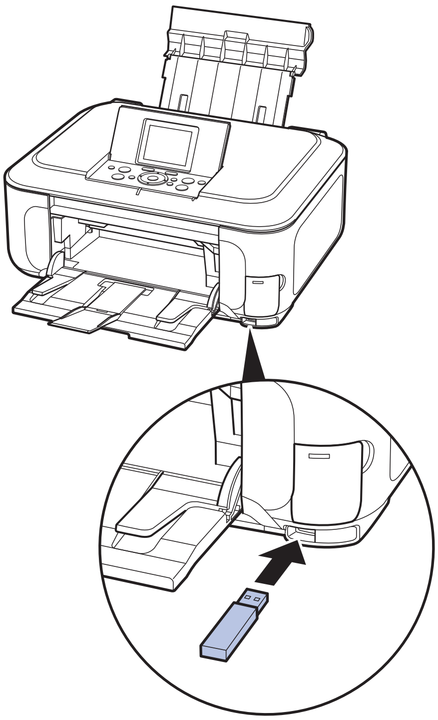
参　考

USBフラッシュメモリーをセットする前に

- ご使用のUSBフラッシュメモリーが本製品のカメラ接続部に取り付けられない場合は、USBフラッシュメモリー用延長ケーブルが必要なことがあります。電器店にてお買い求めください。
- ご使用のUSBフラッシュメモリーによっては動作の保証ができない場合があります。
- セキュリティ設定がされているUSBフラッシュメモリーは使用できない場合があります。

USBフラッシュメモリーをセットする

以下のイラストを参照しながら、端子の向きに注意してまっすぐ差し込んでください。



USBフラッシュメモリーを取り外す

1 データが読み込み／書き込み中でないことを確認する

液晶モニターで動作が終了しているか確認します。

重　要

- 動作中は、USBフラッシュメモリーを抜かないでください。また、動作中に電源を切らないでください。

参　考

- セットしたUSBフラッシュメモリーにアクセスランプがある場合は、USBフラッシュメモリーの取扱説明書を参照して、データが読み込み／書き込み中でないことを確認してください。

2 USBフラッシュメモリーを取り外す

USBフラッシュメモリーをつまんで、まっすぐに取り外します。

パソコンから印刷してみよう

ここでは、文書や写真などをパソコンから印刷する方法について説明しています。
付属のソフトウェアEasy-PhotoPrint EX（イージー・フォトプリント・イーエックス）を使うと、デジタルカメラで撮った写真をかんたんな操作で印刷することができます。
また、プロレベルの写真編集と印刷を実現する付属のプラグインソフトEasy-PhotoPrint Pro（イージー・フォトプリント・プロ）についても紹介しています。

Easy-PhotoPrint EX
を起動して



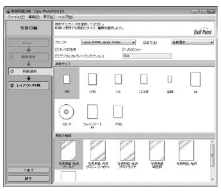
［写真印刷］を
クリック



写真を選んで



用紙／サイズを選び



レイアウトを選んで



印刷
すれば

写真の完成！



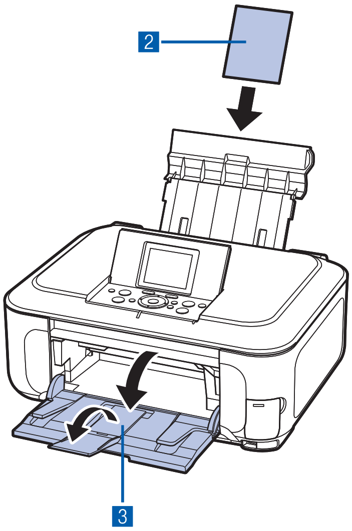
写真を印刷する（Easy-PhotoPrint EXを使う）

付属のソフトウェアEasy-PhotoPrint EX（イージー・フォトプリント・イーエックス）を使って、パソコンに保存されている画像データを印刷してみましょう。
ここでは、L判サイズの写真用紙に、画像をフチなしで印刷する方法について説明します。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- Windowsの画面を例に説明していますが、Macintoshでも操作方法は同じです。
- Easy-PhotoPrint EXをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［Easy-PhotoPrint EX］を選んでインストールします。

1 印刷の準備をする



1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.11

2 用紙をセットする⇒P.87

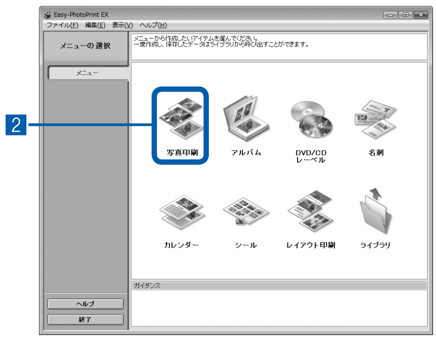
ここでは、L判サイズの写真用紙を後トレイにセットします。

参　考

- A4サイズの普通紙はカセットに、それ以外の写真用紙などは後トレイにセットします。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

2 Easy-PhotoPrint EXを起動し、［写真印刷］を選ぶ



1 Easy-PhotoPrint EXを起動する

Windows

デスクトップのアイコン をダブルクリックする

Macintosh

［移動］メニューから［アプリケーション］→［Canon Utilities］→［Easy-PhotoPrint EX］の順に選び、［Easy-PhotoPrint EX］をダブルクリックする

参　考

Windows

• Solution Menu（ソリューション・メニュー）から起動するときは、デスクトップ上の をダブルクリックしてSolution Menuを表示し、 をクリックします。⇒P.84
• [スタート] メニューから起動するときは、[スタート] メニューから [(すべての) プログラム] → [Canon Utilities] → [Easy-PhotoPrint EX] → [Easy-PhotoPrint EX] の順に選びます。

Macintosh

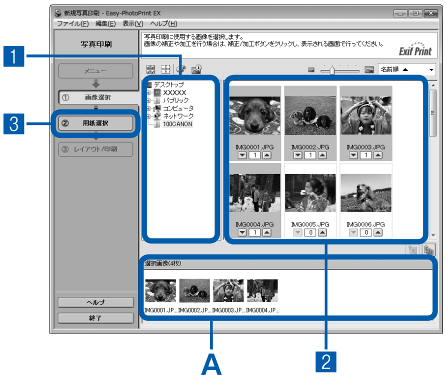
• Solution Menu（ソリューション・メニュー）から起動するときは、Dock内にある をクリックしてSolution Menuを表示し、 をクリックします。⇒P.84

2 [写真印刷] をクリックする

参　考

• [写真印刷] のほかにも、「アルバム」や「カレンダー」、「シール」などの印刷もできます。
⇒「Easy-PhotoPrint EXのいろいろな機能を使ってみよう」(P.68)

3 印刷する写真を選ぶ



1 画像が保存されているフォルダを選ぶ

2 印刷する画像をクリックする

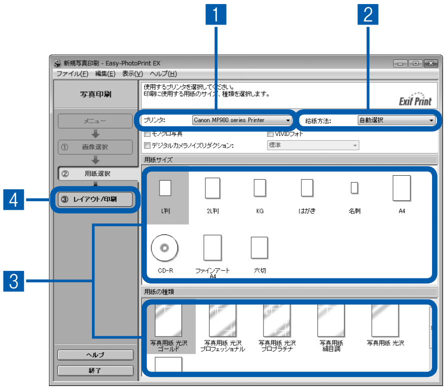
枚数が [1] と表示され、[選択画像] エリア（A）に選んだ画像が表示されます。複数の画像を同時に選ぶことができます。

参　考

• 同じ画像を２枚以上印刷したい場合は、▲ボタンをクリックして枚数を変更します。
• 選んだ画像を取り消すには、[選択画像] エリアで取り消したい画像をクリックしてからボタンをクリックします。▼ボタンで枚数を [0] にしても取り消すことができます。
• 選んだ画像の補正や加工を行うこともできます。
⇒「Easy-PhotoPrint EX のいろいろな機能を使ってみよう」(P.68)

3 [用紙選択] をクリックする

4 用紙を選ぶ



1 ［プリンタ］にご使用の製品名が表示されていることを確認する

2 ［給紙方法］で［自動選択］が選ばれていることを確認する

参　考

- そのほかの給紙方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

3 ［用紙サイズ］と［用紙の種類］で、印刷したい用紙を選ぶ

ここでは、［用紙サイズ］で［L判］、［用紙の種類］でセットした用紙の種類を選びます。

参　考

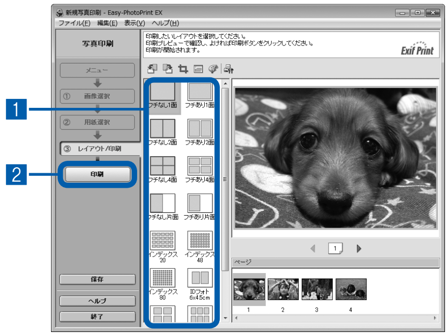
- 給紙方法で［自動選択］が設定されていると、A4サイズの普通紙を指定したときにはカセットから給紙され、それ以外の写真用紙などを指定したときには、後トレイから給紙されます。用紙サイズと用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品位で印刷されない場合があります。

4 ［レイアウト/印刷］をクリックする

参　考

- モノクロで写真を印刷する場合は、「モノクロ写真」を選びます。

5 レイアウトを選び、印刷する



1 写真のレイアウトを選ぶ

ここでは［フチなし１面］を選びます。
選んだレイアウトでプレビューが表示され、印刷結果が確認できます。

参　考

- 写真の向きを変更したり、一部分だけを切り抜いて（トリミング）印刷したりすることができます。操作方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

2 ［印刷］をクリックする

参　考

Windows

- 印刷中に本製品のストップボタンを押すか、プリンタ状態の確認画面の［印刷中止］ボタンをクリックすると、印刷を中止できます。印刷中止後は、白紙が排紙されることがあります。
  プリンタ状態の確認画面は、タスクバー上の［Canon（製品名）Printer］をクリックして表示します。

Macintosh

- Dock内にあるプリンタのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
- 印刷状況のリストで文書を選んで［削除］をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。［保留］をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、［プリンタを一時停止］をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。印刷中止後は、白紙が排紙されることがあります。

参　考

- モノクロ印刷をする場合は、A4サイズで［フチあり１面（余白45mm)］を選ぶことをお勧めします。

Easy-PhotoPrint EXのいろいろな機能を使ってみよう

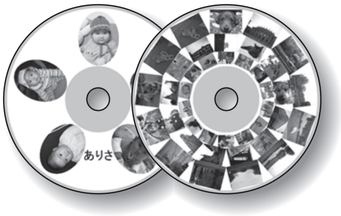
Easy-PhotoPrint EXで使える便利な機能の一部を紹介しています。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

いろいろなオリジナルアイテムを作成する

撮った写真を活用してアルバムやカレンダーなどを作成することができます。



［アルバム］



［DVD/CDレーベル］



［名刺］



［カレンダー］



［シール］



［レイアウト印刷］

画像を補正する

画像に対して自動または手動で、赤目補正や顔くっきり補正、美肌加工、明るさ、コントラストなどの調整や補正/加工を行うことができます。



［明るさ］

Easy-PhotoPrint Proのいろいろな機能を使ってみよう

Easy-PhotoPrint Pro（イージー・フォトプリント・プロ）は、Adobe Photoshopやキヤノン製デジタル一眼レフ用Digital Photo Professionalから起動し、フチなし全面印刷やインデックス印刷、モノクロ印刷、Adobe RGBに対応した印刷など、さまざまな写真印刷をよりかんたんにするためのプラグインソフトです。
詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- Easy-PhotoPrint Proは、Adobe Photoshop CS/Photoshop CS2/Photoshop CS3/Photoshop CS4、Digital Photo Professional Ver.2.1以上にのみ対応しています。



Adobe RGBに対応した
カラーマネージメント機能



Adobe RGB

sRGB

いろいろなレイアウトで印刷



フチあり１面印刷

インデックス印刷

サンプルを見ながら色補正



モノクロ写真でレトロな雰囲気を演出



［白黒］
（標準）

［冷黒調］
青みを帯びたクールなイメージ

［温黒調］
赤みを帯びた温かみのあるイメージ

文書を印刷する（Windows）

参　考

- ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 本書ではWindows Vista operating system Ultimate Edition（以降、Windows Vista）をご使用の場合に表示される画面を基本に説明します。

1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.11

2 用紙をセットする⇒P.87

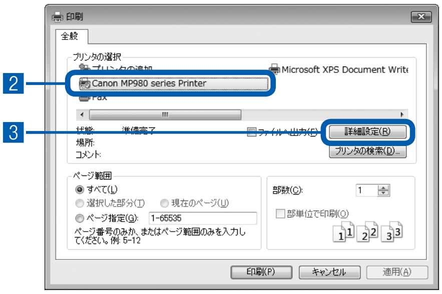
参　考

- A4、B5、A5、レターサイズの普通紙はカセットに、それ以外の写真用紙などは後トレイにセットします。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

4 アプリケーションソフトで原稿を作成（または表示）する

5 プリンタドライバの設定画面を開く



1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューまたはツールバーから［印刷］を選ぶ

［印刷］ダイアログが表示されます。

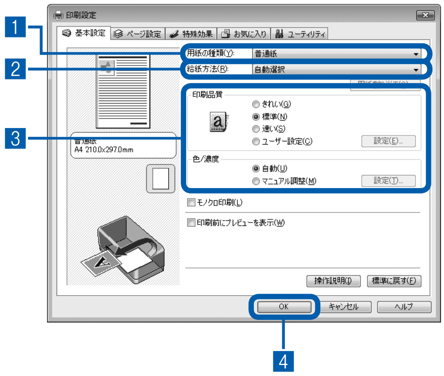
2 ご使用の製品名が表示されていることを確認する

参　考

- 別の製品名が選ばれている場合は、ご使用の製品名をクリックしてください。

3 ［詳細設定］（または［プロパティ］）ボタンをクリックする

6 印刷に必要な設定をする



1 ［用紙の種類］で印刷したい用紙の種類を選ぶ

参　考

- 給紙方法で［自動選択］が設定されていると、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を指定したときにはカセットから給紙され、それ以外の写真用紙などを指定したときには、後トレイから給紙されます。
  用紙サイズと用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品位で印刷されない場合があります。

2 ［給紙方法］で［自動選択］が選ばれていることを確認する

参　考

- そのほかの給紙方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

3 ［印刷品質］や［色/濃度］で印刷品質などを設定する

参　考

- 印刷品質については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

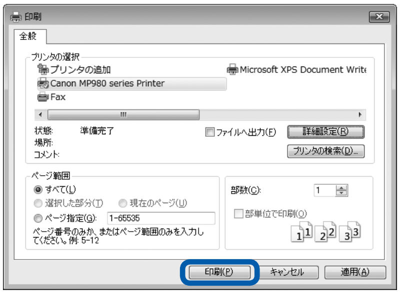
4 ［OK］ボタンをクリックする

参　考

- 用紙サイズを確認するときは、［ページ設定］タブをクリックします。アプリケーションソフトで設定したサイズと違っている場合は、同じサイズに設定するか、拡大／縮小印刷またはフィットページ印刷を行う必要があります。詳しくは『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- プリンタドライバ機能の設定方法については、［ヘルプ］ボタンや［操作説明］ボタンをクリックして、ヘルプや『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。［操作説明］ボタンは、プリンタドライバの［基本設定］シートおよび［ユーティリティ］シートに表示されます。ただし、電子マニュアル（取扱説明書）がパソコンにインストールされている必要があります。
- ［基本設定］シートで［印刷前にプレビューを表示］にチェックマークを付けると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。なお、アプリケーションソフトによっては、プレビューを表示できないものもあります。

7 印刷を開始する

［印刷］（または［OK］）ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。



参　考

- ［用紙サイズ］で長形の封筒を指定した場合、印刷時にセット方法についてのメッセージが表示されます。
［今後、このメッセージを表示しない。］にチェックマークをつけると、次回からメッセージは表示されなくなります。
- 印刷中に本製品のストップボタンを押すか、プリンタ状態の確認画面の［印刷中止］ボタンをクリックすると、印刷を中止できます。印刷中止後は、白紙が排紙されることがあります。
プリンタ状態の確認画面は、タスクバー上の［Canon（製品名）Printer］をクリックして表示します。
- 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.115）を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。

文書を印刷する（Macintosh）

参　考

- ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。
  詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

Mac OS X v.10.5.xの場合

1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.11

2 用紙をセットする⇒P.87

参　考

- A4、B5、A5、レターサイズの普通紙はカセットに、それ以外の写真用紙などは後トレイにセットします。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

4 アプリケーションソフトで原稿を作成（または表示）する

5 プリントダイアログを開く

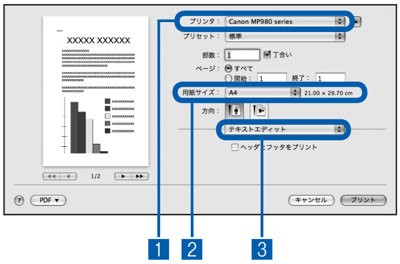
アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶと、プリントダイアログが表示されます。

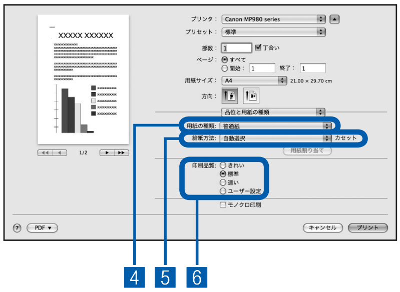
参　考

- 以下の画面が表示された場合は、▼ ボタンをクリックしてください。



6 印刷に必要な設定をする





1 ［プリンタ］でご使用の製品名が表示されていることを確認する

2 ［用紙サイズ］からセットした用紙のサイズを選ぶ

3 ポップアップメニューから［品位と用紙の種類］を選ぶ

4 ［用紙の種類］でセットした用紙の種類を選ぶ

参　考

- 給紙方法で［自動選択］が設定されていると、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を指定したときにはカセットから給紙され、それ以外の写真用紙などを指定したときには、後トレイから給紙されます。
  用紙サイズと用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品位で印刷されない場合があります。

5 ［給紙方法］で［自動選択］が選ばれていることを確認する

参　考

- そのほかの給紙方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

6 ［印刷品質］から印刷品質を選ぶ

参　考

- 印刷品質については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- プリンタドライバ機能の設定方法については、プリントダイアログの［品位と用紙の種類］、［カラーオプション］、［フチなし全面印刷］、または［両面印刷ととじしろ］の?ボタンをクリックして、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。電子マニュアル（取扱説明書）がインストールされていないと、?ボタンをクリックしても『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）は表示されません。
- 左側に表示されるプレビュー画面で印刷結果を確認することができます。アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。

7 印刷を開始する

［プリント］ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。

参　考

- Dock内にあるプリンタのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
- 印刷状況のリストで文書を選んで［削除］をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。［保留］をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、［プリンタを一時停止］をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。印刷中止後は、白紙が排紙されることがあります。
- 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.115）を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。

Mac OS X v.10.4.xまたはMac OS X v.10.3.9の場合

参考

- ここではMac OS X v.10.4.xをご使用の場合に表示される画面を基本に説明しています。

1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.11

2 用紙をセットする⇒P.87

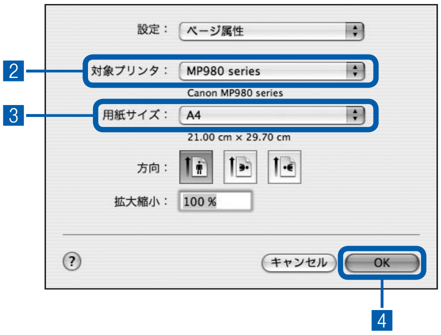
参考

- A4、B5、A5、レターサイズの普通紙はカセットに、それ以外の写真用紙などは後トレイにセットします。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

4 アプリケーションソフトで原稿を作成（または表示）する

5 用紙サイズを設定する



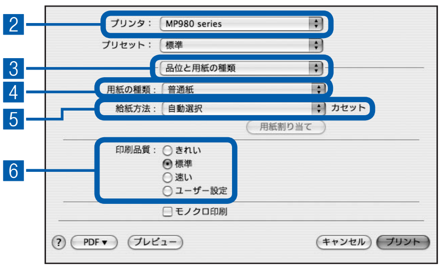
1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選ぶ
ページ設定ダイアログが表示されます。

2 ［対象プリンタ］でご使用の製品名が表示されていることを確認する
本製品をネットワークに接続している場合は、［対象プリンタ］でご使用の製品名とMACアドレスが表示されます。

3 ［用紙サイズ］から印刷したい用紙のサイズを選ぶ

4 ［OK］ボタンをクリックする

6 印刷に必要な設定をする



1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ
プリントダイアログが表示されます。

2 ［プリンタ］でご使用の製品名が表示されていることを確認する

3 ポップアップメニューから［品位と用紙の種類］を選ぶ

4 ［用紙の種類］でセットした用紙の種類を選ぶ

参　考

- 給紙方法で［自動選択］が設定されていると、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を指定したときにはカセットから給紙され、それ以外の写真用紙などを指定したときには、後トレイから給紙されます。用紙サイズと用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり正しい印刷品位で印刷されない場合があります。

5 **［給紙方法］で［自動選択］が選ばれていることを確認する**

参　考

- そのほかの給紙方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

6 **［印刷品質］から印刷品質を選ぶ**

参　考

- 印刷品質については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- プリンタドライバ機能の設定方法については、プリントダイアログの［品位と用紙の種類］、［カラーオプション］、［特殊効果］、［フチなし全面印刷］、または［両面印刷ととじしろ］の ? ボタンをクリックして、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。電子マニュアル（取扱説明書）がインストールされていないと、? ボタンをクリックしても『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）は表示されません。
- ［プレビュー］ボタンをクリックすると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。なお、アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。

7 印刷を開始する

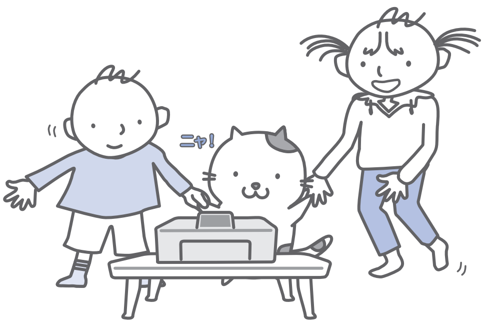
［プリント］ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。

参　考

- Dock内にあるプリンタのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
- 印刷状況のリストで文書を選んで［削除］をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。［保留］をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、［ジョブを停止］をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。印刷中止後は、白紙が排紙されることがあります。
- 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.115）を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。

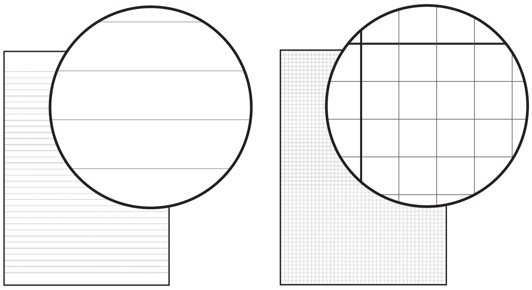
そのほかの使いかた

本製品のそのほかの使いかたとして、レポート用紙や方眼紙などの定型フォームの印刷方法や本体設定の各機能、デジタルカメラや携帯電話から直接印刷する機能について紹介しています。
また、操作の手助けとなる『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の見かたや、Solution Menu 、マイ プリンタについても説明しています。

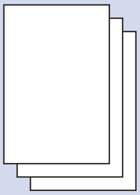


レポート用紙や方眼紙などを印刷する

ここでは定型フォームを選んで印刷する操作について説明します。



用意するもの



A4またはレターサイズの普通紙
⇒「使用できる用紙について」(P.93)

1 印刷の準備をする

1 電源を入れる⇒P.11

2 カセットにA4またはレターサイズの普通紙がセットされていることを確認する⇒P.87

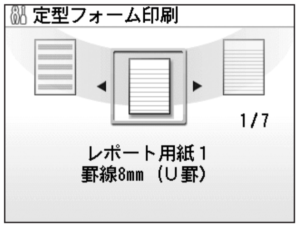
3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

2 定型フォームを選ぶ

1 ホーム画面から［設定］を選び、OKボタンを押す

2 ［定型フォーム印刷］を選び、OKボタンを押す

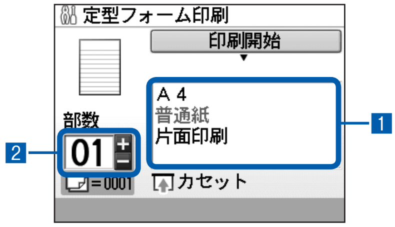
3 イージースクロールホイールか◀▶ボタンで印刷したいフォームを選び、OKボタンを押す



参考

- 選べる定型フォームについては「いろいろなレイアウトで印刷してみよう」(P.79)を参照してください。

3 印刷を開始する



1 用紙のサイズや両面設定などを確認する
設定内容を変更するには、イージースクロールホイールか▲▼ボタンで変更したい項目を選び、OKボタンを押します。

参考

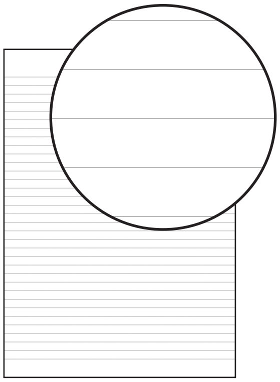
- 用紙サイズに指定できるのは、［A4］または［レターサイズ］です。用紙の種類は［普通紙］のみで設定を変更できません。

2 ＋－ボタンで印刷部数を指定する

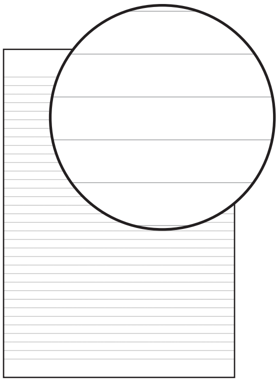
3 カラースタートボタンまたはモノクロスタートボタンを押す
印刷が開始されます。

いろいろなレイアウトで印刷してみよう

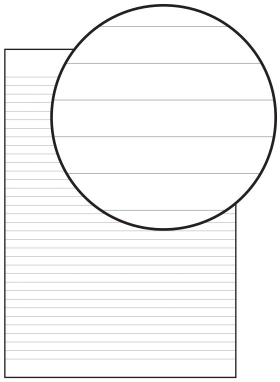
ここでは定型フォーム印刷で選べるフォームのレイアウトを紹介します。



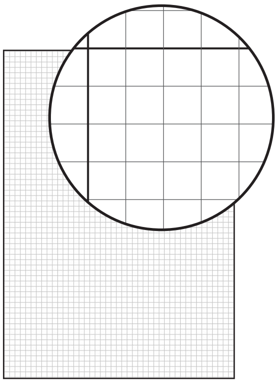
[レポート用紙１
罫線８mm（U罫)]



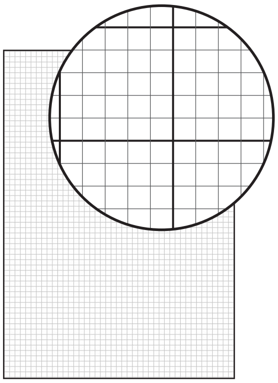
[レポート用紙２
罫線７mm（A罫)]



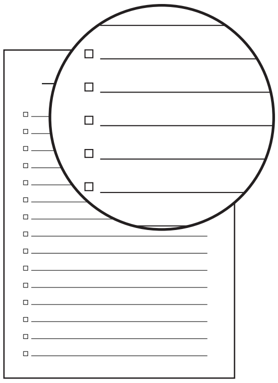
[レポート用紙３
罫線６mm（B罫)]



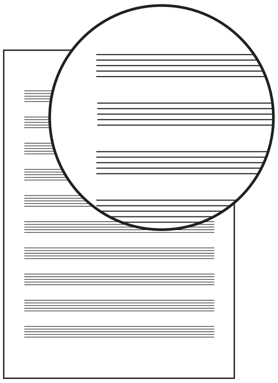
[方眼紙１
方眼５mm]



[方眼紙２
方眼３mm]



[チェックリスト
チェックボックス付リスト]



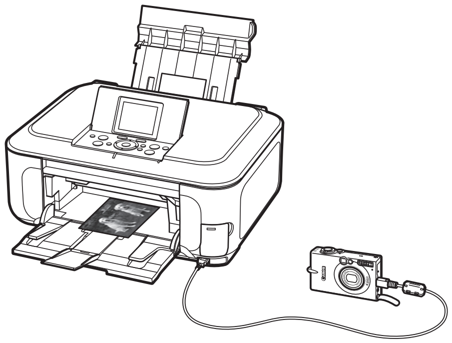
[五線譜
音楽罫１０段]

デジタルカメラや携帯電話などから直接印刷する

PictBridge対応機器を接続して印刷する

本製品とPictBridgeに対応した機器を各社推奨のUSBケーブルで接続すれば、機器内に保存された画像を直接印刷することができます。

対応機器を接続して印刷する方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
また、対応機器での印刷設定方法については、対応機器に付属の取扱説明書を参照してください。



本製品に接続可能な機器：
PictBridgeに対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず接続可能

参　考

- PictBridgeは、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像を、パソコンを介さずに直接プリンタで印刷するための規格です。
- 対応機器にはマークが表示されています。

印刷可能な画像データ：
DCF Ver.1.0/2.0規格のデジタルカメラで撮影した画像データ（Exif ver.2.2/2.21準拠）、またはPNGデータ

参　考

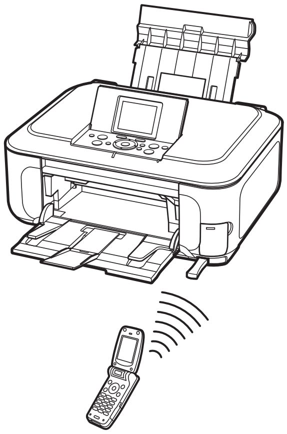
- PictBridge対応機器で印刷する場合は、本製品の操作パネルで印刷品質を設定してください。PictBridge対応機器からは印刷品質の設定は行えません。

ワイヤレスで印刷する

携帯電話から赤外線通信を利用してワイヤレスで手軽に写真を印刷できます。

また、オプションのBluetoothユニットBU-30を使用すると、Bluetooth通信機能がある携帯電話やパソコンからワイヤレスで印刷することができます。

それぞれの印刷方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。



「クリエイティブパーク携帯」を活用する

携帯電話を使って、「クリエイティブパーク携帯」から画像をダウンロードすることができます。
「クリエイティブパーク携帯」にアクセスするには、以下のQRコードを携帯電話で読み取るか、URLを直接入力してください。

キヤノン クリエイティブパーク携帯ホームページ
canon.com/c-park/jp/

重　要

- 画像は無料でダウンロードできますが、「クリエイティブパーク携帯」へ接続する際の料金はお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

本製品の設定について

ここでは、［設定］メニューの［本体設定］から設定／変更できる項目について紹介します。設定／変更方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

普通紙の給紙設定

普通紙を給紙する箇所を後トレイまたはカセットに設定します。
ご購入時の普通紙の給紙設定は、カセットに設定されています。後トレイに変更するときは、ここで設定を変更します。

印刷設定

用紙のこすれ改善

印刷面がこすれてしまった場合のみ設定します。

コピーフチはみ出し量

コピーの種類を［フチなしコピー］に設定したときに、はみ出し量を設定します。

フィルム印刷切取範囲

35mmフィルムの切り取り範囲を設定します。

DVD/CD印刷位置調整

DVD/CDに画像がずれて印刷されるときに、印刷位置を調整します。

LAN設定

LAN 有線／無線の切換

有線LANを有効にするか、無線LANを有効にするかを切り換えます。

無線LAN接続設定

WPS（Wi-Fi Protected Setup）やWCN（Windows Connect Now）で無線LANの接続設定を行います。WCN設定はWindows Vistaのみ対応です。詳しくは『かんたんスタートガイド』を参照してください。

無線LAN設定表示

本製品の無線LANのネットワーク設定情報を液晶モニターに表示します。

有線LAN設定表示

本製品の有線LANのネットワーク設定情報を液晶モニターに表示します。

IPv4/IPv6設定

IPバージョン（IPv4またはIPv6）を設定します。通常はIPv4設定でご使用いただくことをお勧めします。

WSD設定

WSD（Windows Vistaがサポートするネットワークプロトコルの一つ）の設定（有効／無効）を切り替えます。

LAN設定リセット

本製品のネットワーク設定情報を初期化します。

詳細設定

日付表示形式

日付印刷や日付指定のときに、印刷または表示される年月日の並び順を設定します。

カード書き込み状態

本製品のカードスロットをパソコンのメモリーカード用ドライブとして使用できるように設定できます。

パワーセーブ設定

パワーセーブモードに入るまでの時間を設定します。本製品を一定時間操作しないと、パワーセーブモードに入り、FAUランプが消灯して本製品の電力消費をおさえます。初期値は［15分間］です。

スライドショー設定

スライドショーで表示する写真の画質を設定します。

サイレント設定

夜間など、本製品の動作音（コピー時／メモリーカード印刷時／ PictBridge対応機器からの印刷時／ワイヤレス印刷時など）が気になるときに設定します。

ガイド表示設定

液晶モニターの上部に表示される、設定変更やコピー開始などのガイドを表示するかどうかと、ガイド表示するまでの時間を設定します。

キーリピート

数値を入力するときに、ボタンの長押しで数値が早く増えたり減ったりするように設定できます。
無効に設定すると、ボタンを長押ししてもボタンを１度しか押していない操作と同様となります。

携帯電話印刷設定

ワイヤレス通信対応機器から印刷するときに、用紙やレイアウトなどを設定します。

Bluetooth通信設定

機種名やパスキーなどのBluetooth通信の設定を変更できます。
この設定は、オプションのBluetoothユニットを接続した場合のみ表示されます。

PictBridge印刷設定

PictBridge対応機器から印刷するときに、用紙や印刷品質などを設定します。

言語選択

液晶モニターに表示する言語を変更します。

設定リセット

表示する言語、プリントヘッドの位置調整結果以外の設定を、ご購入時の設定に戻すことができます。

『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）について

付属のCD-ROM『セットアップCD-ROM』には、パソコンの画面で見る取扱説明書（電子マニュアル）の『もっと活用ガイド』が収録されています。

『もっと活用ガイド』では、本書には記載されていない使いかたや各種設定のしかた、トラブルが起こったときの対処方法、付属のアプリケーションソフトの使いかたについて説明しています。

本製品の機能を十分に知ってご活用いただくために、『もっと活用ガイド』をご利用ください。

参　考

- 『もっと活用ガイド』をインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［電子マニュアル（取扱説明書）］を選んでインストールします。
- 『もっと活用ガイド』は、Solution Menu（ソリューション・メニュー）から表示することもできます。（P.84）

※画面はWindows Vistaのものです。



『もっと活用ガイド』を表示するには

Windows

デスクトップ上のアイコン をダブルクリックする

『もっと活用ガイド』の画面では次のようなことができます。

- 『もっと活用ガイド』をまとめて印刷したり、特定の章や項目だけを印刷したりできます。
- よく見るページを「マイマニュアル」として登録しておくことができます。

Macintosh

デスクトップ上のアイコン をダブルクリックする

Solution Menuとマイ プリンタについて

Solution Menu（ソリューション・メニュー）やマイ プリンタは、パソコンのウィンドウ上のボタンをクリックするだけで、本製品に関する情報をかんたんに表示したり、設定できる便利なソフトウェアです。

Solution Menuからは、本製品に付属のアプリケーションソフトを起動したり、操作方法の説明を表示できます。また、トラブルの対処方法について知ることもできます。

マイ プリンタからは、プリンタドライバの設定画面を表示したり、操作に困ったときに対処方法について知ることもできます。マイ プリンタはMacintoshではご使用になれません。

Solution Menuを表示するには

Windows

デスクトップ上のアイコン をダブルクリックする

Macintosh

Dock内にあるアイコン をクリックする

※画面はWindows Vistaのものです。



使いたい機能のボタンをクリックします。

起動後は、タイトルバーのボタンをクリックしてサイズを変更できます。



参　考

- Solution Menuをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［Solution Menu］を選んでインストールします。

Windows

- ［スタート］メニューから表示するときは、［スタート］メニューから［（すべての）プログラム］→［Canon Utilities］→［Solution Menu］→［Solution Menu］の順に選びます。

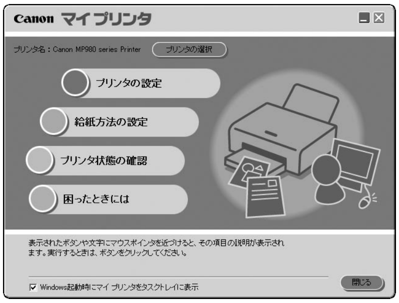
Macintosh

- メニューバーから表示するときは、［移動］メニューから［アプリケーション］→［Canon Utilities］→［Solution Menu］の順に選び、［Solution Menu］をダブルクリックします。

マイ プリンタを表示するには

Windows

デスクトップ上のアイコン をダブルクリックする



参　考

- マイ プリンタはSolution Menuからも表示することができます。
- マイ プリンタをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［マイ プリンタ］を選んでインストールします。
- ［スタート］メニューから表示するときは、［スタート］メニューから［（すべての）プログラム］→［Canon Utilities］→［マイ プリンタ］→［マイ プリンタ］の順に選びます。

用紙／原稿をセットする

ここでは、本製品で使用できる用紙／原稿の種類と、印刷する用紙を後トレイまたはカセットにセットする方法、コピーやスキャンする原稿のセット方法について説明しています。



用紙をセットする

用紙のセット位置について

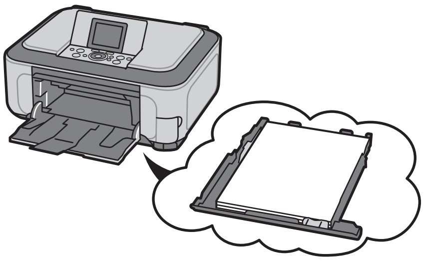
用紙は、カセットと後トレイの２箇所にセットすることができます。
用紙サイズや種類によってそれぞれセットできる用紙が決められています。給紙方法を［自動選択］に設定している場合は、用紙サイズや用紙の種類の設定にしたがって、カセットまたは後トレイから給紙されます。
⇒「使用できる用紙について」（P.93）

参　考

- ［自動選択］については、「文書を印刷する（Windows）」（P.70）または「文書を印刷する（Macintosh）」（P.73）を参照してください。
  そのほかの給紙方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- 給紙方法で［自動選択］が設定されていると、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を指定したときにはカセットから給紙され、それ以外の写真用紙などを指定したときには、後トレイから給紙されます。
  印刷する際は、用紙サイズと用紙の種類を正しく設定してください。用紙サイズと用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品位で印刷されない場合があります。
  それぞれの給紙箇所への用紙のセット方法については、「用紙をセットする」（P.87）、「封筒をセットする」（P.91）を参照してください。

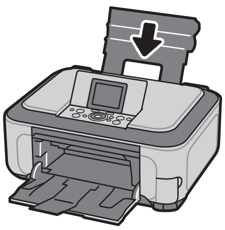
普通紙はカセットにセットします

A4、B5、A5、レターサイズの普通紙に印刷するときは、カセットにセットします。
印刷するときに操作パネルまたはプリンタドライバの印刷設定で、用紙の種類を［普通紙］（A4、B5、A5、レターサイズ）に設定すると、自動的にカセットから給紙されます。給紙方法の変更については『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。



写真用紙やはがきは後トレイにセットします

写真用紙やはがきに印刷するときは、後トレイにセットします。
印刷するときに操作パネルまたはプリンタドライバの印刷設定で、用紙の種類を普通紙以外の写真用紙やはがきに設定すると、自動的に後トレイから給紙されます。
また、A4、B5、A5、レターサイズ以外の普通紙に印刷する場合も、後トレイにセットしてください。



用紙をセットする

●普通紙に印刷するときの注意

重　要

- 普通紙をL判、2L判、KGサイズ、名刺の大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。

参　考

- カセットにはA4、B5、A5、レターサイズの普通紙のみセットできます。それ以外の用紙は後トレイにセットしてください。
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「使用できる用紙について」（P.93）を参照してください。
- 複写機などで使用される一般的なコピー用紙やキヤノン普通紙・ホワイトSW-101が使用できます。用紙の両面に印刷する場合は、キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口SW-201がお勧めです。
  本製品で使用できる用紙サイズ、重さについては、「使用できる用紙について」（P.93）を参照してください。

●はがきに印刷するときの注意

重　要

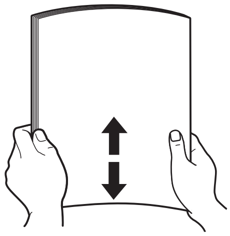
- 普通紙をはがきの大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。
- 通常のはがきや往復はがきは、パソコンからの印刷にのみ使用できます。
- 宛名面はパソコンからの印刷にのみ使用できます。
- 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- 往復はがきに印刷するときは、ご使用のアプリケーションソフトおよびプリンタドライバで用紙サイズを必ず「往復はがき」に設定してください。
- 往復はがきにフチなし全面印刷はできません。
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目がつくと、正しく給紙できず印字ずれや紙づまりの原因になります。

参　考

- 自動両面印刷を行う場合は、宛名面→通信面の順に印刷してください。はがきの両面に１面ずつ印刷するときは、きれいに印刷するために、通信面を印刷したあとに宛名面を印刷することをお勧めします。このとき、通信面の先端がめくれたり傷がついたりする場合は、宛名面から印刷すると状態が改善することがあります。
- 往復はがきは自動両面印刷には対応していません。
- はがきを持つときは、できるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触らないでください。
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「使用できる用紙について」（P.93）を参照してください。

後トレイにセットする

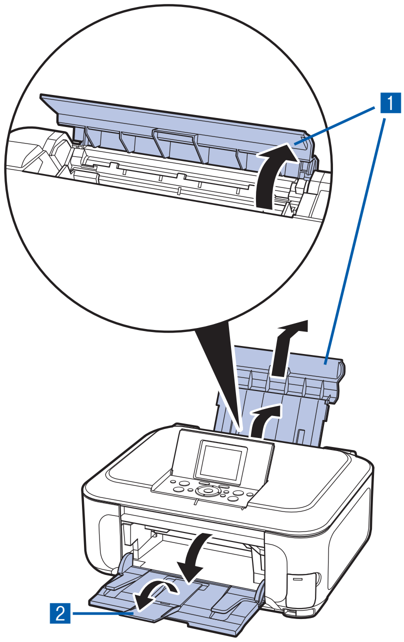
1　セットする用紙をそろえる



参　考

- 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。反りの直しかたについては、「困ったときには」の「印刷面が汚れる／こすれる」（P.132）を参照してください。

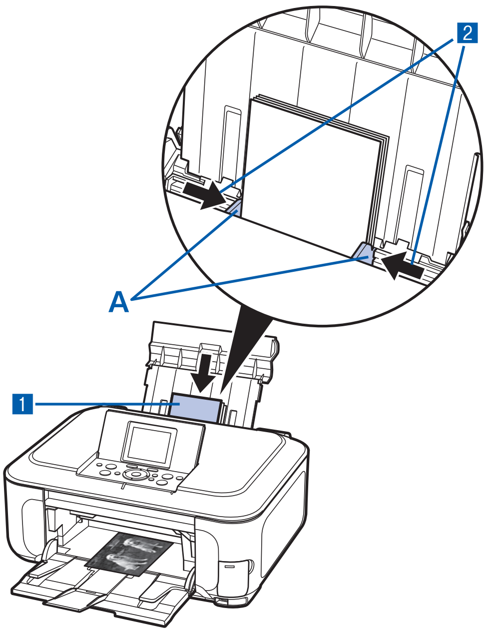
2 用紙をセットする準備をする



1 用紙サポートを開き、上に持ち上げてから奥に傾ける

2 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

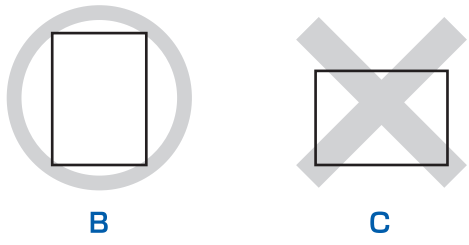
3 用紙をセットする



1 用紙ガイド（A）を広げ、用紙の印刷面を上にして、後トレイの中央にセットする

重　要

- 用紙は縦方向（B）にセットしてください。横向（C）にセットすると紙づまりの原因となります。

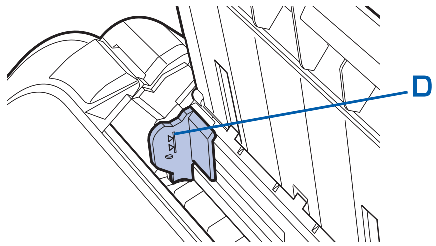


2 用紙ガイド（A）を動かし、用紙の両端に合わせる

用紙ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

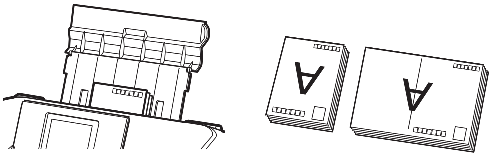
参　考

- （D）の線を超えないようにセットしてください。



はがきの場合：

郵便番号欄を下向きにセットします。用紙ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。



参考

用紙をセットしたら

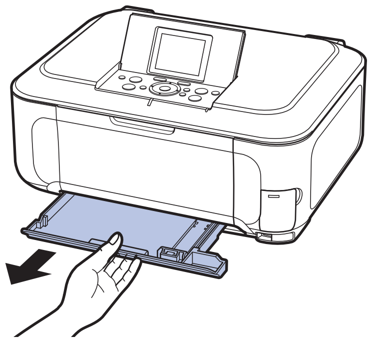
- パソコンを使わずに本製品を操作してコピーや印刷する場合は、ホーム画面の各メニューの印刷設定で［用紙サイズ］と［用紙の種類］をセットした用紙に合わせて設定します。
  ⇒「設定項目について」（P.19、P.30）
- パソコンから印刷する場合は、プリンタドライバで［用紙サイズ］と［用紙の種類］をセットした用紙に合わせ設定します。
  Windowsの場合
  ⇒「文書を印刷する（Windows）」（P.70）
  Macintoshの場合
  ⇒「文書を印刷する（Macintosh）」（P.73）

カセットにセットする

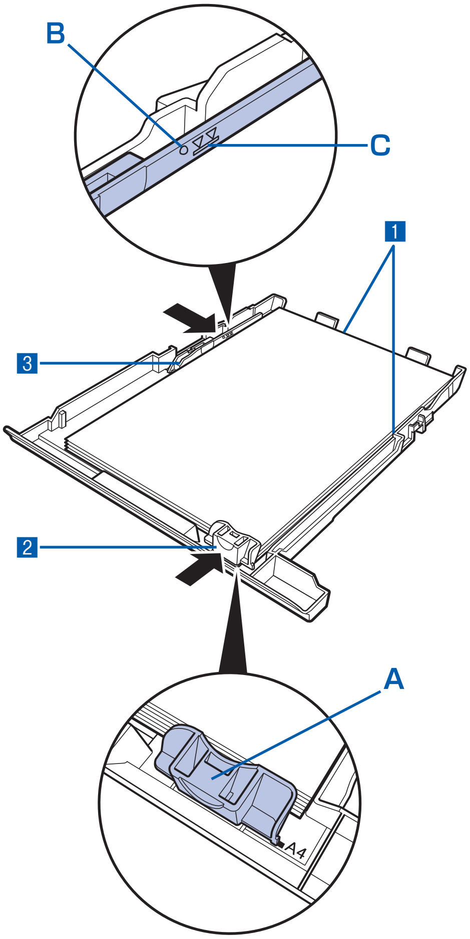
カセットには、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙のみセットできます。
⇒「使用できる用紙について」（P.93）

1 セットする用紙をそろえる⇒P.87

2 カセットを手前に引き出す



3 用紙をセットする



1 印刷したい面を下にして、先端が奥になるように、カセットの右側に合わせて用紙をセットする

2 手前側の用紙ガイド（A）を用紙サイズのマーク位置に合わせる

用紙ガイド（A）が用紙サイズのマーク位置に合うと止まります。

参 考

- 用紙ガイド（A）と用紙の間には隙間ができることがあります。

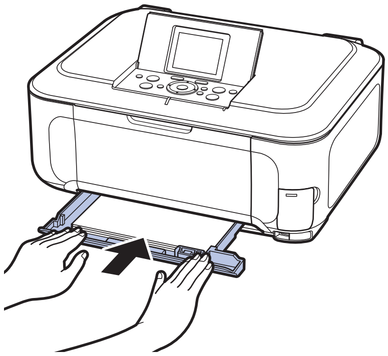
3 左側の用紙ガイド（B）を用紙の端にぴったり合わせる

参 考

- （C）の線を超えないようにセットしてください。

4 カセットを本体に差し込む

奥に突き当たるまでまっすぐ押し込んでください。



5 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

参 考

用紙をセットしたら

- パソコンを使わずに本製品を操作してコピーや印刷する場合は、ホーム画面の各メニューの印刷設定で［用紙サイズ］と［用紙の種類］をセットした用紙に合わせて設定します。
  ⇒「設定項目について」（P.19、P.30）
- パソコンから印刷する場合は、プリンタドライバで［用紙サイズ］と［用紙の種類］をセットした用紙に合わせ設定します。
  Windowsの場合
  ⇒「文書を印刷する（Windows）」（P.70）
  Macintoshの場合
  ⇒「文書を印刷する（Macintosh）」（P.73）

封筒をセットする

一般の長形３号／４号の封筒と、洋形４号／６号の封筒に印刷できます。
プリンタドライバで適切に設定することにより、宛名は封筒の向きに合わせて、自動的に回転して印刷されます。

重　要

- パソコンからの印刷にのみ使用できます。
- 次のような封筒は使用できません。
  －角形封筒
  －型押しやコーティングなどの加工された封筒
  －ふたが二重（またはシール）になっている封筒
  －ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒
- Macintoshをご使用の場合は、長形３号／４号の封筒は印刷できません。

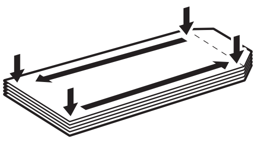
参　考

- 封筒はカセットにセットできません。後トレイにセットしてください。
- Windowsをご使用の場合、長形封筒の印刷時にガイドが表示されます。このガイドを表示させせないこともできます。表示させない方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

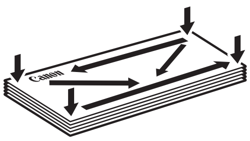
1　封筒の準備をする

● 封筒の四隅と縁を押して平らにします。

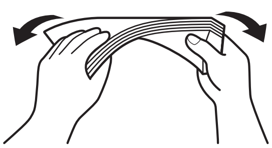
- 長形封筒



- 洋形封筒



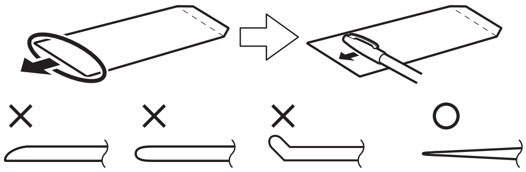
● 封筒が反っている場合は、両手で対角線上の端を持って、逆方向に軽く曲げます。



● 封筒のふた部分が折れ曲がっている場合は平らにします。

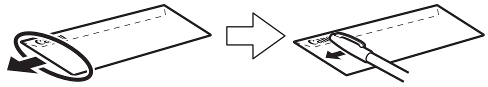
● 挿入方向の先端部をペンで押して平らに伸ばします。

- 長形封筒



上の図は、封筒の先端部の断面図です。

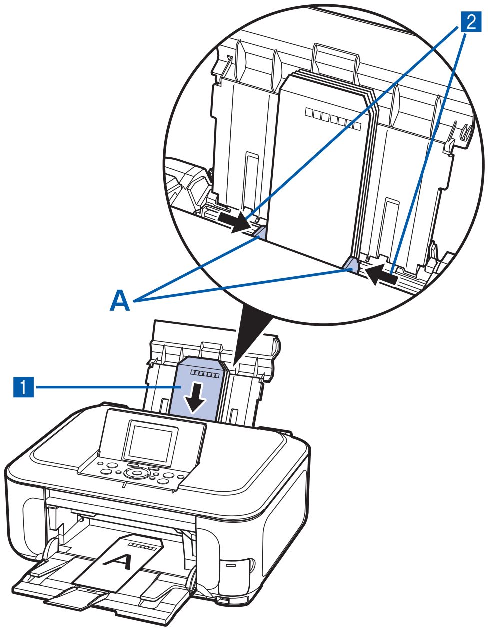
- 洋形封筒



重　要

- 平らになっていなかったり、端がそろっていなかったりすると、紙づまりの原因になることがあります。反りやふくらみが3mmを超えないようにしてください。

2　封筒をセットする



1 **用紙ガイド（A）を広げ、封筒の印刷面を上にして、後トレイの中央にセットする**
一度に10枚までセットできます。

2 **用紙ガイド（A）を動かし、封筒の両端に合わせる**
用紙ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

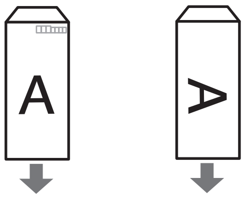
3 プリンタドライバで用紙の設定をする

以下のように［用紙の種類］、［用紙サイズ］、［印刷の向き］（［方向］）を設定します。

• **長形封筒（Windowsのみ）**

セットのしかた：

縦書き　　　横書き



ふたを折りたたまずに上に向け、縦置きでセットする

［用紙の種類］　　　　　：封筒
［用紙サイズ］　　　　　：長形３号、長形４号
［印刷の向き］（［方向］）：（縦書きの場合）縦
　　　　　　　　　　　　（横書きの場合）横

● **洋形封筒**

セットのしかた：

横書き　　　縦書き



ふたを左側にし、折りたたんだ面を裏にして、縦置きでセットする

郵便番号欄を下に向け、ふたを折りたたんだ面を裏にして、縦置きでセットする

［用紙の種類］　　　　　：封筒
［用紙サイズ］　　　　　：洋形４号、洋形６号
［印刷の向き］（［方向］）：（横書きの場合）横
　　　　　　　　　　　　（縦書きの場合）縦

重　要

• ［用紙サイズ］、［印刷の向き］または［方向］を正しく選ばないと、上下逆さまに印刷されたり、90度回転して印刷されたりします。

参　考

• Windowsをご使用の場合、印刷結果が上下逆さまになるときは、プリンタドライバの設定画面を開き、［ページ設定］シートの［180度回転］にチェックマークを付けてください。
• プリンタドライバの設定については、以下を参照してください。
  Windowsの場合
  ⇒「文書を印刷する（Windows）」（P.70）
  Macintoshの場合
  ⇒「文書を印刷する（Macintosh）」（P.73）

使用できる用紙について

最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙をお選びください。キヤノンでは、写真や文書のための用紙はもちろん、シール紙やはがきなど、印刷の楽しさを広げるさまざまな種類の用紙をご用意しています。大切な写真の印刷には、キヤノン純正紙のご使用をお勧めします。

種類

市販の用紙

用紙の名称＜型番＞*1	最大積載枚数		排紙トレイの最大積載枚数	[用紙の種類]の設定	
	後トレイ	カセット		操作パネル	プリンタドライバ
普通紙（再生紙を含む）*2	約150枚	約150枚	約50枚	普通紙	普通紙
はがき／年賀はがき*5	40枚	使用できません*7	40枚	—	はがき
インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき*3	40枚		40枚	（通信面のみ）インクジェットはがき	（通信面）インクジェットはがき （宛名面）はがき
インクジェット光沢はがき／写真用年賀はがき*3	20枚		20枚	（通信面のみ）インクジェットはがき	（通信面）インクジェットはがき （宛名面）はがき
往復はがき*2 *5	40枚		*8	—	はがき
封筒*5	10枚		*8	—	封筒

キヤノン純正紙

用紙の名称＜型番＞*1	最大積載枚数		排紙トレイの最大積載枚数	[用紙の種類]の設定	
	後トレイ	カセット		操作パネル	プリンタドライバ
書類の印刷に					
カラー普通紙 ＜LC-301＞	約100枚	約100枚	約50枚	普通紙	普通紙
キヤノン普通紙・ホワイト ＜SW-101＞	約130枚	約130枚	約50枚	普通紙	普通紙
キヤノン普通紙・ホワイト両面厚口 ＜SW-201＞	約100枚	約100枚	約50枚	普通紙	普通紙
写真の印刷に 					
キヤノン写真用紙・光沢プロプラチナ ＜PT-101＞*6	A4、レターサイズ、2L判、六切：10枚 L判、KG、はがき：20枚	使用できません*7	*8	光沢プロプラチナ	写真用紙 光沢プロプラチナ
キヤノン写真用紙・光沢プロフェッショナル ＜PR-201＞*6				光沢プロ	写真用紙 光沢プロフェッショナル
キヤノン写真用紙・光沢 ＜GP-501＞*6				光沢	写真用紙 光沢
キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド　＜GL-101＞*6				光沢ゴールド	写真用紙 光沢ゴールド

用紙の名称＜型番＞*1	最大積載枚数		排紙トレイの最大積載枚数	［用紙の種類］の設定	
	後トレイ	カセット		操作パネル	プリンタドライバ
キヤノン写真用紙・絹目調 ＜SG-201＞*6	A4、レターサイズ、2L判、六切：10枚 L判、KG、はがき：20枚	使用できません*7	*8	絹目調	写真用紙 絹目調
マットフォトペーパー ＜MP-101＞				マットフォト	マットフォトペーパー
ファインアートペーパー・“Photo Rag” ＜FA-PR1＞*5 *9	1枚			—	ファインアート Photo Rag
年賀状、挨拶状の印刷に  					
ハイグレードコートはがき ＜CH-301＞*4	40枚	使用できません*7	40枚	（通信面のみ）インクジェットはがき	（通信面）インクジェットはがき （宛名面）はがき
キヤノン写真はがき・光沢 ＜KH-301＞*3 *4	20枚		20枚	（通信面のみ）光沢	（通信面）写真用紙光沢 （宛名面）はがき
フォト光沢ハガキ ＜KH-201N＞*3 *4	20枚		20枚	（通信面のみ）光沢	（通信面）写真用紙光沢 （宛名面）はがき
プロフェッショナルフォトはがき ＜PH-101＞*3 *4 *6	20枚		20枚	（通信面のみ）光沢プロ	（通信面）写真用紙光沢プロフェッショナル （宛名面）はがき
ビジネス文書の印刷に 					
高品位専用紙 ＜HR-101S＞*5	80枚	使用できません*7	50枚	—	高品位専用紙
オリジナルグッズ作りに 					
Tシャツ転写紙 ＜TR-301＞*5	1枚	使用できません*7	*8	—	Tシャツ転写紙
ピクサスプチシール ＜PS-101＞*10 （16面光沢フォトシール）	1枚			光沢	写真用紙 光沢
ピクサスプチシール・フリーカット ＜PS-201＞*10	1枚			光沢	写真用紙 光沢
フォトシールセット ＜PSHRS＞*10 （2面/4面/9面/16面）	1枚			光沢	写真用紙 光沢
片面光沢名刺用紙 ＜KM-101＞*11	20枚			光沢	写真用紙 光沢
両面マット名刺用紙 ＜MM-101＞*11	20枚			光沢	（写真・イラスト）写真用紙 光沢 （文字）普通紙

*1　＜型番＞のあるものは、キヤノン純正紙です。用紙の裏表や使用上の注意については、各用紙の取扱説明書を参照してください。また、種類によって取り扱っているサイズが異なります。詳しくは、キヤノンピクサスホームページcanon.jp/pixusをご覧ください。

*2　用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を半分以下に減らしてください。（再生紙は古紙配合率100%の再生紙が使用できます。）
*3　宛名面はパソコンからの印刷にのみ使用できます。
*4　Windowsをご使用の場合は、『キヤノンピクサスかんたん印刷』（はがき両面印刷）に対応したアプリケーションソフトを使うことで、両面印刷ができるようになります。アプリケーションソフトについては、キヤノン ピクサスホームページで紹介しています。canon.jp/pixusにアクセスしてください。
*5　パソコンからの印刷にのみ使用できます。
*6　用紙を重ねてセットすると、用紙を引き込む際に印刷面に跡が付いたり、用紙がうまく送られない場合があります。その場合は、用紙を1枚ずつセットしてください。
*7　カセットから給紙した場合、故障の原因になることがありますので、必ず後トレイにセットしてください。
*8　にじみや変色を防ぐため、続けて印刷するときは、先に印刷した用紙を排紙トレイから取り出すことをお勧めします。
*9　ファインアートペーパーをご使用の場合は、用紙の上下端35mmは印刷されません。ファインアートペーパー専用の用紙サイズを選択すると、上下端35mmには印刷しないように制限がかかります。印刷を行う前に印刷内容をプレビュー画面に表示させて印刷範囲を確認することをお勧めします。プレビューについて、詳しくは『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
　また、ファインアートペーパーをご使用になる場合は『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「役立つ情報」の「アート紙に印刷する前に」を参照してください。
　キヤノン純正紙は最適な印刷品質を得られるように製造・管理されています。キヤノン純正紙のご使用をお勧めします。
*10　プリント写真をスキャンしてシール紙に印刷するときは、[かんたん写真焼増し] から [シール紙印刷] を選び、印刷してください。⇒P.57
　メモリーカードの写真をシール紙に印刷するときは、[メモリーカード] から [シール紙印刷] を選び、印刷してください。⇒P.20
　フィルムの写真をスキャンしてシール紙に印刷するときは、[フィルム印刷] から [シール紙印刷] を選び、印刷してください。⇒P.57
　携帯電話の写真をシール紙に印刷するときは、[携帯電話印刷設定] で用紙サイズに [シール紙] を指定することで、印刷することができます。⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）
*11　パソコンからテキストデータを印刷する場合、データは名刺サイズ（55mm×91mm）で作成し、上下左右の余白を5mm程度に設定してください。

参 考

- 付属のCD-Rトレイを使い、DVD/CD（プリンタブルディスク）に印刷することができます。詳しくは、「DVD/CDをセットする前に」（P.36）を参照してください。
- 携帯電話の写真を印刷するときの、用紙サイズと用紙の種類の設定方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

サイズ

使用できる用紙サイズは、以下のとおりです。

- カセットにセットできる普通紙の用紙サイズは、以下のとおりです。
  A4、B5、A5、レターサイズ
  それ以外の普通紙は、カセットにセットできません。後トレイにセットしてください。
- Macintoshをご使用の場合、長形3号／4号の封筒は使用できません。

定型：

・Letter 8.5 x 11［レター］（215.9×279.4mm）
・A5（148.0×210.0mm）
・B5［B5（JIS）］（182.0×257.0mm）
・US 4 x 8（101.6×203.2mm）
・六切（203.2×254.0mm）
・2L判（127.0×178.0mm）
・往復はがき（200.0×148.0mm）
・EUR DL Env.［DL封筒］（110.0×220.0mm）
・長形4号（90.0×205.0mm）
・洋形6号（98.0×190.0mm）
・名刺（55.0×91.0mm）
・Legal［リーガル］（215.9×355.6mm）
・A4（210.0×297.0mm）
・KG（101.6×152.4mm）
・US 5 x 7（127.0×177.8mm）
・L判（89.0×127.0mm）
・はがき（100.0×148.0mm）
・US Comm. Env. #10［#10封筒］（104.6×241.3mm）
・長形3号（120.0×235.0mm）
・洋形4号（105.0×235.0mm）
・ワイド101.6 x 180.6mm［ワイド］（101.6×180.6mm）

非定型：

以下の範囲内で用紙サイズを設定することもできます。

- 最小サイズ：　55.0mm×91.0mm（後トレイ）
  148.0mm×210.0mm（カセット）
- 最大サイズ：　215.9mm×676.0mm（後トレイ）
  215.9mm×297.0mm（カセット）

重さ

64～105g/m^2（キヤノン純正紙以外の普通紙）
この範囲外の重さの用紙（キヤノン純正紙以外）は、紙づまりの原因となりますので使用しないでください。

保管上の注意について

- 用紙は印刷する直前に、印刷する枚数だけをパッケージから取り出して使用してください。
- 反りを防ぐため、使用しない用紙は用紙が入っていたパッケージに入れ、水平に置いて保管してください。また、高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。

使用できない用紙について

以下の用紙は使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- 折れている／反りのある／しわが付いている用紙
- 濡れている用紙
- 薄すぎる用紙（重さ64g/m^{2}未満）
- 厚すぎる用紙（キヤノン純正紙以外の普通紙で重さ105g/m^{2}を超えるもの）
- はがきより薄い紙、普通紙やメモ用紙を裁断した用紙（はがき／L判など、A5サイズより小さい用紙に印刷する場合）
- 絵はがき
- 一度折り曲げた往復はがき
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- ふたが二重になっている封筒
- ふたがシールになっている封筒
- 型押しやコーティングなどの加工された封筒
- ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒
- 穴のあいている用紙
- 長方形以外の形状の用紙
- ステープルや粘着剤などでとじている用紙
- 粘着剤の付いた用紙
- 表面にラメなどが付いている用紙

コピーやスキャンする原稿をセットする

本製品の原稿台ガラスに原稿をセットする方法について説明します。
［コピー］や［かんたん写真焼増し］などの機能で、原稿をセットするときには、選択した機能により原稿のセット位置が異なる場合があります。選択した機能に合わせて原稿をセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては、正しく読み取りできない場合があります。

重　要

- 原稿をセットしたあと、原稿台カバーをきちんと閉じてコピーやスキャンをしてください。
- パソコンからアプリケーションソフトを使用してスキャンする場合や、本製品のパネル操作で［スキャン］から［パソコン］を選んで、スキャンしたデータをパソコンで使用する場合は、原稿のセット方法が異なります。詳細は『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- フィルムをセットする場合は、「フィルムをセットする」（P.53）を参照してください。

セットできる原稿について

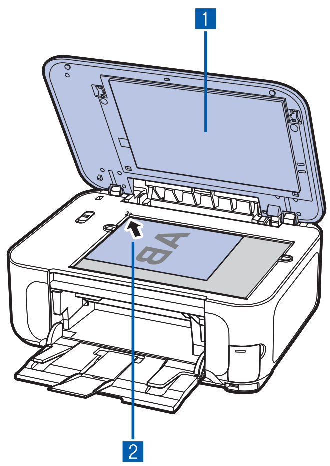
以下の原稿をコピーやスキャンできます。

原稿の種類　：• 写真　• 文書（書類、本、雑誌など）
• DVD/CD
• フィルム（35mmスリーブフィルム（ポジ／ネガ）、35mmマウントフィルム）
サイズ（幅×長さ）：最大216mm × 297mm

原稿をセットする

原稿台ガラスにコピーまたはスキャンしたい原稿をセットします。

1 原稿を原稿台ガラスにセットする



1 原稿台カバーを開ける

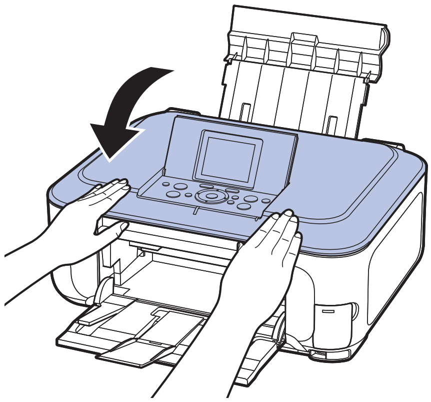
2 コピーまたはスキャンする面を下にして原稿を原稿台ガラスにセットする

機能ごとの原稿のセット方法を確認してください。

重　要

- 原稿台ガラスに2.0kg以上の物をのせないでください。
- 原稿を強く（2.0kgを超える力で）押さえたり重みをかけないでください。強く押さえすぎるとスキャナが正しく動作しなくなったり、ガラスが破損するなどの危険があります。

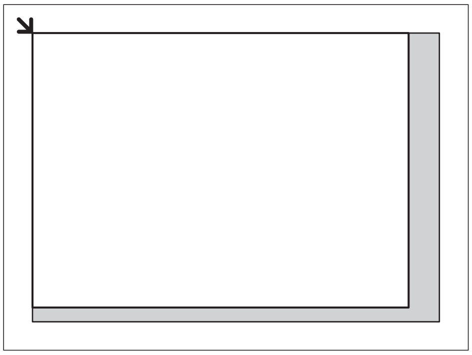
2 原稿台カバーをゆっくり閉じる



コピーまたはスキャンする原稿をセットする場合

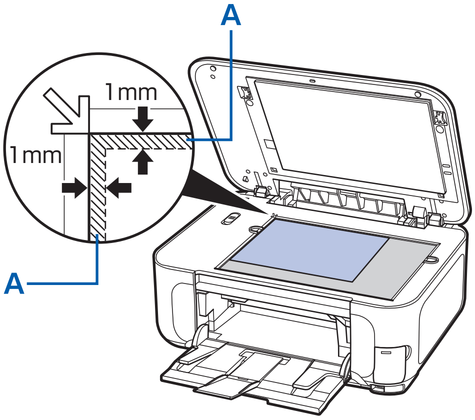
以下の機能を使用して原稿をセットするときは、原稿の種類（文書/写真）に関わらず、原稿位置合わせマーク（↘）に合わせて置いてください。

- ［コピー］を選んで、コピーする原稿をセットする場合
- ［スキャン］から［USB メモリー］または［メモリーカード］を選んで、スキャンする場合
- ［らく楽フォトシート］を選んで、シートを読み込む場合



重　要

- 原稿台ガラスの端から1mmの部分（A）はコピーやスキャンができません。



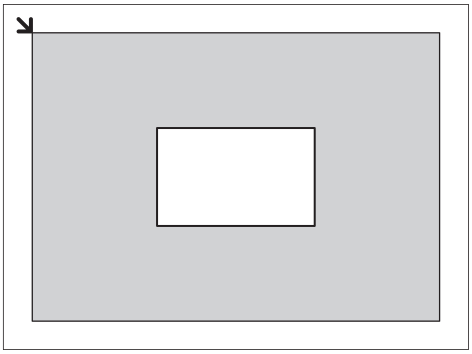
- ［スキャン］から［USBメモリー］または［メモリーカード］を選んで、［読取サイズ］を指定した場合、原稿位置合わせマーク（↘）からの原稿サイズになります。
- フォトナビシートを読み込むために、原稿台ガラスにシートをセットするときは、シートを原稿位置合わせマーク（↘）に合わせてください。

［かんたん写真焼増し］でプリント写真をセットする場合

［かんたん写真焼増し］で、原稿台ガラスにプリント写真をセットするときは、原稿の枚数に合わせてセットしてください。

1枚だけセットする場合

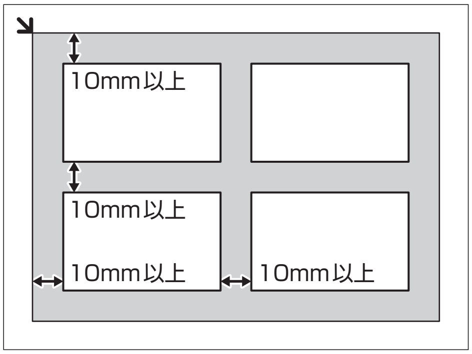
原稿台ガラスの端から10mm以上離し、スキャンする面を下にして原稿を置いてください。



原稿が複数の場合

原稿が２枚以上ある場合は、原稿台ガラスの端から10mm以上離し、原稿と原稿の間も10mm以上離して置いてください。

E判やL判は４枚、2L判やはがきは２枚までセットできます。

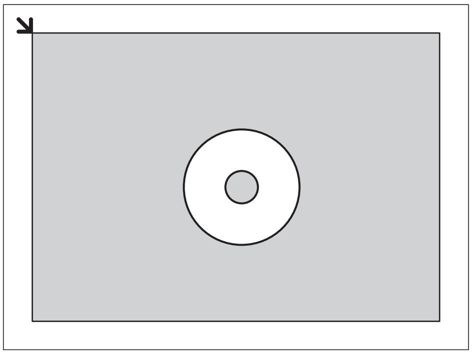


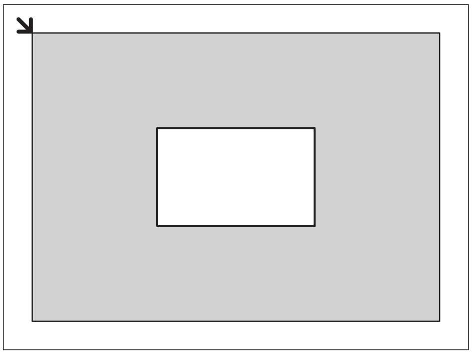
参　考

• 原稿は、多少斜めになっていても、10度以内の傾きであれば、自動的に傾きは補正されます。
ただし、長い辺が約180mm 以上の写真の傾きは補正できません。

［DVD/CD印刷］でDVD/CDやプリント写真をセットする場合

［DVD/CD印刷］で、DVD/CDやプリント写真を原稿台ガラスにセットするときは、原稿台ガラスの端から10mm以上離し、スキャンする面を下にして原稿を置いてください。





お手入れ

ここでは、インクがなくなったときのインクタンクの交換方法、印刷がかすれたときのクリーニングの方法、用紙がうまく送られない場合の対処方法などについて説明します。



インクタンクを交換する

印刷中にインクがなくなると、液晶モニターやパソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。なくなったインクを確認して、新しいインクタンクに交換してください。



参　考

- エラーメッセージが表示されたら、メッセージの内容を確認して必要な対処をしてください。
  詳しくは「困ったときには」の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.121）を参照してください。
- 本製品で使用できるインクタンクの番号については、本書の裏表紙を参照してください。
- インクが残っているのに印刷がかすれたり、白すじが入る場合は、「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.110）を参照してください。

インクの状態を確認する

インクの状態は、液晶モニターやインクランプで確認することができます。

液晶モニターで確認する

1 電源が入っていることを確認し、ホームボタンを押す

2 ファンクションボタン（左）を押す

インク残量画面が表示されたら、マークを確認します。
マークが表示されていなければ、印刷するのに十分なインクが残っています。

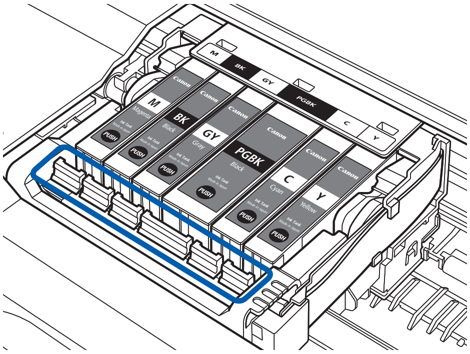


の付いたインクが少なくなっています。しばらくは印刷を続けられますが、新しいインクタンクのご用意をお勧めします。

参　考

- 印刷中に液晶モニターに表示される画面でも、インクの状態を確認することができます。

インクランプで確認する



1 電源が入っていることを確認し、排紙トレイをゆっくり手前に開く

2 スキャナユニット（カバー）を止まる位置まで持ち上げる⇒P.106

3 インクランプの状態を確認する

点灯

インクタンクは正しく取り付けられていて、印刷するのに十分なインクが残っています。

点滅

- **ゆっくり点滅（約３秒間隔）**



・・・繰り返し

インクが少なくなっています。しばらくは印刷を続けられますが、新しいインクタンクのご用意をお勧めします。

- **はやく点滅（約１秒間隔）**



・・・繰り返し

インクタンクが間違った位置に取り付けられているか、インクがなくなっています。プリントヘッドホルダに付いているラベルのとおりに正しい位置に取り付けられているか確認してください。取り付け位置が正しいのにインクランプが点滅している場合は、インクがなくなっています。新しいインクタンクに交換してください。

消灯

インクタンクがしっかり取り付けられていないか、インク残量検知機能を無効にしています。インクタンクがしっかり取り付けられていない場合は、インクタンクの PUSH の部分を「カチッ」と音がするまでしっかり押してください。しっかりセットできない場合は、インクタンクの底部にあるオレンジ色の保護キャップが外れているか確認してください。インク残量検知機能を無効にしている場合は、新しいインクタンクを取り付けてください。⇒P.106

インクタンクを取り付け直してもインクランプが点灯しない場合は、エラーが発生し、印刷できない状態です。液晶モニターに表示されているエラー内容をご確認ください。⇒P.121

交換の操作

インクタンクのインクがなくなったときは、次の手順でインクタンクを交換します。

⚠注意

- インクタンクに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本製品の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下やプリントヘッドの故障の原因となることがあります。非純正インクのご使用はお勧めしません。
- 非純正インクタンクまたは非純正インクを使用したことによる不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。

重　要

- インクタンクの交換はすみやかに行い、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。
- 交換用インクタンクは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、ノズルがつまる原因になります。また、インク交換時期を正しくお知らせできません。
- 最適な印刷品質を保つため、インクタンクは梱包箱に記載されている「取付期限」までに本製品に取り付けてください。また、開封後 6 ヶ月以内に使い切るようにしてください（本製品に取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします）。

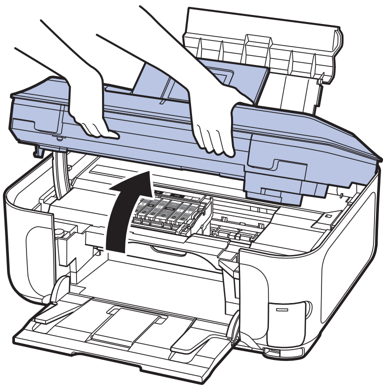
参　考

- 黒のみの文章を印刷したり、モノクロ印刷をするときにも、ブラック以外のインクが使われることがあります。
また、本製品の性能を維持するために行うクリーニングや強力クリーニングでも、各色のインクが使われます。
インクがなくなった場合は、すみやかに新しいインクタンクに交換してください。

1 電源が入っていることを確認し、排紙トレイをゆっくり手前に開く

2 スキャナユニット（カバー）を止まる位置まで持ち上げる

プリントヘッドホルダが交換位置に移動します。



⚠注意

- スキャナユニット（カバー）は、原稿台カバーといっしょに持ち上げてください。
- 操作パネルおよび液晶モニターを持たないでください。
- プリントヘッドホルダが動いている間はプリントヘッドホルダを手で止めたり、無理に動かしたりしないでください。プリントヘッドホルダの動きが止まるまでは、手を触れないでください。
- 本体内部の金属部分やその他の部分に触れないでください。

重　要

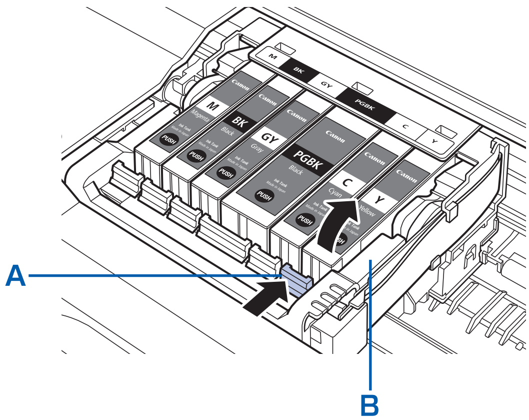
- スキャナユニット（カバー）を10分以上開けたままにすると、プリントヘッドホルダが右側へ移動します。その場合は、いったんスキャナユニット（カバー）を閉じ、再度開けてください。

参　考

- プリントヘッドホルダが交換位置に移動するときに動作音がしますが、正常な動作です。

3 インクランプの点滅が速いインクタンクを取り外す

インクタンクの固定つまみ（A）を押し、インクタンクを上に持ち上げて外します。
プリントヘッドの固定レバー（B）には触れないようにしてください。



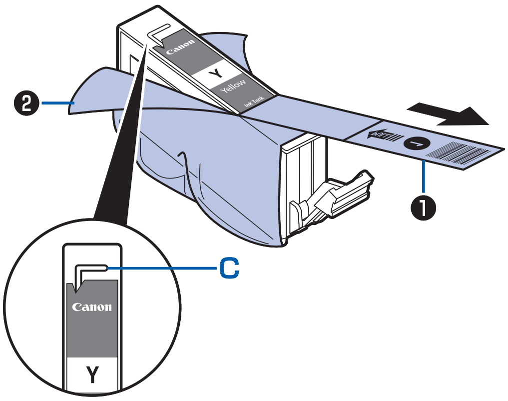
重　要

- 衣服や周囲を汚さないよう、インクタンクの取り扱いには注意してください。
- 空になったインクタンクは地域の条例にしたがって処分してください。
  また、キヤノンでは使用済みインクタンクの回収を推進しています。詳しくは「使用済みインクカートリッジ回収のお願い」（P.170）を参照してください。

参　考

- 一度に複数のインクタンクを外さず、必ず1つずつ交換してください。
- インクランプの点滅速度については、「インクの状態を確認する」（P.104）を参照してください。

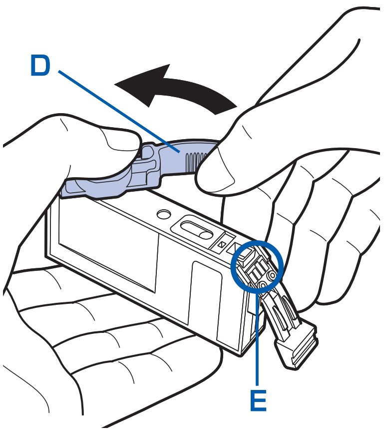
4 インクタンクを準備する



1 新しいインクタンクをパッケージから取り出し、オレンジ色の保護テープ❶を矢印の方向に引いてはがしてから、フィルム❷をはがす

重 要

- 空気穴の溝（C）にフィルムが残らないようにはがしてください。
  空気穴がふさがっていると、インクが飛び出したり、インクが正しく供給されない場合があります。



2 インクタンクの底部にあるオレンジ色の保護キャップ（D）を、図のようにひねって取り外す

指にインクが付着しないように、キャップを押さえながら取り外してください。

取り外した保護キャップは捨ててください。

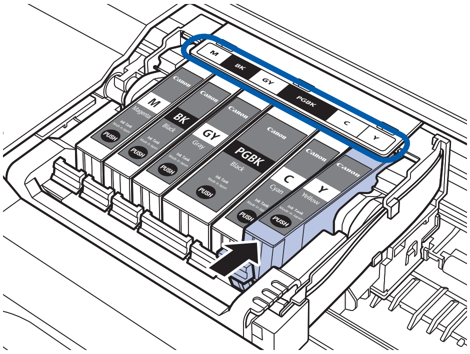
重 要

- インクタンクの基板部分（E）には触らないでください。正常に動作／印刷できなくなるおそれがあります。

重 要

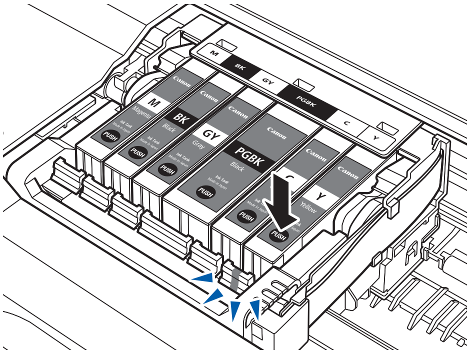
- インクタンクを振るとインクが飛び散り、手やまわりのものを汚すおそれがあります。インクタンクの取り扱いには注意してください。
- インクが飛び出すことがありますので、インクタンクの側面は強く押さないでください。
- 取り外した保護キャップに付いているインクで、手やまわりのものを汚すおそれがあります。ご注意ください。
- 取り外した保護キャップは、再装着しないでください。地域の条例にしたがって処分してください。
- 保護キャップを取り外したあと、インク出口に手を触れないでください。インクが正しく供給されなくなる場合があります。

5 インクタンクを取り付ける



1 新しいインクタンクをプリントヘッドに向かって斜めに差し込む

ラベルに合わせて取り付けます。



2 インクタンク上面の PUSH 部分を「カチッ」と音がするまでしっかり押して、インクタンクを固定する

取り付けたら、インクランプが赤く点灯したことを確認してください。

重　要

- インクタンクの取り付け位置を間違えると印刷できません。プリントヘッドホルダに付いているラベルに合わせ、インクタンクを正しい位置に取り付けてください。
- ひとつでもセットされていないインクタンクがあると印刷できません。必ずすべてのインクタンクをセットしてください。

6 スキャナユニット（カバー）をゆっくり閉じる

⚠注意

- スキャナユニット（カバー）は必ず両手でしっかりと持ち、指などをはさまないように注意してください。
- 操作パネルおよび液晶モニターは持たないでください。

参　考

- スキャナユニット（カバー）を閉じたあとに液晶モニターにエラーメッセージが表示されている場合は、「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.121）を参照してください。
- 次回印刷を開始すると、自動的にプリントヘッドのクリーニングが開始されます。終了するまでほかの操作を行わないでください。
- 罫線がずれて印刷されるなど、プリントヘッドの位置ずれが確認されたときには、プリントヘッドの位置を調整します。⇒P.115
- 操作中に動作音がする場合がありますが、正常な動作です。

印刷にかすれやむらがあるときには

印刷結果がかすれたり、色が正しく印刷されないときはプリントヘッドのノズルが目づまりしている可能性があります。以下の手順に沿って、ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を確認し、プリントヘッドのクリーニングを行います。
また、罫線がずれるなど印刷結果が思わしくないときは、プリントヘッドの位置調整を行うと状態が改善することがあります。

⚠注意

- プリントヘッドやインクタンクを洗浄したり、拭いたりしないでください。プリントヘッドやインクタンクの故障の原因になります。

参　考

お手入れを行う前に

- スキャナユニット（カバー）を開け、インクランプが赤く点灯していることを確認してください。
  点滅または消灯しているインクランプがある場合は、「インクの状態を確認する」（P.104）を参照して、必要な操作を行ってください。
- プリンタドライバの印刷品質を上げることで、印刷結果が改善される場合があります。詳しくは『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

印刷がかすれている、むらがある場合：

Step 1
ノズルチェックパターンを印刷する⇒P.111
ノズルチェックパターンを確認する⇒P.112

パターンが欠けている場合

Step 2
プリントヘッドをクリーニングする ⇒P.113

クリーニング後、ノズルチェックパターンを印刷して確認

２回繰り返しても改善されない場合

Step 3
プリントヘッドを強力クリーニングする ⇒P.114

参　考

- Step ３までの操作を行っても症状が改善されない場合は、電源を切って24時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行ってください。それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒P.168

罫線がずれるなど印刷に均一感がない場合：

プリントヘッド位置を調整する ⇒P.115

参　考

- お手入れの操作は、パソコンから行うこともできます。詳しくは『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷します。

用意するもの：A4サイズの普通紙１枚

参　考

- インク残量が少ないとノズルチェックパターンが正しく印刷されません。インク残量が少ない場合はインクタンクを交換してください。⇒P.106

1 電源が入っていることを確認する

2 カセットにA4サイズの普通紙が１枚以上セットされていることを確認する

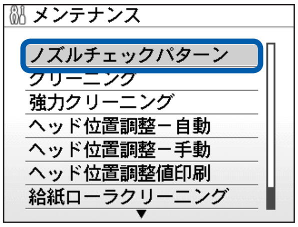
3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

重　要

- CD-Rトレイガイドが開いている場合は、CD-Rトレイガイドを閉じてください。

4 ノズルチェックパターンを印刷する

1. ホーム画面で［設定］を選び、OKボタンを押す
2. ［メンテナンス］を選び、OKボタンを押す
3. ［ノズルチェックパターン］を選び、OKボタンを押す



4. ［はい］を選び、OKボタンを押す
ノズルチェックパターンが印刷され、液晶モニターに2つのパターン確認画面が表示されます。

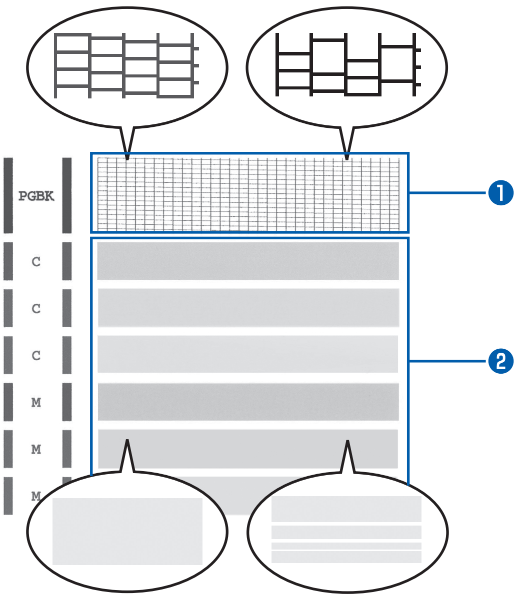
5 ノズルチェックパターンを確認する⇒P.112

お手入れ

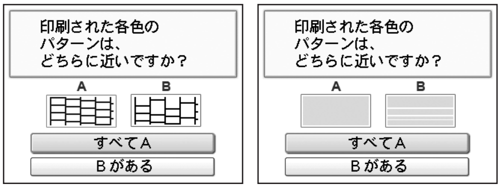
ノズルチェックパターンを確認する

ノズルチェックパターンを確認し、必要な場合はクリーニングを行います。

1 ❶のパターンに欠けがないか、❷のパターンに白い横すじが入っていないかを確認する



2 パターン確認画面で、印刷されたパターンに近いものを選ぶ



❶ ❷どちらもA（欠け／白い横すじがない）の場合：

［すべてA］を選んでOKボタンを押す

クリーニングの必要はありません。メンテナンス画面に戻ります。

❶または❷、❶と❷にBがある（欠け／白い横すじがある）場合：

1 **［Bがある］を選んでOKボタンを押す**
　クリーニングを行います。クリーニング確認画面が表示されます。

2 **［はい］を選んでOKボタンを押す**
　プリントヘッドのクリーニングが開始されます。⇒P.113

参　考

- 巻末の「知って得するヒント集」にノズルチェックパターンの良い例、悪い例がカラーで掲載されています。そちらもあわせて参照してください。

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンに欠けや白い横すじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。ノズルのつまりを解消し、プリントヘッドを良好な状態にします。インクを消耗しますので、クリーニングは必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4サイズの普通紙１枚

1　電源が入っていることを確認する

2　カセットにA4サイズの普通紙が１枚以上セットされていることを確認する

3　排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

重　要

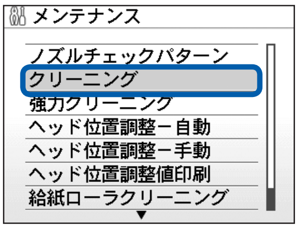
- CD-Rトレイガイドが開いている場合は、CD-Rトレイガイドを閉じてください。

4　プリントヘッドをクリーニングする

1 **ホーム画面で［設定］を選び、OKボタンを押す**

2 **［メンテナンス］を選び、OKボタンを押す**

3 **［クリーニング］を選び、OKボタンを押す**



4 **［はい］を選び、OKボタンを押す**

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約１分30秒かかります。

5 **［はい］を選び、OKボタンを押す**

ノズルチェックパターンが印刷されます。

5　ノズルチェックパターンを確認する⇒P.112

参　考

- クリーニングを２回繰り返しても改善されないときは、強力クリーニングを行ってください。⇒P.114

プリントヘッドを強力クリーニングする

プリントヘッドのクリーニングを行っても効果がない場合は、強力クリーニングを行ってください。強力クリーニングは、通常のクリーニングよりインクを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4サイズの普通紙１枚

1 電源が入っていることを確認する

2 カセットにA4サイズの普通紙が１枚以上セットされていることを確認する

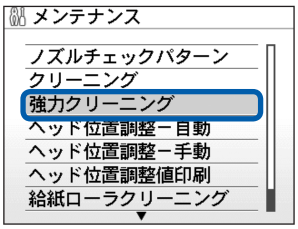
3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

重　要

- CD-Rトレイガイドが開いている場合は、CD-Rトレイガイドを閉じてください。

4 プリントヘッドを強力クリーニングする

1. ホーム画面で［設定］を選び、OKボタンを押す
2. ［メンテナンス］を選び、OKボタンを押す
3. ［強力クリーニング］を選び、OKボタンを押す



4. ［はい］を選び、OKボタンを押す
   プリントヘッドの強力クリーニングが開始されます。
   強力クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約2分30秒かかります。
5. ［はい］を選び、OKボタンを押す
   ノズルチェックパターンが印刷されます。

5 ノズルチェックパターンを確認する⇒P.112

特定の色だけが印刷されない場合は、そのインクタンクを交換します。⇒P.106

改善されない場合は、電源を切って24時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行います。

それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒P.168

プリントヘッド位置を調整する

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッド位置を調整します。

用意するもの：A4サイズのマットフォトペーパー MP-101　1枚

参　考

- 付属の用紙（マットフォトペーパー MP-101）がなくなったり、キヤノン純正の専用紙が用意できない場合は、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照して、普通紙で手動ヘッド位置調整を行ってください。

1　電源が入っていることを確認する

2　後トレイに付属の用紙またはA4サイズのマットフォトペーパー（MP-101）を1枚セットする

印刷面（より白い面）を上にして、後トレイにセットします。

重　要

- カセットからは自動ヘッド位置調整はできません。必ず後トレイに用紙をセットしてください。

3　排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

重　要

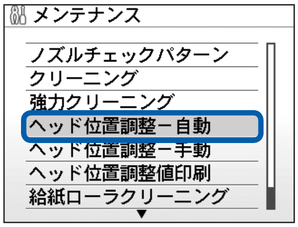
- CD-R トレイガイドが開いている場合は、CD-R トレイガイドを閉じてください。

4　プリントヘッドの位置調整パターンを印刷する

1 ホーム画面で［設定］を選び、OK ボタンを押す

2 ［メンテナンス］を選び、OK ボタンを押す

3 ［ヘッド位置調整－自動］を選び、OK ボタンを押す



参　考

- ［ヘッド位置調整値印刷］を選ぶと、現在の調整値を印刷できます。

4 ［はい］を選び、OK ボタンを押す

パターンが印刷され、プリントヘッド位置が自動的に調整されます。

印刷が終了するまで約7分かかります。

参　考

- パターンは黒と青で印刷されます。
- 自動調整が正しく行えなかったときには、液晶モニターに［自動ヘッド位置調整に失敗しました］のメッセージが表示されます。「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.121）を参照してください。
- 記載の手順でヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくない場合は、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照して、手動ヘッド位置調整を行ってください。

給紙ローラをクリーニングする

給紙ローラに紙粉や汚れがつくと、用紙がうまく送られないことがあります。そのような場合は、給紙ローラのクリーニングを行います。給紙ローラのクリーニングは給紙ローラが磨耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4サイズの普通紙3枚

1 電源が入っていることを確認し、本製品にセットされている用紙をすべて取り除く

2 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

重　要

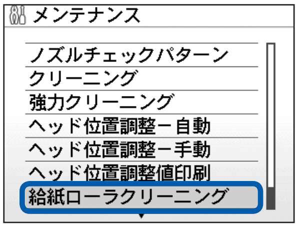
- CD-R トレイガイドが開いている場合は、CD-R トレイガイドを閉じてください。

3 給紙ローラをクリーニングする

1 ホーム画面で［設定］を選び、OKボタンを押す

2 ［メンテナンス］を選び、OKボタンを押す

3 ［給紙ローラクリーニング］を選び、OKボタンを押す



4 ［はい］を選び、OKボタンを押す

5 クリーニングする給紙箇所（［後トレイ］または［カセット］）を選び、OKボタンを押す

給紙ローラが回転してクリーニングが開始されます。

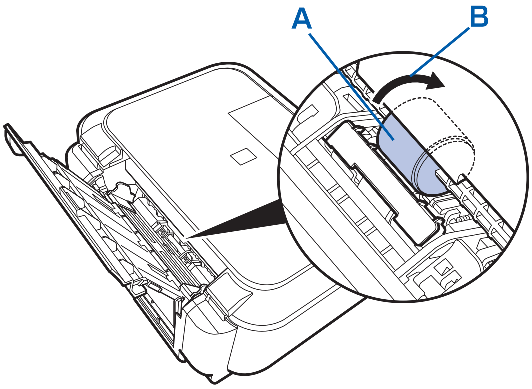
4 給紙ローラの回転が停止したことを確認し、用紙をセットする

手順3の5で選んだ給紙箇所に、A4サイズの普通紙3枚をセットしてください。

5 手順3の3から5を繰り返す

クリーニング終了後、用紙が排出されます。

後トレイのクリーニングで改善が見られない場合は、電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜き、湿らせた綿棒などを使って後トレイ内中央にある給紙ローラ（A）を矢印の方向（B）に回しながら拭いてください。給紙ローラは指で触らず、綿棒を使って回してください。



上記の操作を行っても改善されない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒P.168

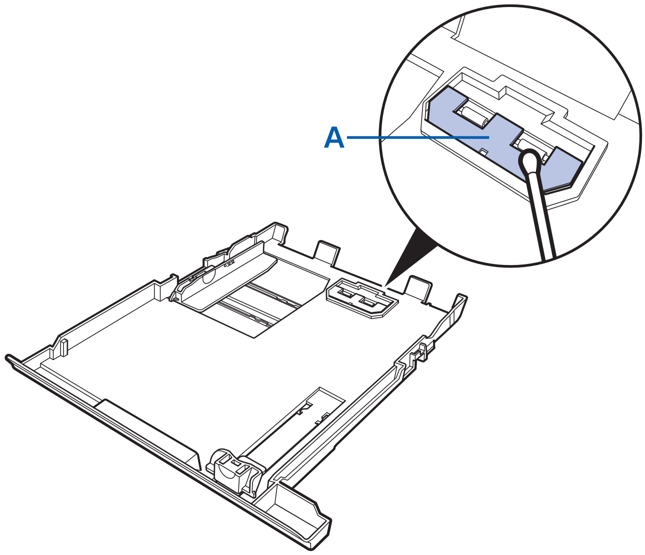
カセットの内部を清掃する

カセット内部のパッドに紙粉や汚れがつくと、用紙が複数枚排紙されることがあります。そのような場合は、パッドの清掃を行います。

用意するもの：綿棒

1 カセットを取り外し、セットされている用紙を取り除く

2 湿らせた綿棒でパッド (A) を拭く



重　要

- 汚れを拭いたあとは、十分に乾燥させてください。

上記の操作を行っても改善されない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒P.168

お手入れ

困ったときには

本製品を使用中にトラブルが発生したときは、ここでの対処方法を参照してください。
ここでは発生しやすいトラブルを中心に説明しています。該当するトラブルが見つからないときには、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）をあわせて参照してください。
⇒「『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）について」（P.83）

エラーが発生したときは

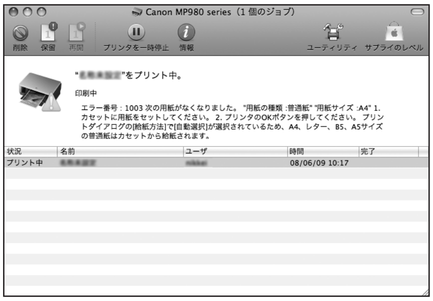
印刷中に用紙がなくなったり、紙づまりなどのトラブルが発生すると、自動的にトラブルの対処方法を示すエラーメッセージが表示されます。この場合は、表示された対処方法にしたがって操作してください。

Windows

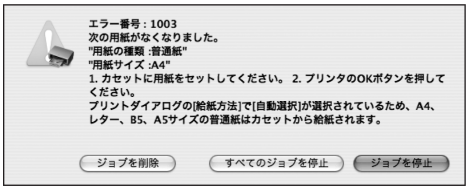


Macintosh

Mac OS X v.10.5.xをご使用の場合



Mac OS X v.10.4.xまたは Mac OS X v.10.3.9をご使用の場合



電源が入らない

チェック 1　**電源ボタンを押してみてください**

チェック 2　**本製品と電源コードがしっかりと接続されているかを確認し、電源を入れ直してください**

チェック 3　**電源プラグをコンセントから抜き、5分以上たってから、電源プラグをコンセントにつないで本製品の電源を入れ直してください**

それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。

⇒「お問い合わせの前に」（P.168）

液晶モニターにエラーメッセージが表示されている

液晶モニターにエラー／確認メッセージが表示されたときには、以下の対処方法にしたがってください。

エラー／確認メッセージ	対処方法
下記のインクがなくなった可能性があります インクの交換をお勧めします U041	インクがなくなった可能性があります（インクランプが点滅しています）。 インクタンクを交換することをお勧めします。 印刷が終了していない場合は、インクタンクを取り付けたまま本製品のOKボタンを押すと、印刷を続けることができます。印刷が終了したらインクタンクを交換することをお勧めします。インク切れの状態で印刷を続けると、故障の原因となるおそれがあります。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.104） 参　考 • 複数のインクランプが点滅している場合は、「お手入れ」の「インクの状態を確認する」（P.104）を参照して、インクタンクの状態を確認してください。
プリントヘッドが装着されていません プリントヘッドを装着してください U051 ／ プリントヘッドの種類が違います 正しいプリントヘッドを装着してください U052	『かんたんスタートガイド』の説明にしたがってプリントヘッドを取り付けてください。 プリントヘッドが取り付けられている場合は、プリントヘッドをいったん取り外し、取り付け直してください。 それでもエラーが解決されないときには、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.168）
正しい位置に取り付けられていないインクタンクがあります U072 ／ 下記のインクタンクが複数取り付けられています U071	• 正しい位置にセットされていないインクタンクがあります（インクランプが点滅しています）。 • 同じ色のインクタンクが複数セットされています（インクランプが点滅しています）。 各色のインクタンクの取り付け位置に、正しいインクタンクがセットされていることを確認してください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.104）

エラー／確認メッセージ	対処方法
下記のインクの残量を正しく検知できません **インクタンクを交換してください** **U130**	インクの残量を正しく検知できません（インクランプが点滅しています）。 インクタンクを交換して、スキャナユニット（カバー）を閉じてください。 一度空になったインクタンクで印刷を続けると、本製品に損傷を与えるおそれがあります。 印刷を続けるには、インク残量検知機能を無効にする必要があります。本製品のストップボタンを５秒以上押してから離してください。 この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。インクを補充したことが原因の故障についてはキヤノンは責任を負いかねます。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.104） 参　考 • インク残量検知機能を無効にすると、液晶モニターのインク残量画面でインクタンクがグレー色に表示されます。 ⇒「お手入れ」の「インクの状態を確認する」（P.104）
下記のインクタンクが認識できません **U043** **U140** **U150**	• インクタンクが取り付けられていません。インクタンクを取り付けてください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.104） • 本製品がサポートできないインクタンクが取り付けられています（インクランプが消灯しています）。 正しいインクタンクを取り付けてください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.104） • インクタンクにエラーが発生しました（インクランプが消灯しています）。 インクタンクを交換してください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.104）
下記のインクがなくなりました **インクタンクを交換してください** **U163**	インクがなくなりました（インクランプが点滅しています）。 インクタンクを交換して、スキャナユニット（カバー）を閉じてください。 このまま印刷を続けると本製品に損傷を与えるおそれがあります。 印刷を続けるには、インク残量検知機能を無効にする必要があります。本製品のストップボタンを５秒以上押してから離してください。 この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。インク切れの状態で印刷を続けたことが原因の故障についてはキヤノンは責任を負えない場合があります。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.104） 参　考 • インク残量検知機能を無効にすると、液晶モニターのインク残量画面でインクタンクがグレー色に表示されます。 ⇒「お手入れ」の「インクの状態を確認する」（P.104）
メモリーカードに写真がありません	• セットしたメモリーカードに読み込める画像データが保存されていません。 • 画像ファイル名（フォルダ名）に、全角文字（漢字、カナ等）があると、認識できない場合があります。全角文字を半角英数字に変更してみてください。 • パソコン上で編集／加工したデータは、必ずパソコンから印刷を行ってください。

エラー／確認メッセージ	対処方法
CD-R トレイガイドが開いています 閉じてOKボタンを押してください	通常の印刷（DVD/CD印刷以外の印刷）を開始するときにCD-Rトレイガイドが開いている場合は、CD-Rトレイガイドを閉じてから本製品のOKボタンを押してください。
CD-R トレイガイドを開きCD-Rトレイをセットして OK ボタンを押してください	DVD/CD印刷を開始するときにCD-Rトレイガイドが閉じている場合は、スキャナユニット（カバー）を閉じたままCD-Rトレイガイドを開き、CD-Rトレイをセットしてから本製品のOKボタンを押してください。 印刷中にCD-Rトレイガイドを開閉しないでください。破損の原因になります。
インク吸収体が満杯に近づきました OK ボタンで継続できますが、早めに修理受付窓口に連絡してください	インク吸収体が満杯に近づいています。 本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、本製品のOKボタンを押すと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口にご連絡ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.168）
インク吸収体の交換が必要です お客様相談センターまたは修理受付窓口にご連絡ください	インク吸収体が満杯になりました。 本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、交換が必要です。お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口にご連絡ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.168）
タイムアウトエラーが発生しました	コピー中に何らかのエラーが発生し、一定の時間が経ちました。 本製品のOKボタンを押してエラーを解除し、もう一度コピーをやり直してください。
接続した機器は本機に対応していない可能性があります いったん取り外し、接続した機器の使用説明書を確認してください	• カメラ接続部に接続している機器を確認してください。本製品と接続して直接印刷できるのは、PictBridge対応機器またはBluetoothユニットBU-30（オプション）です。 • 接続した状態での操作時間が長すぎたり、データ送信に時間がかかり過ぎる場合は、通信タイムエラーとなり印刷できないことがあります。接続しているUSB ケーブルを抜き、再度USB ケーブルを接続してください。 PictBridge対応機器から印刷する場合、ご使用のデジタルカメラの機種により、接続する前にPictBridge 対応機器で印刷するモードに切り替える必要があります。また接続後、手動で電源を入れたり、再生モードにする必要があります。ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。 それでもエラーが解決されないときは、ほかの写真を選んで印刷できるかどうかを確認してください。

<table>
<tr><th>エラー／確認メッセージ</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>自動ヘッド位置調整に失敗しました
OKボタンを押して操作をやり直してください≪使用説明書を参照≫</td><td>• ノズルが目づまりしています。
• 本製品のOKボタンを押してエラーを解除し、ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。
⇒「お手入れ」の「ノズルチェックパターンを印刷する」（P.111）
• A4サイズ以外の用紙がセットされています。
本製品のOKボタンを押してエラーを解除し、付属のプリントヘッド位置調整用紙またはキヤノン純正のA4サイズの用紙（マットフォトペーパー MP-101）を後トレイに1枚セットしてください。
自動でヘッド位置調整を行う場合は、必ず後トレイに用紙をセットしてください。
• 本製品の排紙口内に強い光が当たっています。
本製品のOKボタンを押してエラーを解除し、排紙口内に光が当たらないように調整してください。
上記の対策をとったあと、再度ヘッド位置調整を行ってもエラーが解決されないときには、本製品のOKボタンを押してエラーを解除したあと、手動でヘッド位置調整を行ってください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「手動でプリントヘッド位置を調整する」</td></tr>
<tr><td>対応していないUSBハブが接続されました
取り外してください</td><td>本製品のカメラ接続部にUSBハブを接続している場合は、USBハブを本製品から取り外してください。PictBridge対応機器は直接本製品に接続してください。</td></tr>
<tr><td>B200
プリンタトラブルが発生しました
使用説明書を参照してください</td><td>本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.168）</td></tr>
<tr><td>****
プリンタトラブルが発生しました
電源を入れ直してください
解決しないときは、使用説明書を参照してください</td><td>「****」部分は半角英数字で表示され、状況により表示が異なります。
• 「5100/5110」と表示された場合
印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。それから、プリントヘッドホルダの保護材やつまった用紙など、プリントヘッドの動きを妨げているものを取り除いてください。
⚠注意
• このとき、内部の部品には触れないよう、十分注意してください。印刷結果不具合などの原因になります。
本製品の電源を入れ直してみてください。
それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.168）
• それ以外の表示の場合
本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
本製品の電源を入れ直してみてください。
それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.168）</td></tr>
</table>

エラー／確認メッセージ	対処方法
スキャナが正常に動作できません	本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。しばらくしてから、本製品の電源を入れ直してみてください。それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.168）
スキャナロックスイッチを解除し、電源を入れ直してください	スキャナロックスイッチが解除されていません。スキャナロックスイッチを解除側（ ）にスライドさせ、電源ボタンを押して電源を切ってください。そのあと、電源を入れ直してください。それでも復帰しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口にお問い合わせください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.168）
カード書き込み状態が、パソコンから書き込み可能な状態に設定されています **「PCから書き込み禁止」に設定してください**	カードスロットが書き込み可能（［USB接続PCから可能］または［LAN接続PCから可能］）になっています。 カードスロットが［USB接続PCから可能］または［LAN接続PCから可能］に設定されていると、メモリーカードから印刷したり、スキャンしたデータをメモリーカードに保存できません。［設定］メニューで［PCから書き込み禁止］に戻してください。

液晶モニターの表示が消えている

電源ランプが消えているとき：

電源が入っていません。電源コードが接続されていることを確認し、電源を入れてください。

電源ランプが点灯しているとき：

液晶モニターが自動消灯しています。操作パネルの電源ボタン以外のボタンを押してください。

日本語以外の言語が表示されている

次の手順で、日本語の設定に戻してください。

1 **ホームボタンを押して５秒以上待つ**

2 **［設定］を選び、OKボタンを押す**

3 **［本体設定］を選び、OKボタンを押す**

4 **▼ボタンを６回押し、OKボタンを押す**

Bluetoothユニットを取り付けているときは、▼ボタンを７回押してから、OKボタンを押してください。

5 **▲▼ボタンで［日本語］を選び、OKボタンを押す**

MP ドライバがインストールできない

重　要

- LAN接続でMP ドライバがインストールできない場合は、別冊の『ネットワーク設置で困ったときには』も参照してください。

『セットアップCD-ROM』をDVD/CD-ROM ドライブに入れてもセットアップが始まらないとき：

Windows

次の手順にしたがってインストールを開始してください。

1 ［スタート］メニューから［コンピュータ］を開く

【Windows XP】［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］を開く
【Windows 2000】デスクトップの ［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックする

2 開いたウィンドウにある ［CD-ROM］アイコンをダブルクリックする

CD-ROMの内容が表示された場合は、［MSETUP4.EXE］をダブルクリックしてください。

Macintosh

画面上に表示された ［CD-ROM］アイコンをダブルクリックする

参　考

- CD-ROMのアイコンが表示されない場合は、次のことを試してください。
  －CD-ROMをパソコンから取り出して、再度セットする
  －パソコンを再起動する
- それでも［CD-ROM］アイコンが表示されない場合は、パソコンでほかのCD-ROMを表示できるか確認してください。ほかのCD-ROMが表示できる場合は、『セットアップCD-ROM』に異常があります。キヤノンお客様相談センターにお問い合わせください。
  ⇒「お問い合わせの前に」（P.168）

［プリンタの接続］画面で止まってしまうとき：



［プリンタの接続］画面から先に進めなくなった場合は、本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認し、次の手順にしたがってインストールをやり直してください。

参考

- Windows Vistaをご使用の場合、ご使用のパソコンによっては、［プリンタを認識していません。接続を確認してください。］というメッセージが表示されることがあります。その場合は、しばらくお待ちください。しばらく待っても先に進めない場合は、次の操作にしたがってインストールをやり直してください。

1 ［キャンセル］ボタンをクリックする
2 ［インストール失敗］画面で［もう一度］ボタンをクリックする
3 表示された画面で［戻る］ボタンをクリックする
4 ［PIXUS XXX］画面（「XXX」は機種名）で［終了］ボタンをクリックし、『セットアップCD-ROM』を取り出す
5 本製品の電源を切る
6 パソコンを再起動する
7 ほかに起動しているアプリケーションソフトがあれば終了する
8 『かんたんスタートガイド』に記載されている手順にしたがって、MPドライバをインストールする

それ以外のとき：

『かんたんスタートガイド』に記載されている手順にしたがい、MPドライバをインストールし直してください。
MPドライバが正しくインストールされなかった場合は、MPドライバを削除し、パソコンを再起動します。そのあとに、MPドライバを再インストールしてください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になったMPドライバを削除する」
MPドライバを再インストールする場合は『セットアップCD-ROM』から［選んでインストール］を選んでインストールしてください。

参考

- Windowsのエラーが原因でインストーラが強制終了した場合は、Windowsが不安定になっている可能性があり、MPドライバがインストールできなくなることがあります。パソコンを再起動して再インストールしてください。

印刷・スキャン速度が遅い／ Hi-Speed USBとして動作しない／ Windows「さらに高速で実行できるデバイス」などの警告文が画面に表示される

Hi-Speed USBに対応していない環境では、USB 1.1での接続となります。この場合、本製品は正常に動作しますが、通信速度の違いから印刷速度が遅くなることがあります。

チェック　ご使用の環境がHi-Speed USBに対応しているか、次の点を確認してください

- パソコンのUSBポートは、Hi-Speed USBに対応していますか。
- USBケーブルとUSBハブは、Hi-Speed USBに対応していますか。
  USBケーブルは、かならずHi-Speed USB認証ケーブルをご使用ください。また、長さ3m以内のものをお勧めします。
- ご使用のパソコンは、Hi-Speed USBに対応した状態ですか。
  最新のアップデートを入手して、インストールしてください。
- Hi-Speed USB対応のUSBドライバが正しく動作していますか。
  Hi-Speed USBに対応した最新のHi-Speed USBドライバを入手して、再インストールしてください。

重　要

- それぞれの操作については、ご使用のパソコン、USBケーブル、USBハブのメーカーにご確認ください。

コピー／印刷結果に満足できない

白いすじが入る、罫線がずれる、色むらがあるなど、思ったような印刷結果が得られないときは、まず用紙や印刷品質の設定を確認してください。

チェック 1　セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っていますか

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。
写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくないことがあります。
また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。
フチなし全面印刷を行う場合、セットした用紙と設定の組み合わせによっては、発色の差が発生する場合があります。
用紙や印刷品質の設定を確認する方法は、ご使用の機器によって異なります。

本製品の操作でコピーをする場合	本製品の操作パネル ⇒「設定項目について」（P.30）、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「コピーする」の「設定項目について」
本製品の操作でメモリーカードから印刷する場合	本製品の操作パネル ⇒「設定項目について」（P.19）、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「メモリーカードの写真を印刷する」の「設定項目について」
本製品の操作でフィルムやプリント写真から印刷する場合	本製品の操作パネル ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「プリント写真やフィルムから印刷する」の「設定項目について」

PictBridge対応機器から印刷する場合	PictBridge対応機器 ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「PictBridge対応機器から印刷する」 本製品の操作パネル ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品の操作パネルで設定を変更する」
ワイヤレス通信対応機器から印刷する場合	本製品の操作パネル ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品の操作パネルで設定を変更する」
パソコンから印刷する場合	プリンタドライバ ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「かんたんな設定で印刷を行う」

チェック 2　チェック 1 の表を参照して、適切な印刷品質が選ばれていることを確認してください

用紙の種類や印刷するデータに応じた印刷品質を選んでください。インクのにじみや色むらが気になる場合は、画質を優先する設定にして印刷してみてください。

参考

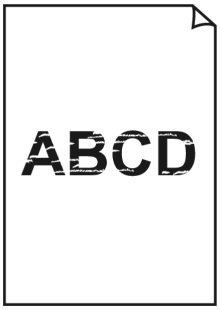
- PictBridge対応機器から印刷する場合は、本製品の操作パネルで印刷品質を設定してください。PictBridge対応機器からは印刷品質の設定はできません。
- ワイヤレス通信対応機器から印刷する場合は、印刷品質の設定はできません。

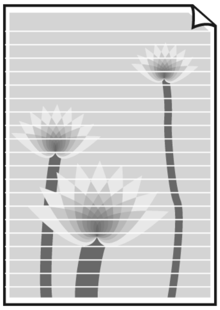
チェック 3　それでも解決しない場合は、ほかの原因が考えられます

以下の項目もあわせて確認してください。

⇒白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじが入る（P.129）
⇒罫線がずれる（P.131）
⇒インクがにじむ／用紙が反る（P.131）
⇒印刷面が汚れる／こすれる（P.132）
⇒用紙の裏面が汚れる（P.135）
⇒色むらや色すじがある（P.135）

白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじが入る





チェック 1　**用紙や印刷品質を確認しましたか**

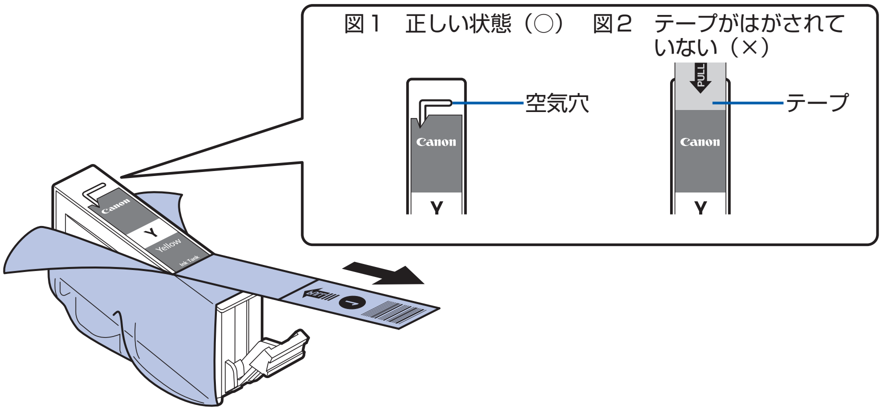
⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.128）

チェック 2　**インクタンクの状態を確認し、インクがなくなっている場合は、インクタンクを交換してください**

⇒「インクタンクを交換する」（P.104）

チェック 3　**インクタンクにオレンジ色のテープや保護フィルムが残っていませんか**

オレンジ色のテープが、下の図１のようにきれいにはがされていることを確認してください。
図２のようにテープが残って空気穴をふさいでいる場合は、テープをきれいに取り除いてください。



チェック 4　**ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください**

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.110）を参照してください。

チェック 5　**片面にのみ印刷可能な用紙を使用している場合は、用紙の表と裏を間違えてセットしていないか確認してください**

表と裏を間違えると、かすれたり、正しく印刷されないことがあるので注意してください。
用紙の印刷面については、ご使用の用紙に付属の取扱説明書を参照してください。

コピーしているときは以下の項目もチェックしてみてください：

チェック 6　**原稿が原稿台ガラスに正しくセットされていることを確認してください**

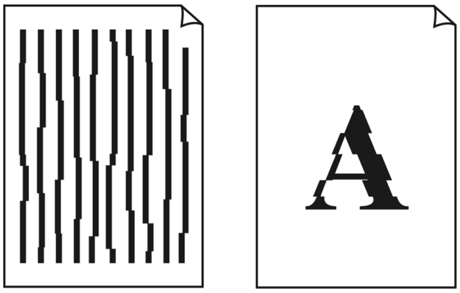
⇒「コピーやスキャンする原稿をセットする」（P.98）

チェック 7　**原稿はコピーする面を下にしてセットしましたか**

チェック 8　本製品で印刷したものをコピーしていませんか

メモリーカードまたはデジタルカメラから直接印刷するか、パソコンから印刷し直してください。本製品で印刷したものをコピーすると、きれいに印刷されないことがあります。

罫線がずれる



チェック 1　用紙や印刷品質を確認しましたか

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.128）

チェック 2　プリントヘッドの位置調整を行ってください

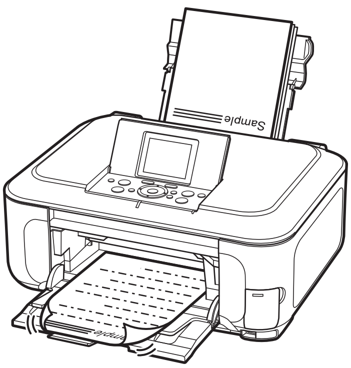
プリントヘッドの取り付け位置がずれていると、罫線がずれて印刷される場合があります。プリントヘッドを取り付けたあとは、かならず位置調整を行ってください。

⇒「お手入れ」の「プリントヘッド位置を調整する」（P.115）

参　考

- ヘッド位置調整を行ってもなお、印刷結果が思わしくない場合は、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「手動でプリントヘッド位置を調整する」を参照して、手動ヘッド位置調整を行ってください。

インクがにじむ／用紙が反る



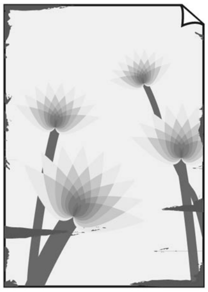
チェック 1　用紙や印刷品質を確認しましたか

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.128）

チェック 2 **写真を印刷するとき、写真専用紙を使用していますか**

写真や色の濃い絵など、インクを大量に使用する印刷には、キヤノン写真用紙・光沢 ゴールドなどの写真専用紙を使用することをお勧めします。
⇒「用紙／原稿をセットする」の「使用できる用紙について」（P.93）

印刷面が汚れる／こすれる



用紙の端が汚れる



用紙の端以外が汚れる

チェック 1 **用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.128）

チェック 2 **適切な用紙を使用していますか、次のことを確認してください**

- ご使用の用紙が目的の印刷に適した用紙か確認してください。
  ⇒「用紙／原稿をセットする」の「使用できる用紙について」（P.93）
- フチなし全面印刷を行っている場合は、ご使用の用紙がフチなし全面印刷に適した用紙か確認してください。
  フチなし全面印刷に適さない用紙を使用すると、用紙の上端および下端の印刷品質が低下する場合があります。
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「印刷できる範囲」

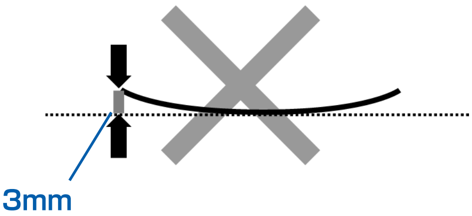
チェック 3 **反りのある用紙は、反りを直してから使用してください**

普通紙の場合

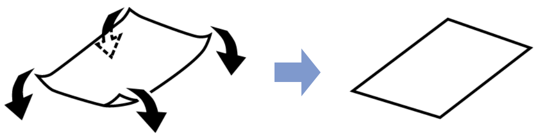
用紙の裏表を逆にしてセットしてください。
後トレイに用紙を長期間セットしたままにしていると、若干反りがついてしまうことがあります。この場合、裏表を逆にしてセットすると、改善されることがあります。
なお、長期間ご使用にならない用紙は、用紙が入っていたパッケージに入れて水平に保管することをお勧めします。

はがきの場合

用紙の四隅が3mm以上反っている場合、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりするおそれがあります。以下の手順で反りを修正してから使用してください。



1　下の図のように、対角線上の端を、反りと逆方向に丸める



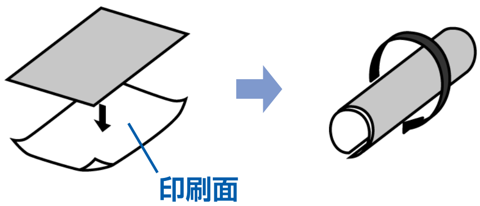
2　印刷する用紙が、平らになっていることを確認する

反りを修正した用紙は、1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。
四隅や印刷面全体に反りのある用紙を使用した場合、用紙が汚れたり、うまく送られないことがあります。次の手順で反りを修正してから使用してください。

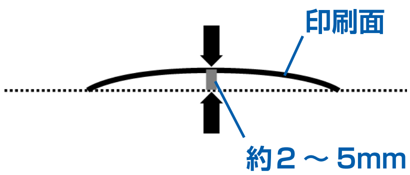
その他の用紙の場合

1　印刷面を上にし、表面が汚れたり傷つくことを防ぐために、印刷しない普通紙などを1枚重ねる

2　下の図のように反りと逆方向に丸める



3　印刷する用紙の反りが、約2～5mm以内になっていることを確認する



反りを直した用紙は、1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

参　考

- ご使用の用紙によっては、反りのない用紙を使用していても、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりすることがあります。その場合は、上記の手順にしたがって、印刷する前にあらかじめ用紙を反らせてから印刷してみてください。印刷の結果が改善される場合があります。

チェック 4　厚めの用紙を使用している場合は、用紙のこすれを改善する設定にしてください

用紙のこすれを改善する設定にすると、プリントヘッドと紙の間隔が広くなります。用紙の種類を正しく設定していても印刷面がこすれる場合は、本製品の操作パネルかプリンタドライバで用紙のこすれを改善する設定にしてください。
用紙のこすれを改善する設定にすると、印刷速度が遅くなる場合があります。
* 印刷後は用紙のこすれを改善する設定を解除してください。設定を解除しないと、次回以降の印刷でもこの設定が有効になります。

- 本製品の操作パネルで設定する場合
  メニューボタンを押してから［設定］、［本体設定］、［印刷設定］を順に選び、［用紙のこすれ改善］を［する］に設定してください。
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品の操作パネルで設定を変更する」

- プリンタドライバで設定する場合

Windows

プリンタドライバの設定画面を開き、［ユーティリティ］シートの［特殊設定］で［用紙のこすれを改善する］にチェックマークを付け、［送信］ボタンをクリックしてください。
プリンタドライバの設定画面の開きかたについては『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「プリンタドライバの開きかた（Windows）」を参照してください。

Macintosh

Canon IJ Printer Utility（キヤノン・アイジェイ・プリンタ・ユーティリティ）のポップアップメニューから［特殊設定］を選び、［用紙のこすれを改善する］にチェックマークを付け、［送信］ボタンをクリックしてください。
Canon IJ Printer Utilityの開きかたについては『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「Canon IJ Printer Utilityの開きかた（Macintosh）」を参照してください。

チェック 5　印刷推奨領域を超えて印刷していませんか

印刷推奨領域を超えて印刷すると、用紙の下端でインクがこすれることがあります。
アプリケーションソフトで原稿を作成し直してください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「印刷できる範囲」

チェック 6　原稿台ガラスが汚れていませんか

原稿台ガラスを清掃してください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「原稿台の周辺部分を清掃する」

チェック 7　給紙ローラが汚れていませんか

給紙ローラクリーニングを行ってください。
⇒「給紙ローラをクリーニングする」（P.116）

参考

- 給紙ローラクリーニングは給紙ローラが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

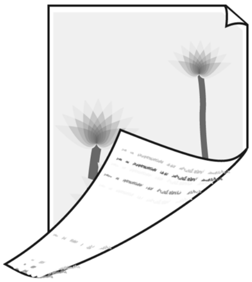
チェック 8　本製品内部が汚れていませんか

両面印刷などを行うと、本製品の内側にインクが付いて用紙が汚れる場合があります。
インクふき取りクリーニングを行って、本製品内部をお手入れしてください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「インクふき取りクリーニングを行う」

参　考

- 内部の汚れを防ぐために、用紙サイズを正しく設定してください。

用紙の裏面が汚れる



チェック 1　用紙や印刷品質を確認しましたか

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.128）

チェック 2　インクふき取りクリーニングを行って、本製品の内部を清掃してください

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「インクふき取りクリーニングを行う」

参　考

- 両面印刷や多量に印刷を行うと、本製品の内部が汚れることがあります。

色むらや色すじがある





チェック 1 **用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.128）

チェック 2 **ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください**

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.110）を参照してください。

チェック 3 **プリントヘッドの位置調整を行ってください**

プリントヘッドの位置調整については、「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.110）を参照してください。

参　考

- プリントヘッド位置調整を行ってもなお、印刷結果が思わしくない場合は、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「手動でプリントヘッド位置を調整する」を参照して、手動ヘッド位置調整を行ってください。

印刷が始まらない

チェック 1 **電源プラグがしっかりと差し込まれていることを確認し、電源ボタンを押してください**

電源ランプが点滅している間は、本製品が準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

参　考

- 写真やグラフィックなど大容量のデータを印刷するときは、印刷が始まるまでに通常よりも時間がかかります。電源ランプが青色に点滅している間、パソコンはデータを処理して本製品に転送しています。印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。

チェック 2 **インクタンクの状態を確認し、インクがなくなっている場合はインクタンクを交換してください**

チェック 3 **スキャナユニット（カバー）を開け、インクランプが赤く点滅していないか確認してください**

インクが十分あるのにインクランプが赤く点滅している場合は、正しい位置にセットされていないインクタンクがあります。
⇒「インクタンクを交換する」（P.104）

チェック 4 **スキャナユニット（カバー）を開け、インクランプが赤く点灯していることを確認してください**

インクランプが消えている場合は、インクタンクのラベル上の PUSH 部分を「カチッ」という音がするまでしっかり押して、インクタンクをセットしてください。

チェック 5　本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

USB接続で本製品をご使用の場合は、本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。 USBケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USBハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USBハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USBケーブルに不具合があることも考えられます。別のUSBケーブルに交換し、再度印刷してみてください。

無線LAN接続または有線LAN接続で本製品をご使用の場合は、LANケーブルでネットワーク接続がされているか、またはネットワークの設定が正しくされているか確認してください。

⇒『かんたんスタートガイド』

チェック 6　パソコンから印刷した場合、パソコンを再起動してみてください

不要な印刷ジョブが残っている場合は、削除してください。

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になった印刷ジョブを削除する」

チェック 7　CD-R トレイガイドが開いていないか確認してください

開いている場合は閉じて、本製品のOKボタンを押してください。

チェック 8　プリントダイアログの［プリンタ］で、ご使用の機種名が選ばれていることを確認してください

異なる機種のプリンタドライバを使用していると、正常に印刷できません。

Windowsをご使用の場合は、［印刷］ダイアログで［Canon XXX Printer］（「XXX」は機種名）が選ばれていることを確認してください。

Macintoshをご使用の場合は、プリントダイアログの［プリンタ］でご使用の機種名が選ばれていることを確認してください。

参 考

- 本製品を［通常使うプリンタに設定］（Windows）、［デフォルトのプリンタ］または［デフォルトにする］（Macintosh）にすることで、常に本製品が選ばれているように設定することもできます。

Windows

チェック 9　プリンタポートを正しく設定してください

プリンタポートとして「USBnnn」を設定してください（“n” は数字）。

1　管理者（Administratorsグループのメンバー）としてWindowsにログオンする

2　［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］を選ぶ

Windows XPをご使用の場合は、［コントロール パネル］から［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順に選びます。

Windows 2000をご使用の場合は、［コントロール パネル］から［プリンタ］をダブルクリックします。

3　［Canon XXX Printer］アイコン（「XXX」は機種名）を右クリックし、［プロパティ］を選ぶ

4 ［ポート］タブをクリックし、［印刷するポート］で［プリンタ］の欄に［Canon XXX Printer］と表示されている［USBnnn］（"n"は数字）が選ばれているか確認する

設定が誤っている場合は、MP ドライバを再インストールするか、印刷先のポートを正しいものに変更してください。

参 考

- 無線LAN接続または有線LAN接続で本製品をご使用の場合は、ポート名は"CNBJNPxxxxxxxxxx"と表示されます。xxは、MACアドレスから生成される文字列、または、ネットワークのセットアップ時にユーザが設定した任意の文字列です。

動作はするがインクが出ない

チェック 1 プリントヘッドが目づまりしていませんか

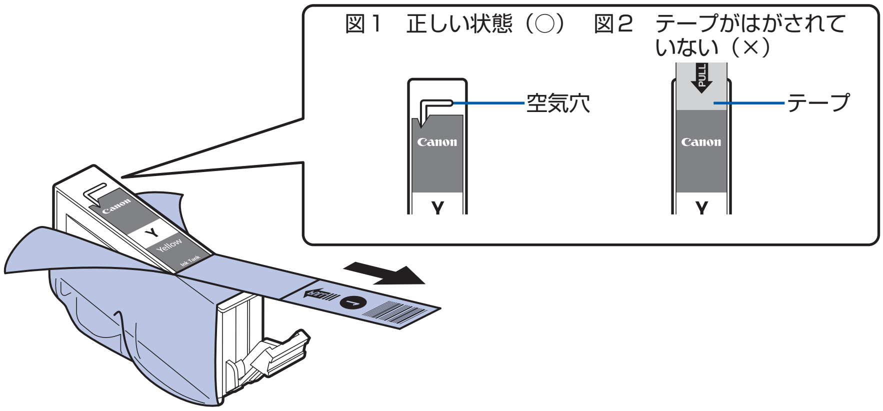
ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.110）を参照してください。

チェック 2 インクがなくなっていませんか

「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.121）を参照してインクタンクの状態を確認し、状態に応じて対処してください。

チェック 3 インクタンクにオレンジ色のテープや保護フィルムが残っていませんか

オレンジ色のテープが、下の図１のようにきれいにはがされていることを確認してください。
図２のようにテープが残って空気穴をふさいでいる場合は、テープをきれいに取り除いてください。



プリントヘッドホルダが交換位置に移動しない

チェック 1　電源ランプが消えていませんか

電源ランプが青色に点灯していることを確認してください。
電源が入っていないとプリントヘッドホルダは移動しません。電源ランプが消灯している場合は、スキャナユニット（カバー）を閉じて電源を入れてください。
電源ランプが青色に点滅している間は、本製品が初期動作中です。点滅から点灯に変わってから、もう一度スキャナユニット（カバー）を開けてください。

チェック 2　エラーメッセージが表示されていませんか

スキャナユニット（カバー）をいったん閉じ、表示されたエラー／確認メッセージにしたがってエラーを解除してから、開いてください。対処方法については、「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.121）を参照してください。

用紙がうまく送られない

チェック 1　次のことに注意して用紙をセットしてください

- 用紙を複数枚セットするときは、用紙の端をそろえてからセットしてください。
- 用紙を複数枚セットするときは、用紙ガイドの積載マークを超えないようにしてください。
  ただし用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を最大積載枚数の半分以下に減らしてください。
- 後トレイ、カセットとも、印刷の向きに関わらず縦向きにセットしてください。
- 後トレイに用紙をセットするときは、印刷したい面を上にして、用紙ガイドを用紙の両端に軽く当ててください。
- カセットに用紙をセットするときは、印刷したい面を下にして、用紙の右端をカセットの右側にぴったりと突き当て、用紙ガイドを用紙の左端と下端に合わせてください。
  ⇒「用紙をセットする」（P.87）

チェック 2　厚い用紙や反りのある用紙などを使用していないか確認してください

⇒「用紙／原稿をセットする」の「使用できない用紙について」（P.97）

チェック 3　はがきや封筒をセットする場合は、次のことに注意してください

- はがき、往復はがきが反っていると積載マークを超えてセットしていなくても、うまく送られないことがあります。
  はがき、往復はがきは、郵便番号欄を下向きにセットしてください。
- 封筒に印刷するときは「用紙／原稿をセットする」の「封筒をセットする」（P.91）を参照し、印刷前に準備をしてください。
  準備ができたら、本製品に縦置きでセットしてください。横置きにすると、正しく送られません。

チェック 4　給紙位置設定が合っているか確認してください

＊お買い上げ時から何も設定を変更していない場合、普通紙はカセットから給紙する設定になっています。

- 本製品の操作パネルで設定する場合
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品の操作パネルで設定を変更する」
- プリンタドライバで設定する場合
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「目的に合わせて給紙方法を切り替える」
- プリンタドライバの［給紙方法］で［自動選択］に設定した場合の、普通紙の給紙位置設定について
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「普通紙の給紙位置を設定する」

チェック 5　後トレイまたはカセットに異物がある場合は取り除いてください

チェック 6　CD-R トレイガイドが閉じていることを確認してください

少しでも開いていると用紙がうまく送られません。
⇒「DVD/CDをセットする／取り出す」（P.36）

チェック 7　給紙ローラクリーニングを行ってください

⇒「給紙ローラをクリーニングする」（P.116）

参　考

- 給紙ローラのクリーニングは給紙ローラが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

チェック 8　カセットから用紙が複数枚排紙されるときは、カセットの内部を清掃してください

カセットの内部の清掃について詳しくは「カセットの内部を清掃する」（P.117）を参照してください。

チェック 9　背面カバーは正しく閉まっていますか

背面カバーが正しく閉まっていないと、用紙がつまることがあります。背面カバーを奥までしっかり押し込んで取り付けてください。
背面カバーの位置については、「各部の名称と役割」の「背面」（P.9）を参照してください。

Windows プリンタドライバで選んだ給紙箇所から用紙がうまく送られない

チェック　アプリケーションソフトで、プリンタドライバと異なる給紙位置を指定していませんか

アプリケーションソフトの設定をプリンタドライバの設定に合わせるか、プリンタドライバの［ページ設定］シートにある［印刷オプション］で［アプリケーションソフトの給紙設定を無効にする］を選択してください。
アプリケーションソフトで、プリンタドライバと異なる設定をした場合は、アプリケーションソフトの設定が優先されます。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「普通紙の給紙位置を設定する」

用紙がつまった

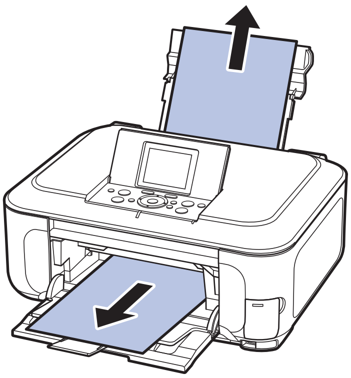
参　考

- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、ストップボタンを押して、印刷を中止してから電源を切ってください。

排紙口／後トレイで用紙がつまったとき：

次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1　排紙側または給紙側（引き出しやすい方）から用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く



参　考

- 用紙が破れて本製品の内部に残ってしまったときは、本製品の電源を切り、スキャナユニット（カバー）を開けて取り除いてください。
  このとき、本製品の内部の部品に触れないように注意してください。
  用紙を取り除いたら、スキャナユニット（カバー）を閉じて本製品の電源を入れ直してください。
- 用紙が引き抜けない場合は、本製品の電源を入れ直してください。用紙が自動的に排出されることがあります。

2　用紙をセットし直し、本製品のOKボタンを押す

手順１で電源を入れ直した場合、本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

参　考

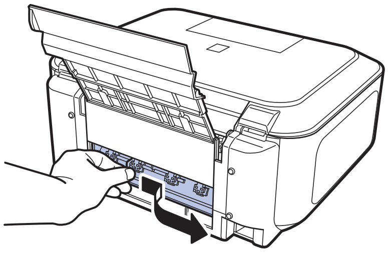
- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。
  ⇒「用紙をセットする」（P.87）
- 写真やグラフィックを含む原稿の印刷はA5サイズ以外の用紙に印刷することをお勧めします。A5サイズの用紙に印刷すると、用紙が反って排紙できない原因になることがあります。

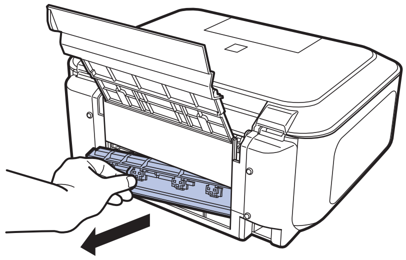
用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.168）

搬送ユニットで用紙がつまったとき：

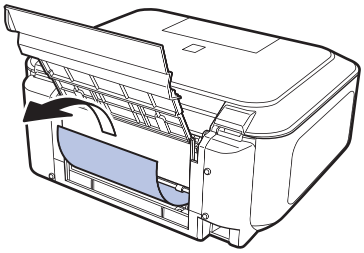
次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1　背面カバーを取り外す





2　用紙をゆっくり引っ張る

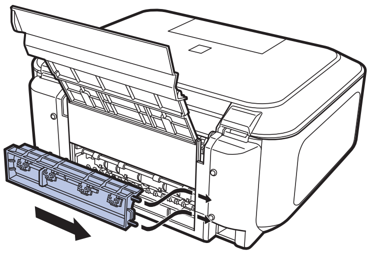


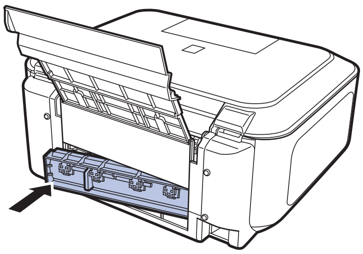
参　考

- 本製品の内部の部品には触れないようにしてください。
- 用紙が引き抜けない場合は、本製品の電源を切り、本製品の電源を入れ直してください。用紙が自動的に排紙されることがあります。

3　背面カバーを取り付ける

背面カバーの左側をしっかりと押し込んでください。

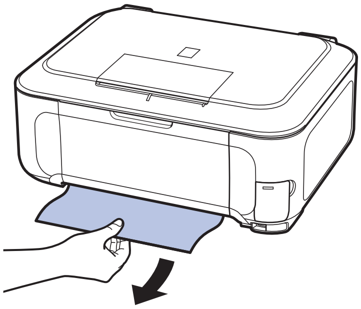




手順２で用紙を取り除けなかったとき：

4　カセットを取り出す

5　用紙をゆっくり引っ張る



6　カセットから用紙がはみ出しているときは、用紙を取り除き用紙をそろえてからセットし直す

自動両面印刷をしていて、手順１～５でも用紙が見つからないときは、両面搬送部を確認してください。

⇒「自動両面印刷をしていて、用紙を取り除けなかったとき：」（P.144）

参　考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。
  ⇒「用紙／原稿をセットする」（P.85）

7　カセットを本製品にセットし直し、本製品のOKボタンを押す

手順２で電源を入れ直したときは、本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。

⇒「お問い合わせの前に」（P.168）

自動両面印刷をしていて、用紙を取り除けなかったとき：

次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1　本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

2　カセットを取り出す

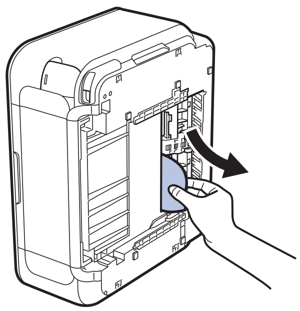
後トレイに用紙がセットされているときは、用紙を取り除いて用紙サポートを収納してください。

3　左側面を下にして、本製品本体を立てる

⚠注意

- 本製品を立てるときは、スキャナユニット（カバー）がしっかりとしまっていることを確認してください。

4　用紙が破れないようにゆっくり引っ張る



参　考

- つまった用紙を取り除いたあとは、速やかに本製品を元の位置に戻してください。

5　用紙をそろえてカセットにセットし直す

後トレイに用紙をセットしていたときは、用紙をセットし直してください。

参　考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。
⇒「用紙／原稿をセットする」（P.85）

6　カセットを本製品にセットし直す

7　電源プラグをコンセントにつないで本製品の電源を入れ直す

本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.168）

名刺サイズの用紙がつまったとき：

次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

重　要

- 名刺サイズの用紙は、横向きにセットできません。

1 **後トレイに同じ用紙を 1 枚縦向きにセットする**
   横向きにセットしないでください。
2 **本製品の電源を切る**
3 **本製品の電源を入れる**
   用紙が給紙され、つまった用紙を押し出しながら排紙されます。
   本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.168）

それ以外のとき：

次のことを確認してください。

チェック 1 **後トレイや排紙口付近に異物はありませんか**

チェック 2 **背面カバーが正しく閉まっていますか**

チェック 3 **反りのある用紙を使用していませんか**

⇒「印刷面が汚れる／こすれる」の「チェック 3 反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」（P.132）

パソコンの画面にメッセージが表示されている

Windows DVD/CD印刷に関するエラーメッセージが表示されている

チェック 1 CD-R トレイを正しくセットしましたか

CD-R トレイガイドを開いて、CD-R トレイを正しくセットし直し、本製品のOKボタンを押してください。
CD-R トレイは、本製品に付属のCD-R トレイ（Gのマークがあるもの）を使用してください。
正しいセット方法については、「DVD/CDをセットする／取り出す」（P.36）を参照してください。

チェック 2 CD-R トレイにDVDまたはCDをセットしましたか

CD-R トレイにDVDまたはCDをセットし、本製品のOKボタンを押してください。
CD-R トレイは、本製品に付属のCD-R トレイ（Gのマークがあるもの）を使用してください。
正しいセット方法については、「DVD/CDをセットする／取り出す」（P.36）を参照してください。

チェック 3 認識できないDVDまたはCDをセットしている可能性があります

推奨するDVDまたはCDのご使用をお勧めします。

参考

- 推奨品についての最新情報は、キヤノンサポートホームページ（canon.jp/support）でご確認ください。推奨するDVD/CDの情報は不定期に更新されます。また、推奨品の仕様は予告なく変更されることがあります。

チェック 4 すでに印刷してあるDVDまたはCDをセットしていませんか

すでに印刷してあるDVDまたはCDに印刷しようとすると、CD-R トレイが排出されることがあります。
その場合は、次の手順にしたがってプリンタドライバの設定を変更し、もう一度印刷してください。

- ［ユーティリティ］シートの［特殊設定］で［CD-R印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外し（オフに設定）、［送信］ボタンをクリックします。 印刷が終わったら、［CD-R印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］にチェックマークを付け（オンに設定）、［送信］ボタンをクリックしてください。

参考

- 印刷後に［CD-R印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外したままほかのDVD/CDの印刷を行うと、CD-R トレイにDVD/CDがセットされていなくても印刷が始まることがあります。チェックマークを付けることで、CD-R トレイが汚れるのを防ぐことができます。

チェック 5 通常の印刷（DVD/CD印刷以外の印刷）を開始するとき、または印刷中にCD-R トレイガイドが開いていませんか

CD-R トレイガイドを閉じてから、本製品のOKボタンを押してください。
印刷中にCD-R トレイガイドを開閉しないでください。破損の原因になります。

「サービスエラー 5100」が表示されている

チェック　プリントヘッドホルダの動きが妨げられていませんか

パソコンで印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。それから、プリントヘッドホルダの保護材やつまった用紙など、プリントヘッドホルダの動きを妨げているものを取り除いてください。

重　要

- このとき内部の部品には触れないよう、十分注意してください。印字結果不具合などの原因となります。

本製品の電源を入れ直してみてください。
それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.168）

自動両面印刷に関するエラーメッセージが表示されている

チェック　『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「自動両面印刷でうまく印刷できない」を参照し、対処してください。

自動ヘッド位置調整に関するエラーメッセージが表示されている

チェック　「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「自動ヘッド位置調整に失敗しました」（P.124）を参照し、対処してください

Windows 「書き込みエラー／出力エラー」または「通信エラー」

チェック 1　電源ランプが消えている場合は、電源コードが接続されていることを確認し、電源ボタンを押してください

電源ランプが青色に点滅している間は、本製品が初期動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

チェック 2　MP ドライバのプロパティで、プリンタポートが正しく設定されていることを確認してください

※以下の手順で、「XXX」はご使用の機種名を表します。

1. **管理者（Administrators グループのメンバー）として Windows にログオンする**
2. **［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］を選ぶ**
   Windows XP をご使用の場合は、［コントロール パネル］から［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタと FAX］の順に選びます。
   Windows 2000 をご使用の場合は、［コントロール パネル］から［プリンタ］をダブルクリックします。
3. **［Canon XXX Printer］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選ぶ**

4 ［ポート］タブをクリックし、［印刷するポート］で［プリンタ］の欄に［Canon XXX Printer］と表示されている［USBnnn］("n"は数字）が選ばれているか確認する

設定が誤っている場合は、MPドライバを再インストールするか、印刷先のポートを正しいものに変更してください。

参　考

• 無線LAN接続または有線LAN接続で本製品をご使用の場合は、ポート名は“CNBJNPxxxxxxxxxx”と表示されます。xxは、MACアドレスから生成される文字列、または、ネットワークのセットアップ時にユーザが設定した任意の文字列です。

チェック 3　本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

USB接続で本製品をご使用の場合は、本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。 USBケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

• USBハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USBハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
• USBケーブルに不具合があることも考えられます。別のUSBケーブルに交換し、もう一度印刷してみてください。

無線LAN接続または有線LAN接続で本製品をご使用の場合は、LANケーブルでネットワーク接続がされているか、またはネットワークの設定が正しくされているか確認してください。

⇒『かんたんスタートガイド』

チェック 4　MPドライバが正しくインストールされていることを確認してください

『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になったMPドライバを削除する」に記載されている手順にしたがってMPドライバを削除したあと、『かんたんスタートガイド』の操作にしたがって、再インストールしてください。

チェック 5　USB接続で本製品をご使用の場合は、パソコンでデバイスの状態を確認してください

以下の手順にしたがって、パソコンでデバイスの状態を確認してください。

1 ［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］、［デバイス マネージャ］の順に選ぶ

［ユーザー アカウント制御］画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって操作してください。

Windows XPをご使用の場合は、［コントロール パネル］から［パフォーマンスとメンテナンス］、［システム］を順にクリックし、［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］ボタンをクリックします。

Windows 2000をご使用の場合は、［コントロール パネル］の［システム］をダブルクリックし、［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］ボタンをクリックします。

2 ［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］（Windows Vista以外をご使用の場合は［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］）、［USB印刷サポート］の順にダブルクリックする

［USB印刷サポート］が表示されない場合は、本製品とパソコンが接続されていることを確認してください。

⇒「チェック 3 本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください」（P.148）

3 ［全般］タブをクリックして、デバイスの異常が表示されているか確認する
デバイスの異常が表示されている場合は、Windowsのヘルプを参照してトラブルを解決してください。

Macintosh「エラー番号：300」が表示されている

チェック 1　電源ランプが消えている場合は、電源コードが接続されていることを確認し、電源ボタンを押してください

電源ランプが青色に点滅している間は、本製品が準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

チェック 2　本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

USB接続で本製品をご使用の場合は、本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。 USBケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USBハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USBハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USBケーブルに不具合があることも考えられます。別のUSBケーブルに交換し、もう一度印刷してみてください。

無線LAN接続または有線LAN接続で本製品をご使用の場合は、LANケーブルでネットワーク接続がされているか、またはネットワークの設定が正しくされているか確認してください。
⇒『かんたんスタートガイド』

チェック 3　プリントダイアログの［プリンタ］で、ご使用の機種名が選ばれていることを確認してください

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「プリンタドライバの開きかた（Macintosh）」

Macintosh「メッセージ：1001」が表示されている

チェック　CD-Rトレイを正しくセットしてください

本製品に付属のCD-Rトレイ（Gのマークがあるもの）を使用してください。
CD-Rトレイを正しくセットし、本製品のOKボタンを押してください。
正しいセット方法については「DVD/CDをセットする／取り出す」（P.36）を参照してください。

Macintosh「エラー番号：1002」が表示されている

チェック 1　DVD/CDをCD-Rトレイにセットしてください

本製品に付属のCD-Rトレイ（Gのマークがあるもの）を使用してください。
CD-RトレイにDVD/CDをセットし、本製品のOKボタンを押してください。
正しいセット方法については「DVD/CDをセットする／取り出す」（P.36）を参照してください。

チェック 2　DVD/CDが正しく認識されているか確認してください

DVD/CDによっては正しく認識されないものがあります。また、すでに印刷したDVD/CD（プリンタブルディスク）をCD-R トレイにセットした場合、正しく認識されないことがあります。『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「パソコンの画面にメッセージが表示されている」を参照し、対処してください。

Macintosh「エラー番号：1701」が表示されている

チェック　「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インク吸収体が満杯に近づきました」（P.123）を参照し、対処してください

Macintosh「インク情報番号：1600」が表示されている

チェック　「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「下記のインクがなくなった可能性があります」（P.121）を参照し、対処してください

Macintosh「インク情報番号：1683」が表示されている

チェック　「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「下記のインクの残量を正しく検知できません」（P.122）を参照し、対処してください

Macintosh「インク情報番号：1688」が表示されている

チェック　「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「下記のインクがなくなりました」（P.122）を参照し、対処してください

Macintosh「メッセージ：1850」が表示されている

チェック　CD-R トレイガイドを開いて、CD-R トレイを正しくセットしてください

CD-R トレイガイドを開いて、CD-R トレイを正しくセットし、本製品のOKボタンを押してください。

正しいセット方法については「DVD/CDをセットする／取り出す」（P.36）を参照してください。

Macintosh「エラー番号：1851」が表示されている

チェック　CD-R トレイガイドを閉じてから、本製品のOKボタンを押してください

Macintosh 「エラー番号：1856」が表示されている

チェック **CD-R トレイガイドを閉じてから、本製品の OK ボタンを押してください**

印刷データが 1 枚分消去されますので、もう一度印刷の設定をしてください。

Macintosh 「エラー番号：2001」が表示されている

チェック **「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「接続した機器は本機に対応していない可能性があります」（P.123）を参照し、対処してください**

Macintosh 「エラー番号：2002」が表示されている

チェック **「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「対応していないUSBハブが接続されました」（P.124）を参照し、対処してください**

Macintosh 「エラー番号：2500」が表示されている

チェック **「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「自動ヘッド位置調整に失敗しました」（P.124）を参照し、対処してください**

Windows そのほかのエラーメッセージ

チェック **プリンタ状態の確認画面以外でエラーメッセージが表示された場合は、次の点を確認してください**

- ディスク容量不足のため、正常にスプールできませんでした。
  不要なファイルを削除してディスクの空き容量を増やしてください。
- メモリ不足のため、正常にスプールできませんでした。
  起動中のほかのアプリケーションソフトを終了して空きメモリを増やしてください。
  それでも印刷できない場合は、パソコンを再起動してもう一度印刷してみてください。
- プリンタドライバが読み込めませんでした。
  『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になったMP ドライバを削除する」に記載されている手順にしたがってMP ドライバを削除し、再インストールしてください。
- 「アプリケーションソフト名」－「文書名」を印刷できませんでした。
  現在印刷中の文書の印刷が終わったら、もう一度印刷してみてください。

PictBridge対応機器にエラーメッセージが表示されている

PictBridge対応機器から印刷するときのトラブルについては、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- PictBridge対応機器に付属の取扱説明書もあわせて参照してください。そのほか、PictBridge対応機器側のトラブルについては、各機器の相談窓口へお問い合わせください。

携帯電話からうまく印刷できない

携帯電話から印刷するときのトラブルについては、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

フォトナビシートからうまく印刷できない

チェック　［フォトナビシートの読み取りに失敗しました］が表示されている場合は、次のことを確認して、OKボタンを押してください。その後、再度［シート読取＆印刷］を実行してください

- 原稿台ガラスにフォトナビシートを正しい向きや位置にセットしましたか。
- 原稿台ガラスやフォトナビシートは汚れていませんか。
- フォトナビシートにチェックもれがありませんか。

参　考

- 塗りつぶしたマークが薄かったり、塗りつぶし範囲が小さいと、フォトナビシートを正しく読み込めない場合があります。

手書きナビシートからうまく印刷できない

手書きナビシートを印刷すると白紙が排紙される

チェック 1　メモリーカードの写真が本製品に対応した画像データかどうか確認してください

⇒「メモリーカードをセットする」（P.23）

チェック 2　メモリーカードに保存されている写真をパソコンで編集しませんでしたか

パソコンで編集された写真は印刷できないことがあります。

参　考

- 撮影情報がパソコンなどで編集されている写真を液晶モニターに表示しようとすると、「?」が表示されます。

［手書きナビシートの読み取りに失敗しました］が表示される

チェック 1　手書きナビシートの▲マークを原稿位置合わせマーク（↘）に合わせてセットしましたか

チェック 2　手書きナビシートの印刷に、A4サイズの普通紙をセットしましたか

参　考

- 再生紙や色のついた紙、汚れや折り目のある紙に印刷するとうまくスキャンできないことがあります。

チェック 3　手書きナビシートに汚れやしわがある場合は、手書きナビシートを作成し直してください

特に、手書きナビシートの左上のバーコードが汚れているとスキャンが行えません。

チェック 4　マークの付け忘れや、同じ項目に複数のマークを付けていないか確認してください

参　考

- 塗りつぶしたマークが薄かったり、塗りつぶし範囲が小さいと、手書きナビシートを正しく読み込めない場合があります。

チェック 5　原稿台ガラスが汚れている場合は、原稿台ガラスを清掃してください

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「原稿台の周辺部分を清掃する」

［フォトナビシートの読み取りに失敗しました］が表示される

チェック　［フォトナビシート］の［シート読取＆印刷］を選んでいませんか

手書きナビシートは、［手書きナビ印刷］の［手書きシート読込］から印刷してください。

手書きナビシートをスキャンすると［指定写真を印刷できません］が表示される／異なる写真や白紙が印刷される／印刷途中で排紙される

チェック 1　印刷したい写真が表示されているか確認してください

ホーム画面から［らく楽フォトシート］、［手書きナビ印刷］の順に選び表示される案内にしたがって印刷したい写真を表示し直し、メモリーカードに写真が保存されていることを確認してください。

チェック 2　手書きナビシートを印刷し直してください

参　考

- 手書きナビシートの「この手書きナビシートを再印刷する」にマークをつけてシートをスキャンしてもうまく印刷できないことがあります。
  ホーム画面から［らく楽フォトシート］、［手書きナビ印刷］の順に選び表示される案内にしたがって手書きナビシートを印刷し直してください。

チェック 3 メモリーカードの写真が本製品に対応した画像データかどうか確認してください

⇒「メモリーカードをセットする」（P.23）

チェック 4 メモリーカードに保存されている写真をパソコンで編集しませんでしたか

パソコンで編集された写真は印刷できないことがあります。

参　考

- 撮影情報がパソコンなどで編集されている写真を液晶モニターに表示しようとすると、「?」が表示されます。

チェック 5 手書きナビシートを印刷したあとにメモリーカードの内容を変更しませんでしたか

写真の追加や削除を行った場合は、もう一度手書きナビシートを作成し直してください。

重　要

- 手書きナビシートを印刷したあと、手書きナビシートをスキャンするまではメモリーカードの内容を書き変えないでください。

チェック 6 印刷中にメモリーカードを取り出しませんでしたか

印刷が終わるまで、メモリーカードを取り出さないでください。

重　要

- メモリーカードの写真データを読み込みながら印刷が行われるため、印刷中にメモリーカードを取り出すと印刷できなくなります。また、印刷中にメモリーカードを取り出すと、メモリーカードの内容が破損することがあります。

手書き文字やイラストがうまく合成できない

チェック 1 手書き文字やイラストは濃い色の太めのペンではっきりと書かれていますか

参　考

- 細い線や薄い色、かすれた文字やイラストは正しくスキャンできないことがあります。

チェック 2 手書きエリアの四隅の ✚ マークが汚れていませんか

参　考

- 手書きエリアの四隅の ✚ マークが汚れていると、手書きナビシートを正しく読み込めない場合があります。✚ マーク付近は汚さないでください。

チェック 3 手書きナビシートの▲マークを原稿位置合わせマーク（↘）に合わせてセットしましたか

参　考

- 手書きナビシートが傾いていると、うまく合成できないことがあります。

チェック 4 異なる写真や白紙が印刷された場合は、メモリーカードの写真を確認してください

メモリーカードが取り出せない

お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.168）

重　要

• 細い棒やピンセットなどを使用して取り出さないでください。故障の原因になります。

参　考

• 次のメモリーカードは専用のカードアダプタが必要です。専用のカードアダプタを取り付けてから、本製品のメモリースロットに挿入してください。
miniSDカード／miniSDHCカード／microSDカード／microSDHCカード／xD-Pictureカード／xD-PictureカードType M／xD-PictureカードType H／メモリースティック マイクロ／RS-MMC（ver.4.1）

フィルムのスキャン/印刷に関するトラブル

フィルムのスキャンができない

チェック 1　**原稿台カバー内側のFAU（フィルムアダプタユニット）保護シートは取り外しましたか**

チェック 2　**フィルムガイドを本製品の原稿台ガラスの正しい位置にセットしましたか**

チェック 3　**原稿台カバーを正しく閉じましたか**

チェック 4　**本製品のロックは解除されていますか**

ソフトウェアを起動している場合は、いったんソフトウェアを終了してください。その後、スキャナロックスイッチを解除側 にスライドし、電源を入れ直してください。

きれいにスキャンできない、適切な色あいでスキャンできない

モニタに表示された画像がきたない場合は、チェック１～チェック３を確認してください。

チェック 1　**原稿台ガラスや原稿台カバー内側の光源部にほこりや汚れが付着していませんか**

原稿台ガラスや原稿台カバー内側の光源部の汚れをきれいに取り除いてください。『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「お手入れ」を参照して、清掃してください。

チェック 2　**フィルムにごみがついているときは、まずごみを吹き飛ばしてからフィルムをセットしてください**

チェック 3　**フィルムマウントが白色のとき、その照り返し光が映り込む場合は、マウントを黒色にするか、黒い枠などでマウント部を覆ってください**

コマを正しく認識できない

チェック　**フィルムの位置がずれていませんか**

フィルムを正しくセットする方法については、「フィルムをセットする」（P.53）を参照してください。

フィルム印刷を行ったとき、フィルムと印刷結果の色あいが違う（赤みがかる／青みがかる）

チェック　**スキャンした画像をパソコンへ保存し、画像編集ソフトウェアで、色調整をしてから印刷してください**

フィルムによっては、フィルム印刷の詳細設定で色調整をして印刷しても、十分満足の得られない色あいになる場合があります。

詳しい操作方法については、各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。ご不明な点は、各アプリケーションソフトの製造元へお問い合わせください。

DVD/CDにうまく印刷できない

DVD/CD印刷が始まらない

チェック 1　**CD-Rトレイを正しくセットしましたか**

CD-Rトレイガイドを開いて、CD-Rトレイを正しくセットし直し、本製品のOKボタンを押してください。
CD-Rトレイは、本製品に付属のCD-Rトレイ（Gのマークがあるもの）をご使用ください。
正しいセット方法については、「DVD/CDをセットする／取り出す」（P.36）を参照してください。

チェック 2　**CD-RトレイにDVDまたはCDをセットしましたか**

CD-RトレイにDVDまたはCDを正しくセットし、本製品のOKボタンを押してください。
CD-Rトレイは、本製品に付属のCD-Rトレイ（Gのマークがあるもの）を使用してください。
正しいセット方法については、「DVD/CDをセットする／取り出す」（P.36）を参照してください。

チェック 3　**DVD/CD印刷が途中で止まる場合は、もう一度操作をやり直してください**

DVD/CD印刷の途中で一定の時間が経過すると、本製品の準備動作が中止されます。
本製品のOKボタンを押すと、本製品の準備動作が再開されます。
表示される案内にしたがって、もう一度操作をやり直してください。

CD-R トレイがうまく送られない

チェック 1　CD-R トレイを正しくセットしましたか

CD-R トレイを正しくセットし直し、本製品のOKボタンを押してください。
CD-R トレイは、本製品に付属のCD-R トレイ（Gのマークがあるもの）をご使用ください。
正しいセット方法については、「DVD/CDをセットする／取り出す」（P.36）を参照してください。

チェック 2　認識できないDVDまたはCDをセットしている可能性があります

推奨するDVDまたはCDのご使用をお勧めします。

参　考

- 推奨品についての最新情報は、キヤノンサポートホームページ（canon.jp/support）でご確認ください。推奨するDVD/CDの情報は不定期に更新されます。また、推奨品の仕様は予告なく変更されることがあります。

チェック 3　すでに印刷してあるDVDまたはCDをセットしていませんか

すでに印刷してあるDVDまたはCDに印刷しようとすると、CD-R トレイが排出されることがあります。
その場合は、次の手順にしたがってプリンタドライバの設定を変更し、もう一度印刷してください。

Windows

- ［ユーティリティ］シートの［特殊設定］で［CD-R印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外し（オフに設定)、［送信］ボタンをクリックします。 印刷が終わったら、［CD-R印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］にチェックマークを付け（オンに設定)、［送信］ボタンをクリックしてください。

Macintosh

- Canon IJ Printer Utility（キヤノン・アイジェイ・プリンタ・ユーティリティ）の［特殊設定］で［CD-R印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外し（オフに設定)、［送信］ボタンをクリックします。 印刷が終わったら、［CD-R印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］にチェックマークを付け（オンに設定)、［送信］ボタンをクリックしてください。

参　考

- 印刷後に［CD-R印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外したままほかのDVD/CDの印刷を行うと、CD-R トレイにDVD/CDがセットされていなくても印刷が始まることがあります。チェックマークを付けることで、CD-R トレイが汚れるのを防ぐことができます。

CD-R トレイがつまった

CD-R トレイをゆっくり引き出してください。
CD-R トレイが引き出せない場合は、本製品の電源を切り、電源を入れ直してください。CD-R トレイが自動的に排出されます。
CD-R トレイを取り除いたら、CD-R トレイ（G のマークがあるもの）をセットし直し、もう一度印刷してください。CD-R トレイをセットし直す場合は、「DVD/CD をセットする／取り出す」（P.36）を参照し、DVD または CD を正しくセットしてください。
上記の手順どおりに処理をしてもつまる場合は、DVD または CD に問題がないか確認してください。
⇒「CD-R トレイがうまく送られない」（P.157）

付録



仕様

装置の概要	
印刷解像度（dpi）	9600（横）* ×2400（縦） *　最小1/9600インチのドット（インク滴）間隔で印刷します。
インターフェース	プリンタ接続部： Hi-Speed USB *1 カメラ接続部： PictBridge Bluetooth v2.0（オプション）*2 *3 *4 USBフラッシュメモリー 赤外線ポート： IrDA IR *5 LAN接続部： 有線LAN　100BASE-TX/10BASE-T 無線LAN　IEEE802.11b/IEEE802.11g *6 *1 Hi-Speed USBでのご使用は、パソコン側がHi-Speed USBに対応している必要があります。 また、Hi-Speed USBインターフェースはUSB 1.1の完全上位互換ですので、パソコン側のインターフェースがUSB 1.1でも接続してご使用いただけます。 *2 最大通信速度：1.44 Mbps *3 イメージ形式（JPEG/PNG）のみ *4 Bluetooth接続はプリント時のみ *5 最大通信速度：115.2 Kbps 通信距離：30 cm以内 *6 WPS（Wi-Fi Protected Setup）設定、WCN（Windows Connect Now）設定による接続が可能
印字幅	最長　203.2 mm　　フチなし時：最長216 mm
稼動音	約45 dB (A)（キヤノン写真用紙・光沢 ゴールドで標準印刷時）
動作環境	温度：5～35 ℃ 湿度：10～90 % RH（結露しないこと）
保存環境	温度：0～40 ℃ 湿度：5～95 % RH（結露しないこと）
電源	AC 100 V　50/60 Hz (付属の電源コードはAC 100V用です）
消費電力	印刷時（コピー時）：約27 W 待機時（スリープ時）：約2.7 W * 電源OFF時：約0.8 W * *　USB接続時 ※電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
外形寸法	約470 mm（横）×385 mm（奥行き）×199 mm（高さ） ※用紙サポートと排紙トレイを格納した状態
質量	本体　約10.7 kg ※プリントヘッド / インクタンクを取り付けた状態
プリントヘッド / インク	6144 ノズル（顔料BK 512 ノズル、Y/染料BK 各512 ノズル、C/M/Gy 各1536 ノズル）

コピー仕様	
連続コピー枚数	最大99枚
濃度調整	9 段階、自動濃度調整あり（AE コピー）
拡大／縮小	25%～ 400%（1 %刻み）

スキャナ仕様	
スキャンドライバ	TWAIN準拠/WIA（Windows VistaまたはWindows XPのみ）
最大原稿サイズ	A4/レター、216×297 mm
読み取り解像度	光学（主走査、副走査）最大：4800×9600 dpi ソフトウェア補間（主走査、副走査）最大：19200×19200 dpi
読み取り階調（入力／出力）	グレースケール：48 bit / 8 bit （フィルム読取時：48 bit/16 または8 bit） カラー：48 bit / 24 bit（RGB各色16 bit / 8 bit） （フィルム読取時：48 bit/48 または24 bit）

ネットワーク仕様	
通信プロトコル	TCP/IP
無線LAN部	準拠規格：IEEE802.11g/IEEE802.11b 伝送速度： IEEE802.11g：6/9/12/18/24/36/48/54 Mbps IEEE802.11b：1/2/5.5/11 Mbps 周波数：2.412 GHz - 2.472 GHz 無線チャンネル：1 - 13 有効範囲：屋内 50 m * セキュリティ：WPA-PSK、WPA2-PSKおよびWEP（64/128 bit）による暗号化、パスワードによるアクセス制御 * 通信速度および環境条件により異なります。
有線LAN部	準拠規格：IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T） 伝送速度：10M/100 Mbps（自動切替）

デジタルテレビ印刷仕様	
準拠規格	ネットTV仕様（印刷機能）

動作条件

参 考　OSの動作条件が高い場合はそれに準じます。

	Windows	Macintosh
OS **CPU** **メモリ**	Windows Vista 1 GHz 以上のプロセッサ 512 MB 以上 Windows XP SP2 300 MHz以上のプロセッサ 128 MB Windows 2000 Professional SP4 300 MHz以上のプロセッサ 128 MB 注）Windows Vista、XP、2000のいずれかがプレインストールされているコンピュータ	Mac OS X v.10.5 Intel プロセッサ、PowerPC G5 PowerPC G4（867 MHz 以上）以上 512 MB 以上 Mac OS X v.10.4 Intel プロセッサ、PowerPC G5、 PowerPC G4、PowerPC G3 256 MB Mac OS X v.10.3.9 PowerPC G5、PowerPC G4、 PowerPC G3 128 MB 注）Mac OS 拡張（ジャーナリング）またはMac OS 拡張でフォーマットされたハードディスクが必要
ブラウザ	Internet Explorer 6.0以上	Safari
ハードディスク空き容量	700 MB 以上 注）付属のソフトウェアのインストールに必要な容量	700 MB 以上 注）付属のソフトウェアのインストールに必要な容量
CD-ROM ドライブ	必要	
表示環境	XGA 1024 x 768以上	

- Windows Media Centerでは、一部の制限があります。
- Windows XP からWindows Vistaにアップグレードして本製品をお使いになる場合は、キヤノン製インクジェットプリンタに付属のソフトウェアをアンインストールしてからWindows Vistaにアップグレードしてください。アップグレード後、ソフトウェアをインストールしてください。

電子マニュアル（取扱説明書）の動作環境

Windows	Macintosh
ブラウザ：Easy Guide Viewer ※Microsoft Internet Explorer 6.0以上がインストールされている必要があります。 ご使用のOSやInternet Explorerのバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、Windows Updateで最新の状態に更新することをお勧めします。	ブラウザ：ヘルプビューア ※ご使用のOSやヘルプビューアのバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、ソフトウェアアップデートで最新のバージョンに更新することをお勧めします。

環境および化学安全情報

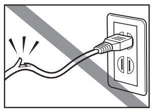
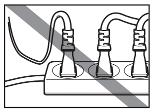
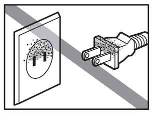
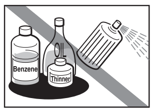
製品の環境情報および化学安全情報（MSDS）につきましては、キヤノンホームページにてご覧いただけます。
canon.jp/ecology

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行なわないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

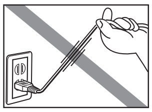
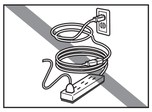
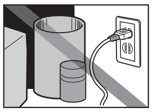
⚠警告

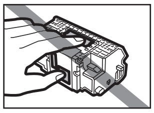
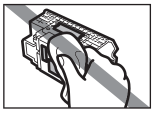
- 本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをお使いの方で異常を感じた場合は、本製品から離れて、医師にご相談ください。
- 以下の注意事項を守らずにご使用になると、感電や火災、本製品の損傷の原因となる場合があります。

設置場所について	アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに置かないでください。
電源について	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
	電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
	電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないでください。また、電源コードに重いものをのせないでください。 
	ふたまたソケットなどを使ったタコ足配線をしないでください。 
	電源コードを束ねたり、結んだりして使わないでください。
	万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
	電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。 ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因となります。 
	近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。火災・感電・故障の原因になります。
	本製品に付属されている電源コードをご使用ください。 なお、本製品の動作条件は次のとおりです。この条件にあった電源でお使いください。 電源電圧：AC 100V　電源周波数：50/60 Hz
お手入れについて	清掃のときは、水で湿らせた布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。 本製品内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。 
	清掃のときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 清掃中に誤って本製品の電源が入ると、けがや本製品の損傷の原因となることがあります。
取扱いについて	本製品を分解、改造しないでください。 内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。
	本製品の近くでは、可燃性の高いスプレーなどは使用しないでください。 スプレーのガスが内部の電気部品に触れて、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 以下の注意を守らずにご使用になると、けがや本製品の損傷の原因になる場合があります。

設置場所について	不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。
	湿気やほこりの多い場所、屋外、直射日光の当たる場所、高温の場所、火気の近くには置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。 次の使用環境でお使いください。温度：5℃～ 35℃　湿度：10% RH ～ 90% RH
	毛足の長いじゅうたんやカーペットの上には置かないでください。 毛やほこりなどが製品の内部に入り込んで火災の原因となることがあります。
	本製品背面を壁につけて置かないでください。
電源について	電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 コードを引っ張ると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。 
	延長電源コードは使用しないでください。 
	いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周囲にはものを置かないでください。 
	万一の感電を防止するために、コンピュータのアース接続をお勧めします。
取扱いについて	印刷中は本製品の中に手を入れないでください。 内部で部品が動いているため、けがの原因となることがあります。
	本製品を運ぶときは、必ず両側下部分を両手でしっかりと持ってください。
	本製品の上にものを置かないでください。
	本製品の上にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤（アルコール・シンナーなど）の入った容器を置かないでください。
	万一、異物（金属片や液体など）が本製品内部に入った場合は、電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
	本製品を使用／輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。 インクが漏れるおそれがあります。
	原稿台ガラスに厚い本などをセットするときは、原稿台カバーを強く押さえないでください。 原稿台ガラスが破損して、けがの原因になることがあります。

プリントヘッド／インクタンクについて	お子様の手の届かないところに保管してください。 誤ってインクをなめたり、飲んだりした場合は、口をすすがせるか、コップ１、２杯の水を飲ませてください。 万一、刺激や不快感が生じた場合には、直ちに医師にご相談ください。
	インクが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。 インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。 万一、目や皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。
	プリントヘッドやインクタンクを振らないでください。 インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。
	印刷後、プリントヘッドの金属部分には触れないでください。 熱くなっている場合があり、やけどの原因になることがあります。 
	インクタンクを火中に投じないでください。
	プリントヘッドやインクタンクを分解したり、改造したりしないでください。
	プリントヘッドやインクタンクを落としたり、力を加えるなど乱暴に扱うことは避けてください。
	プリントヘッドやインクタンクを洗浄したり、拭いたりしないでください。 
	一度取り付けたプリントヘッドやインクタンクは不必要に取り外さないでください。

- 蛍光灯などの電気製品の近くに置くときのご注意
  蛍光灯などの電気製品と本製品は約 15cm以上離してください。近づけると蛍光灯のノイズが原因で本製品が誤動作することがあります。
- 電源を切るときのご注意
  電源を切るときは、必ず電源ボタンを押して電源ランプ（青色）が消灯していることを確認してください。電源ランプが点灯・点滅しているときに電源プラグをコンセントから抜いて切ると、プリントヘッドを保護できずその後印刷できなくなることがあります。
- 無線LAN通信時のご注意
  電子レンジの近くに設置すると、通信状態が悪くなる可能性があります。
  無線LANに使用されている周波数は電子レンジと同じであるため、電子レンジ使用中は相互干渉により通信状態が悪くなる可能性があります。

電波について

使用上の注意

- 本製品は日本国内仕様です。日本国外では使用できません。
- 本製品は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備であり、筐体内部を開けること、および内部の回路等を改造することは法律で禁じられています。
- 医療用の装置や電子機器の近くで本製品を使用しないでください。
  電波によりそれらの装置や電子機器の動作に影響を与える恐れがあります。

電波干渉に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

① 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
② 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、「サポートガイド」を参照し、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
③ その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「サポートガイド」を参照し、お問い合わせください。

④ 2.4 DS/OF 4

この表示のある無線機器は2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SSまたはOFDM変調方式を採用し、移動体識別装置の構内無線局に対して想定される与干渉距離は40mです。全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

原稿をスキャンするときの注意事項

以下を原稿としてスキャンするか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合をのぞき違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題になることがあります。

通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしい物を作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 郵便為替証書
- 株券、社債券
- 定期券、回数券、乗車券
- 国債証券、地方債証券
- 郵便切手、印紙
- 手形、小切手
- その他の有価証券

公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許書、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

[関係法律]

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

お問い合わせの前に

本書または『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「困ったときには」の章を読んでもトラブルの原因がはっきりしない、また解決しない場合には、次の要領でお問い合わせください。

パソコンなどのシステムの問題は?

本製品が正常に動作し、MPドライバのインストールも問題なければ、接続ケーブルやパソコンシステム（OS、メモリ、ハードディスク、インタフェースなど）に原因があると考えられます。

パソコンを購入された販売店もしくは、パソコンメーカーにご相談ください。

特定のアプリケーションソフトで起こる場合は?

特定のアプリケーションソフトで起きるトラブルは、MPドライバを最新のバージョンにバージョンアップすると問題が解決する場合があります。
また、アプリケーションソフト固有の問題が考えられます。

アプリケーションソフトメーカーの相談窓口にご相談ください。

MPドライバのバージョンアップの方法は、別紙の『**サポートガイド**』をご覧ください。

本製品の故障の場合は?

どのような対処をしても本製品が動かなかったり、深刻なエラーが発生して回復しない場合は、本製品の故障と判断されます。
パーソナル機器修理受付センターに修理を依頼してください。

パーソナル機器修理受付センター

050-555-99088

【受付時間】<平日>9:00～18:00（日祝、年末年始を除く）

その他のお困り事は?

どこに問題があるか判断できない場合やその他のお困り事は、キヤノンお客様相談センターまでご相談ください。もしくは、キヤノンサポートホームページをご利用ください。

キヤノンお客様相談センター

050-555-90015

【受付時間】 <平日>9:00～20:00
<土日祝>10:00～17:00（1/1～1/3を除く）

キヤノンサポートホームページ canon.jp/support

デジタルカメラや携帯電話の操作については、各機器の説明書をご覧いただくか説明書に記載されている相談窓口へお問い合わせ下さい。

●弊社修理受付窓口につきましては、別紙の『**サポートガイド**』をご覧ください。

※本製品を修理にお出しいただく場合
- ・スキャナロックスイッチをロック側（ ）にスライドして、必ずロックしてください。
- ・プリントヘッドとインクタンクは、取り付けた状態で本製品の電源ボタンを押して電源をお切りください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため自動的にキャップをして保護します。
- ・本製品が輸送中の振動で損傷しないように、なるべくご購入いただいたときの梱包材をご利用ください。

重要： 梱包時/輸送時には本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。
他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れて、本製品がガタつかないようにしっかりと梱包してください。

お願い： 保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、必ず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください。保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品（インク）の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の際には、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけない場合、またご使用可能なパソコンのOSが変更される場合もあります。

付属のソフトウェアに関するお問い合わせ窓口

ソフトウェアについては、『セットアップCD-ROM』の電子マニュアル（取扱説明書）、または
ソフトウェアのREAD MEファイル、HELPなどをあわせてご覧ください。

- らくちんCDダイレクトプリントfor Canon
  （株）メディアナビ　　03-5467-1781
  http://www.medianavi.jp/　「サポート」
- 読取革命Lite
- ファイル管理革命Lite
  パナソニック　ソリューションテクノロジー（株）
  0570-00-8700
  092-483-4322
  パナソニック　ソリューションテクノロジー　ソフトサポートセンター
  http://panasonic.co.jp/pss/pstc/products/bundle/
- ArcSoft PhotoStudio（アークソフトフォトスタジオ）
  アークソフトジャパン　0570-06-0655
  http://www.arcsoft.jp/en/　「テクニカルサポート」
- 上記以外のソフトウェア
  キヤノンお客様相談センター　050-555-90015
  canon.jp/support

※ご使用の製品によって付属されるソフトウェアは異なります。

使用済みインクカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクカートリッジの回収を推進しています。
この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
つきましては、“キヤノンによる環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクカートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。
キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に回収窓口をご用意いたしております。
また回収窓口に店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。
回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。
　　キヤノンサポートホームページ　　canon.jp/support
事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクカートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。



■使用済みカートリッジ回収によるベルマーク運動
キヤノンでは、使用済みカートリッジ回収を通じてベルマーク運動に参加しています。
ベルマーク参加校単位で使用済みカートリッジを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。
この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。
　環境への取り組み　canon.jp/ecology

お問い合わせのシート

ご相談の際にはすみやかにお答えするために予め下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせくださいますようお願いいたします。また、おかけまちがいのないよう電話番号はよくご確認ください。

【インクジェット複合機との接続環境について】

■パソコンと接続している場合

パソコンメーカ名（　　　　　　　　　）　モデル名（　　　　　　　　　）

CPU名（　　　　　　）　クロック周波数（　　　　　MHz）

搭載メモリ容量（　　　　　　MB）　ハードディスク容量（　　　　　　MB/GB）

OS名　・Windows　□Vista　□XP　□2000（Ver.　　　　　）

　　　・Mac OS（Ver.　　　　　）　・その他（　　　　　　　）

ご使用のアプリケーションソフト名およびバージョン（　　　　　　　）

ウイルスチェック等ご使用の常駐ソフト名およびバージョン（　　　　　　　）

接続ケーブル：□付属USBケーブル　□その他（メーカや型番:　　　　　）

接続方法：□直結（HUB使用　有/無）　□ネットワーク（種類:　　）　□その他（　　　）

■カメラとダイレクト接続している場合

カメラメーカ名（　　　　　　　　）モデル名（　　　　　　　　）

■メモリカードをご使用の場合

メモリカード種類（　　　　）メモリカードメーカ（　　　　）型番（　　　　）

【エラー表示】

表示されたエラーメッセージ　（できるだけ正確に）

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011 東京都港区港南2-16-6



ヒント集へつづく



ヒント集へつづく

知って得するヒント集

お使いの製品についての豆知識、きれいに印刷するためのヒントを紹介しています。

インクはこんなふうに使われています

豆知識 印刷以外にもインクが使われる？

意外かもしれませんが、インクは印刷以外にも使われることがあります。それは、きれいな印刷を保つために行うクリーニングのとき。
本製品には、インクがふき出されるノズルを自動的にクリーニングし、目づまりを防ぐ機能が付いています。クリーニングでは、ノズルからインクを吸い出すため、わずかな量のインクが使用されます。



重　要

- 吸い出されたインクは、製品内部の「インク吸収体」に吸収されます。インク吸収体は満杯になると交換が必要です。お客様ご自身での交換はできませんので、エラーメッセージが表示されたら、お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口にご連絡ください。

⇒「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.121）

豆知識 モノクロ印刷でもカラーインクが使われる？

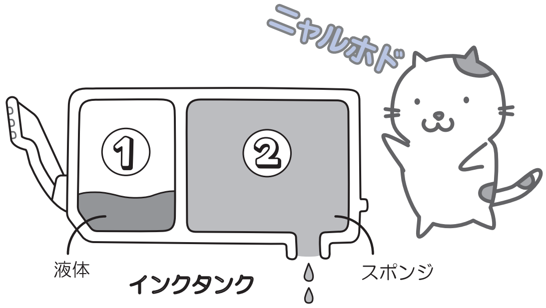
各色のインクの使われかたは、印刷する画像の色合いや印刷物の内容によって異なります。
2種類（顔料・染料）のブラックインクは、印刷する用紙の種類やプリンタドライバの設定により自動的に使い分けられます。顔料インクはおもに文字中心の印刷に、染料インクはおもに写真やイラストなどの印刷に使われます。
また、モノクロ印刷でもブラック以外のインクが使われることがあります。モノクロでしか印刷していなくてもカラーインクが減るのはそのためです。

つづく

そんなインクたちを、**少なくなったら**ランプでお知らせ

豆知識

インクタンク内部は、液体のインクをためている部分（①）とそのインクが染み込んだスポンジ部分（②）とでできています。



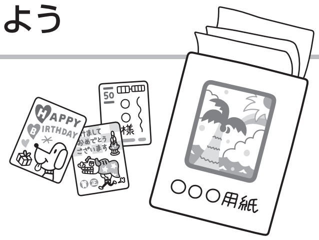
まず①がなくなると、インクランプがゆっくり点滅し、インクが少なくなったことをお知らせします。次に②がなくなると、インクランプの点滅がはやくなり、新しいインクタンクへの交換をお知らせします。

⇒「インクタンクを交換する」（P.104）

特別な用紙に印刷……失敗しないためのポイントは!?

ヒント!

印刷前に**本製品の状態**を確認しよう



●プリントヘッドの状態は大丈夫？

印刷がかすれてはせっかくの用紙が無駄に……。ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認しておきましょう。

⇒「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.110）

●本製品の内部がインクで汚れていませんか？

大量に印刷したあとやフチなし印刷をしたあとは、用紙の通過した部分がインクで汚れていることがあります。インク拭き取りクリーニングで内部のそうじをしましょう。

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

つづく

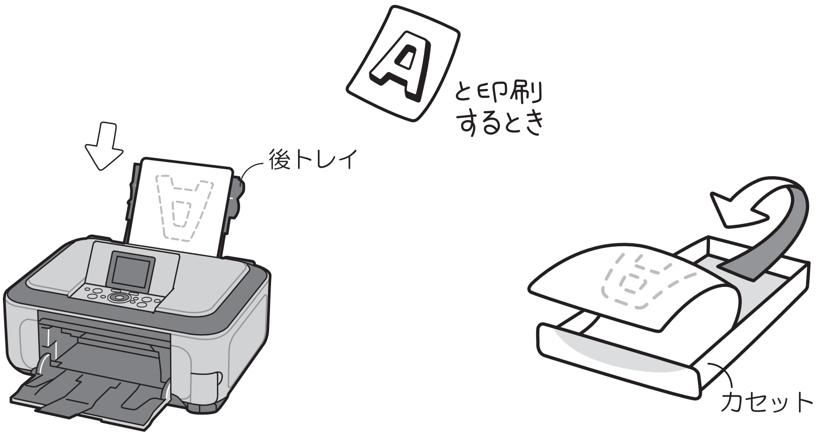
付録

用紙のセット方法を確認しよう

ヒント!

●用紙の向きは大丈夫？

後トレイとカセットでは、セットする用紙の向きが違います。



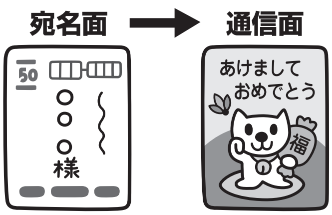
印刷したい面を**上**にしてセットする

印刷したい面を**下**にしてセットする

●はがきはどちらの面を先に印刷？

・自動両面印刷のとき

宛名面→通信面の順番で印刷します。そのため、宛名面を先に印刷するようセットしてください。



・片面ずつ印刷するとき

通信面から先に印刷すると、よりキレイに仕上がります。

⇒「はがきに印刷するときの注意」（P.87）



●その用紙、反っていませんか？

反った用紙は紙づまりの原因に。用紙は平らにしてからセットしてください。

⇒「印刷面が汚れる／こすれる」の「反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」（P.132）

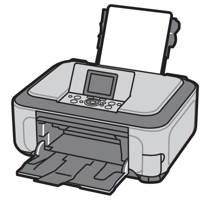
つづく

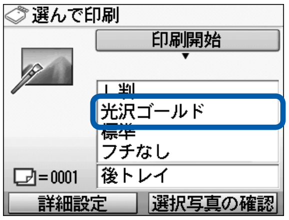
ヒント!

用紙をセットしたあとは、**用紙の設定**を忘れずに！

STEP 1　用紙をセットしたら

STEP 2　用紙の種類を選ぶ





操作パネル

または


プリンタドライバ

用紙のセットが済んだら、操作パネルまたはプリンタドライバの［用紙の種類］で、必ずセットした用紙を選んでください。用紙の種類を設定しないと、せっかく正しく用紙をセットしても満足な印刷結果が得られないことがあります。⇒P.128

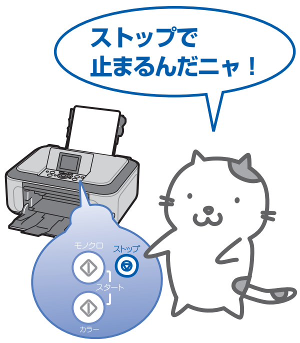
用紙には、写真がきれいに印刷できるよう表面に特殊なコーティングが施されたものや、文書に適したものなどさまざまな種類があります。それぞれの用紙に最適な画質で印刷できるよう、［用紙の種類］にはあらかじめ用紙ごとに異なる設定（インクの使いかた、インクのふき出し方法、ノズルとの間隔など）がされています。そのため、セットした用紙を［用紙の種類］で選ぶことでそれぞれの用紙に適した印刷ができるのです。

付録

印刷中止は、ストップボタンで

ヒント!

電源ボタンは**押さない**で！



印刷中に電源ボタンを押してしまうと、パソコンから送られた印刷データなどが本製品にたまって印刷できなくなることがあります。印刷を中止したいときは、ストップボタンを押してください。

参　考

- パソコンからの印刷中に、ストップボタンを押しても印刷が中止されないときは、プリンタドライバの設定画面を開き、プリンタ状態の確認画面から不要となった印刷ジョブを削除してください。（Windows）

最新版のMPドライバを手に入れよう

キヤノンのホームページでは、最新版のMPドライバを提供しています。
最新版のMPドライバは、古いバージョンに改良を加えたり新機能に対応しているため、ドライバを新しくする（アップデートする）ことによって、新しいOSに対応したり、印刷やスキャンのトラブルを解決できることがあります。

STEP 1 まずは、キヤノンのホームページ（canon.jp/download）にアクセスして、最新版のMPドライバをダウンロード

STEP 2 本製品の電源を切り、電源ランプの消灯を確認してから、本製品とパソコンを接続しているUSBケーブルを抜く

STEP 3 古いMPドライバを削除する（Windowsの場合）
[スタート] → [(すべての）プログラム] → [Canon（ご使用の製品名）series] → [MPドライバ アンインストーラ] の順にクリックします。
以降は画面の指示にしたがってください。

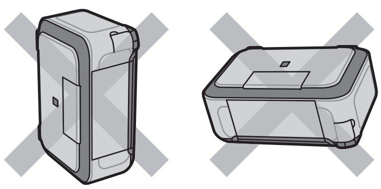
STEP 4 ダウンロードした最新のMPドライバをインストールする

詳しい手順はキヤノンのホームページを参照してください。

使用時や移動時に注意することは？

ヒント!

製品を**立てたり傾けたりしない**で！



製品を立てたり傾けたりすると、製品がダメージを受けたり、まれに本体からインクが漏れるおそれがあります。
使用時や移動時には本製品を傾けないようご注意ください。

いつもきれいな印刷を楽しむためには？

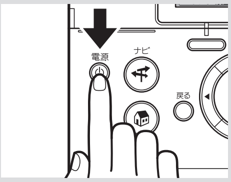
きれいな印刷を保つカギは、プリントヘッドの乾燥と目づまりを防ぐこと。そのために次のことを守って、いつもきれいな印刷を楽しんでください。

●電源プラグを抜くときは次の順番で



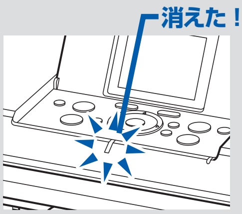
STEP 1

本製品の電源ボタンを押して、電源を切る



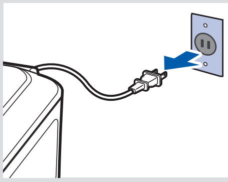
STEP 2

電源ランプが消えたことを確認



STEP 3

電源プラグをコンセントから抜く、または、テーブルタップのスイッチを切る



電源ボタンを押して電源を切ると、本製品は自動的にプリントヘッド（インクのふき出し口）にキャップをして乾燥を防ぐようになっています。ところが、電源ランプが消える前にコンセントから電源プラグを抜いたり、テーブルタップのスイッチを切ってしまうと、プリントヘッドが正しくキャップされずに乾燥や目づまりの原因となります。
電源プラグを抜くときは、必ずこの順番を守ってください。

●定期的に印刷しよう



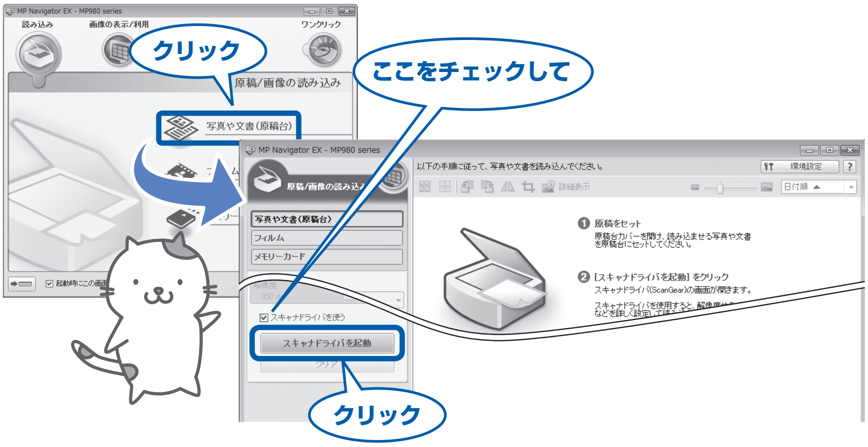
サインペンは長期間使われないと、キャップをしていてもペン先が乾いて書けなくなることがあります。同様に、プリントヘッドも印刷をしないと乾燥して目づまりを起こす場合があります。最低でも、月に1回程度は印刷することをお勧めします。

参　考

- 用紙によっては、印刷した部分を蛍光ペンや水性ペンでなぞったり、水や汗が付着すると、インクがにじむことがあります。

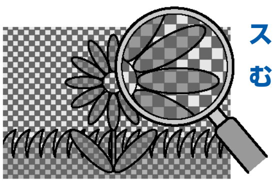
パソコンから
画像がきれいにスキャンできなかったときには？

MP Navigator EX（エムピー・ナビゲーター・イーエックス）を使っている場合は、設定を変えてスキャンしてみましょう。



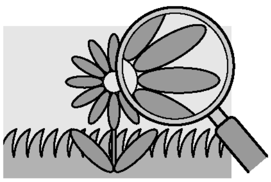
重 要

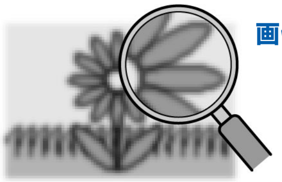
- [モアレ低減] や [輪郭強調] を [ON] にすると、スキャンに時間がかかることがあります。
- [モアレ低減] が [ON] になっていても、[輪郭強調] が [ON] になっているとモアレが残ることがあります。その場合は、[輪郭強調] を [OFF] にしてください。



スキャンした画像にむらがある……

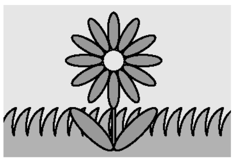
詳細設定で [モアレ低減] を [ON] にしてスキャン





画像がぼやけている……

詳細設定で [輪郭強調] を [ON] にしてスキャン



詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

あれあれ？　色がおかしい、かすれるなぁ・・

ノズルチェックパターンでノズルのつまりを確認しよう

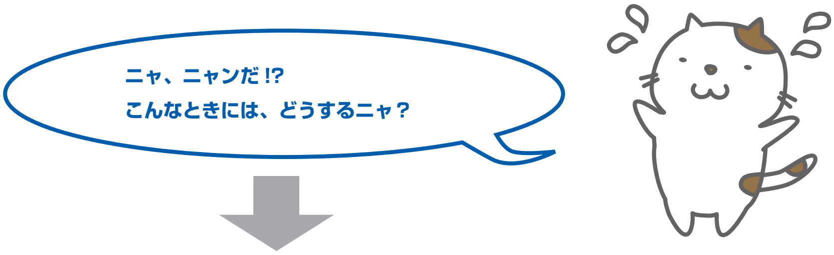
プリントヘッドのノズル（インクのふき出し口）が目づまりすると、色味がおかしかったり、印刷がかすれることがあります。

この写真が



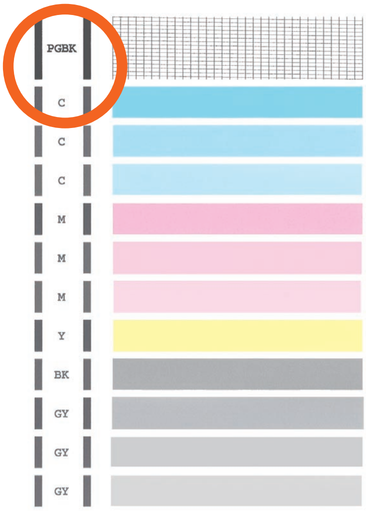
こんなことに



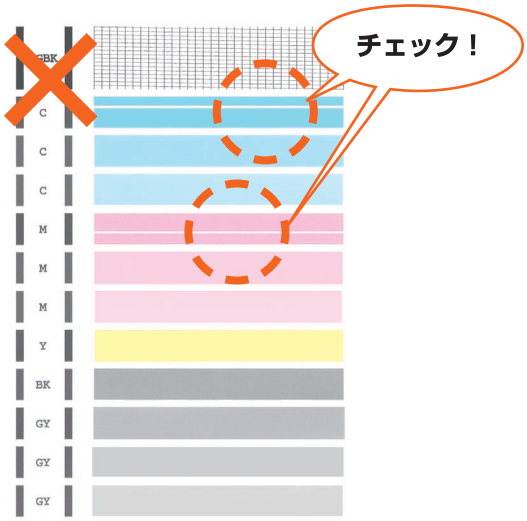


ノズルチェックパターンを印刷

印刷したチェックパターンを確認すると、ノズルが目づまりしているかどうかがわかります。



ノズルに目づまりはありません。



こんなふうになっていたら、ノズルが目づまりしているサイン。今すぐお手入れして、写真を元どおりのきれいな色で印刷しましょう。

⇒「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.110）

●キヤノン PIXUS ホームページ　**canon.jp/pixus**

新製品情報、Q&A、各種ドライバのバージョンアップなど製品に関する情報を提供しております。
※通信料はお客様のご負担になります。

●キヤノンお客様相談センター　**050-555-90015**

PIXUS ・インクジェット複合機に関するご質問・ご相談は、上記の窓口にお願いいたします。
年賀状印刷に関するお問い合わせは、下記専用窓口にお願いいたします。

年賀状印刷専用窓口　050-555-90019（受付期間：11/1～1/15）

【受付時間】〈平日〉9:00 ～ 20:00、〈土日祝日〉10:00 ～ 17:00
（1/1～1/3 は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9631 をご利用ください。
※ＩＰ電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

本製品で使用できるインクタンク番号は、以下のものです。

321 M	321 BK	321 GY	320 PGBK	321 C	321 Y
BCI-321M	BCI-321BK	BCI-321GY	BCI-320PGBK	BCI-321C	BCI-321Y

インクタンクについてのご注意

・インクタンクに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本製品の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
・インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下やプリントヘッドの故障の原因となることがあります。非純正インクのご使用はお勧めしません。
・非純正インクタンクまたは非純正インクを使用したことによる不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。

※インクタンクの交換については、本書の「インクタンクを交換する」を参照してください。

紙幣、有価証券などを本製品で印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法第148条、第149条、第162条／通貨及証券模造取締法第1条、第2条　等

QT5-2218-V01　XXXXXXXX　　PRINTED IN THAILAND